

1 年 次 科 目

目 次

専門支持分野

- 01_形態機能学Ⅰ（必修・前期）
- 02_形態機能学Ⅱ（必修・後期）
- 03_生化学（必修・後期）
- 04_漢方・民間薬概論（選択・後期）
- 05_地域包括ケアシステム論（必修・通年）

基礎看護学分野

- 06_看護学概論（必修・前期）
- 07_看護援助技術Ⅰ（看護基本技術）
（必修・前期）
- 08_看護援助技術Ⅱ（日常生活の援助技術）
（必修・後期）
- 09_看護援助技術Ⅲ（診断・治療に伴う援助
技術）
（必修・後期）
- 10_基礎看護学実習Ⅰ（必修・前期）

専門実践分野

- 11_高齢者看護学実習Ⅰ（必修・後期）
- 12_メンタルヘルス論（必修・前期）

看護統合分野

- 13_スタディスキルセミナー（必修・前期）
- 14_看護学研究Ⅰ（必修・通年）

教養・基礎分野

- 15_心理学（必修・前期）
- 16_文章表現論（必修・前期）
- 17_倫理学（選択・前期）

- 18_看護倫理（必修・前期）
- 19_生命・医療倫理学（選択・後期）
- 20_文学Ⅰ（選択・前期）
- 21_文学Ⅱ（選択・後期）
- 22_哲学Ⅰ（選択・前期）
- 23_哲学Ⅱ（選択・後期）
- 24_経済学Ⅰ（選択・前期）
- 25_経済学Ⅱ（選択・後期）
- 26_薬学への招待（必修・前期）
- 27_ジェンダー論（必修・後期）
- 28_日本国憲法（選択・後期）
- 29_情報処理演習Ⅰ（必修・前期）
- 30_情報処理演習Ⅱ（必修・後期）
- 31_看護学生のための生物・化学
（自由・前期）
- 32_看護学生のための数学・物理
（自由・前期）
- 33_スポーツⅠ（選択・前期）
- 34_スポーツⅡ（選択・後期）
- 35_英語（必修・前期）
- 36_英会話（必修・後期）
- 37_中国語Ⅰ（選択・前期）
- 38_中国語Ⅱ（選択・後期）
- 39_韓国語Ⅰ（選択・前期）
- 40_韓国語Ⅱ（選択・後期）
- 41_フランス語Ⅰ（選択・前期）
- 42_フランス語Ⅱ（選択・後期）

講義コード	1N21101
講義名	形態機能学 I 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
代表曜日	火曜日
代表時限	2時限
科目分類名	専門支持分野
科目分野名	形態機能学科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 清水 典史	基礎教育講座 薬学教育推進センター 基礎生物学分野

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1) (2) (3)

※対応するカリキュラムポリシー: (2)

- 1.人体の構造と機能について説明できる。
- 2.生命維持と生体機能の調節について説明できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	清水 典史	講義ガイダンス 形態機能学とは 形態機能学のための 基礎知識	講義の進め方、履修上の注意など 形態機能学とは 形からみた人体 体表から蝕知する人体の構造、人体の構造と区分、人体の部位と器官 素材からみた人体 人体とは、細胞の構造、細胞を構成する物質とエネルギーの生成	講義
第2回	清水 典史	形態機能学のための 基礎知識	素材からみた人体 細胞膜の構造と機能、細胞の増殖と染色体、分化した細胞がつくる組織 機能からみた人体 動物機能と植物機能の器官系、体液とホメオスタシス	講義
第3回	清水 典史	栄養の消化と吸収	口・咽頭・食道の構造と機能、腹部消化管の構造と機能	講義
第4回	清水 典史	栄養の消化と吸収	脾臓・肝臓・胆嚢の構造と機能、腹膜	講義
第5回	清水 典史	呼吸と血液のはたらき	呼吸器の構造 呼吸	講義
第6回	清水 典史	呼吸と血液のはたらき	血液 1	講義
第7回	清水 典史	呼吸と血液のはたらき	血液 2	講義
第8回	清水 典史	血液の循環とその調節	循環器系の構造、心臓の構造	講義

第 9 回	清水 典史	血液の循環とその調節	心臓の拍出機能	講義
第 10 回	清水 典史	血液の循環とその調節	末梢循環系の構造、血液の循環の調節	講義
第 11 回	清水 典史	体液の調節と尿の生成	腎臓	講義
第 12 回	清水 典史	体液の調節と尿の生成	排尿路、体液の調節	講義
第 13 回	清水 典史	内臓機能の調節	自律神経による調節	講義
第 14 回	清水 典史	内臓機能の調節	内分泌系による調節、全身の内分泌腺と内分泌細胞	講義
第 15 回	清水 典史	内臓機能の調節 形態機能学 I のまとめ	ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節の実際 形態機能学 I のまとめ	講義

授業概要

形態機能学は、人体の「構造」と「機能」を学ぶ学問であり、看護職を含む医療専門職の教育において最重要かつ基盤となる。人体の正常な構造と機能の学びがもとになり、病気の成り立ちが理解されるようになり、それに基づき診断と患者への治療や看護が行われる。患者へ医療行為は、人体への様々な介入が含まれるため、人体の構造と機能についての理解は必要不可欠である。

人体において営まれている様々な生命現象は、生命を維持するはたらきと生命を活用するはたらきがある。形態機能学 I では、血液循環、呼吸、消化・吸収、代謝、排泄、内分泌などの生命を維持するはたらきについて学ぶ。

授業形式

講義

評価方法

定期試験 100%で評価する。
定期試験で不可となった学生に対して追・再試験を実施することがある。
講評は、合格発表後に個別に対応する。

教科書 (ISBN 番号)

系統看護学講座専門基礎分野人体の構造と機能①解剖生理学第 10 版 医学書院(978-4-2600-3171-4)

オフィスアワー(授業相談)

月曜日、木曜日の 13:00～17:00 ですが、それ以外の時間でも質問は可能な限り受け付けます。不在の場合はメール (shimizu@daiichi-cps.ac.jp) にて対応します。

学生へのメッセージ

本講義および形態機能学 II で、看護師に必要なヒトの身体に関する知識を全て網羅します。本講義で得られる知識は、今後学んでいく薬理系科目の土台となるので、分からないことがあれば気軽に質問し、しっかりと知識を身につけて下さい。

授業用 E-mail

shimizu@daiichi-cps.ac.jp

講義コード	1N21200
講義名	形態機能学Ⅱ 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
代表曜日	水曜日
代表時限	1時限
科目分類名	専門支持分野
科目分野名	形態機能学科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 高村 雄策	医薬品化学・物性学講座 薬物解析学分野

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1) (2) (3)

※対応するカリキュラムポリシー: (2)

- 1.人体の構造と機能について説明できる。
- 2.生命維持と生体機能の調節について説明できる。
- 3.生命誕生、成長と老化について説明できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	高村 雄策	講義ガイダンス 身体の支持と運動1	講義の進め方, 履修上の注意など 骨の一般性質, 関節・骨格筋と運動作用の一般性質	講義
第2回	高村 雄策	身体の支持と運動2	骨格筋の神経支配, 体幹の骨格と筋	講義
第3回	高村 雄策	身体の支持と運動3	体幹・上肢の骨格と筋	講義
第4回	高村 雄策	身体の支持と運動4	下肢の骨格と筋	講義
第5回	高村 雄策	身体の支持と運動5	頭頸部の骨格と筋, 筋の収縮機構	講義
第6回	高村 雄策	情報の受容と処理1	神経系の構造と機能に関する一般性質	講義
第7回	高村 雄策	情報の受容と処理2	脳幹～大脳の構造と機能	講義
第8回	高村 雄策	情報の受容と処理3	脊髄・脳神経・高次機能	講義
第9回	高村 雄策	情報の受容と処理4	意識障害・遠心性および求心性伝導路 目の構造と視覚	講義
第10回	高村 雄策	情報の受容と処理5	耳の構造と聴覚・平衡覚 味覚と嗅覚 痛み(疼痛) 温度覚	講義
第11回	高村 雄策	身体機能の防御と適応1	皮膚の構造と機能 生体の防御機構	講義
第12回	高村 雄策	身体機能の防御と適応2	代謝と運動 体温とその調節	講義
第13回	高村 雄策	生殖・発生と老化のしくみ1	男性生殖器 女性生殖器	講義
第14回	高村 雄策	生殖・発生と老化のしくみ1	性周期 受精と胎児の発生	講義

第 15 回	高村 雄策	生殖・発生と老化のしくみ3	成長と老化	講義
授業概要				
形態機能学は、人体の「構造」と「機能」を学ぶ学問であり、看護職を含む医療専門職の教育において最重要かつ基盤となる。人体の正常な構造と機能の学びがもとになり、病気の成り立ちが理解されるようになり、それに基づき診断と患者への治療や看護が行われる。患者へ医療行為は、人体への様々な介入が含まれるため、人体の構造と機能についての理解は必要不可欠である。 人体において営まれている様々な生命現象は、生命を維持するはたらきと生命を活用するはたらきがある。形態機能学Ⅱでは、運動、感覚、神経などの生命を活用するはたらき、また皮膚、免疫系、代謝と運動、体温調節、生殖・発生と老化のしくみである人体を保護して種を保存する機能について学ぶ。				
授業形式				
教科書に従いプレゼンテーション資料と板書を用いた講義形式				
評価方法				
評価は講義後の確認小テスト 10%および中間試験 2 回、定期試験 1 回の合計 3 回(各回 30%)の試験により評価を行う。講評は成績発表後個別に行う。				
教科書 (ISBN 番号)				
系統看護学講座専門基礎分野人体の構造と機能①解剖生理学第 10 版 医学書院(978-4-2600-3171-4)				
オフィスアワー(授業相談)				
まずは授業用メール(y-takamura@daiichi-cps.ac.jp)で連絡してください。				
学生へのメッセージ				
形態機能学Ⅱでは、人体の構造とその機能を理解することが重要です。人体は様々な臓器がおたがいにつながりあって機能しています(多臓器間ネットワーク)。その機能のつながりを体系的に理解することで、人体の成り立ちが見えてくるでしょう。				
授業用 E-mail				
y-takamura@daiichi-cps.ac.jp				

講義コード	1N21300
講義名	生化学 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
代表曜日	木曜日
代表時限	1時限
科目分類名	専門支持分野
科目分野名	形態機能学科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 炬口 眞理子	生命薬学講座 分子生物学分野
准教授	廣村 信	臨床薬学講座 処方解析学分野
講師	岡崎 裕之	生命薬学講座 分子生物学分野
講師	香川 正太	医薬品化学・物性学講座 天然物化学分野(漢)

求められる基本的な資質

基礎的な科学力

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1) (2) (3)
 ※対応するカリキュラムポリシー: (2)
 1. 生体を構成する物質の基本的な構造を理解できる。
 2. 糖質や脂質の構造や代謝について理解できる。
 3. 栄養およびエネルギー代謝について理解できる。
 4. 蛋白質とアミノ酸の関係や代謝について理解できる。
 5. 核酸の構造と機能や代謝について理解できる。
 6. 酵素の役割と酵素反応について理解できる。
 7. ホルモンや細胞内伝達系などの情報伝達機構について理解できる。
 8. 生体内の器官について理解できる。
 9. 遺伝子の生化学について理解できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	岡崎 裕之	生体を構成する物質1	代謝とその制御、細胞の基本構造	講義
第2回	岡崎 裕之	生体を構成する物質2	糖類、脂質	講義
第3回	岡崎 裕之	生体を構成する物質3	アミノ酸、タンパク質、核酸、ビタミン	講義
第4回	岡崎 裕之	生体を構成する物質4	酵素	講義
第5回	廣村 信	生体内の物質代謝1	糖質代謝	講義
第6回	廣村 信	生体内の物質代謝2	脂質代謝1 脂肪酸の分解と合成	講義
第7回	廣村 信	生体内の物質代謝3	脂質代謝2 コレステロール合成、その他の脂質代謝	講義
第8回	廣村 信	生体内の物質代謝4	タンパク質とアミノ酸代謝	講義
第9回	炬口 眞理子	生体内の物質代謝5	核酸、ヌクレオチドの代謝	講義
第10回	炬口 眞理子	生体内の物質代謝6	遺伝情報の発現	講義
第11回	炬口 眞理子	生体内の物質代謝7	遺伝子と疾患	講義

第 12 回	香川 正太	代謝異常症 1	エネルギー代謝の統合と制御	講義
第 13 回	香川 正太	代謝異常症 2	先天性代謝異常 1	講義
第 14 回	香川 正太	代謝異常症 3	先天性代謝異常 2	講義
第 15 回	岡崎 裕之 廣村 信 炬口 眞理子 香川 正太	総括	まとめ: 生化学から看護専門科目への 橋渡し	講義と演 習

授業概要

生化学はヒトの生命現象やその病的変化を探索する上での基礎学問である。
 生体を構成する物質の基本的な構造と機能について学び、それらがどのように代謝されているかを学ぶ。そして生命体を構成する各種器官について学び、それらの各種器官がどのように情報伝達され、制御されているかを理解する。また、生命体を維持するための栄養とその代謝について学ぶ。以上の生命現象の基本を理解することで、今後他の科目や臨床で出会うことになる各疾病には正常に機能していない反応がどこかにあり、その為に行う治療や投薬、食事がどのように反応を幫助するのか考えるようになる。

授業形式

教科書、パワーポイント等を中心に講義を行う。

評価方法

■ 定期試験 定期試験 100%

教科書 (ISBN 番号)

ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能 ②臨床生化学 第 5 版 宮澤恵二 編集 (MC メディカ出版) (ISBN978-4-8404-6128-3)

参考書

ナーシング・サブリ イメージできる 生化学・栄養学「改訂 2 版」(ISBN978-4-8404-7222-7) ナーシング・サブリ編集委員会編 (メディカ出版)
 新体系看護学全書 人体の構造と機能② 栄養生化学 編者代表 脊山洋右 (メヂカルフレンド社)
 系統看護学講座 生化学 人体の構造と機能② 著者代表 畠山鎮次 (医学書院)
 集中講義 生化学 鈴木敬一郎ほか (メジカルビュー社)

オフィスアワー(授業相談)

岡崎裕之: 火曜日 13:00～17:00 (h-okazaki@daiichi-cps.ac.jp)
 廣村 信: 火曜日 13:00～17:00 (m-hiromura@daiichi-cps.ac.jp)
 炬口眞理子: 火曜日 13:00～17:00 (m-takenokuchi@daiichi-cps.ac.jp)
 香川正太: 月曜日 13:00～17:00 (s-kagawa@daiichi-cps.ac.jp)
 * 不在の場合も含め、メールでも対応

学生へのメッセージ

生化学はこの後に続く科目や実務の基礎となる。単に暗記するのではなく、理解するように努めること。

授業用 E-mail

m-takenokuchi@daiichi-cps.ac.jp

参考 E-mail 1

m-hiromura@daiichi-cps.ac.jp

参考 E-mail 2

s-kagawa@daiichi-cps.ac.jp

参考 E-mail 3

h-okazaki@daiichi-cps.ac.jp

講義コード	1N22700
講義名	漢方・民間薬概論 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	20.00
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
科目分類名	専門支持分野
科目分野名	疫病基礎理論科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	選択

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 久保山 友晴	医薬品化学・物性学講座 生薬学分野

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー：(1)(2)
 ※対応するカリキュラムポリシー：(2)(4)
 患者情報に応じた薬の選択、用法・用量の設定および医薬品情報・安全性や治療ガイドラインを考慮した適正な薬物療法に参画できるようになるために、疾病に伴う症状などの患者情報を解析し、最適な治療を実施するための薬理、病態・薬物療法に関する基本的事項を修得する。

漢方の考え方、疾患概念、代表的な漢方薬の適応、副作用や注意事項などに関する基本的事項を修得する。

○漢方の特徴について概説できる。

○以下の漢方の基本的用語を説明できる。

陰陽、虚実、寒熱、表裏、気血水、証

○配合生薬の組み合わせにより漢方薬の系統的な分類が説明できる。

○漢方薬と西洋薬、民間薬、サプリメント、保健機能食品などとの相違について説明できる。

○漢方医学における診断法、体質や病態の捉え方、治療法について概説できる。

○日本薬局方に収載される漢方薬の適応となる証、症状や疾患について例示して説明できる。

○現代医療における漢方薬の役割について説明できる。

○漢方薬の副作用と使用上の注意点を例示して説明できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	久保山 友晴	漢方・民間薬概論	民間薬と漢方薬の相違や定義	プリント・スライド講義
第2回	久保山 友晴	漢方医学の基礎理論	気血水、八綱弁証、陰陽五行論、六病位など	プリント・スライド講義
第3回	久保山 友晴	漢方の診察方法	望診、聞診、問診、切診	プリント・スライド講義
第4回	久保山 友晴	生薬	代表的な生薬の気味と薬能、修治	プリント・スライド講義
第5回	久保山 友晴	漢方処方(1)	代表的な漢方処方と服用方法、副作用、使用上の注意	プリント・スライド講義
第6回	久保山 友晴	漢方処方(2)	代表的な漢方処方と服用方法、副作用、使用上の注意	プリント・スライド講義
第7回	久保山 友晴	漢方処方(3)	代表的な漢方処方と服用方法、副作用、使用上の注意	プリント・スライド講義
第8回	久保山 友晴	漢方処方(4)	代表的な漢方処方と服用方法、副作用、使用上の注意	プリント・スライド講義
第9回	久保山 友晴	漢方の歴史と現状	漢方・本草の歴史と現在の漢方・生薬事情	プリント・スライド講義

第 10 回	久保山 友晴	相補・代替医療	日本と世界の相補・代替医療	プリント・スライド講義
授業概要				
生薬は漢方理論に基づいて使うときは漢方薬となり、単独もしくは伝承による使い方の場合は民間薬となる。これらの違いと有用性について学ぶ。日本においては、伝統的な医療の漢方医学、民間薬などがあり、また世界に目を向けると民族医療、民族薬があり、アーユルヴェーダ、ホメオパシーなどの伝統医学がある。これら伝承医薬・薬物を「代替医療」としての必要性を習得する。				
授業形式				
プリント配布およびパワーポイントを用いた講義 参考書は必ずしも購入する必要はない				
評価方法				
■ 定期試験 80%、平常点 20%(課題提出など)により評価する。 追再試験を実施することがある。				
教科書 (ISBN 番号)				
現代医療における漢方薬(改訂第 3 版)(南江堂)日本生薬学会監修、(ISBN978-4-524-40373-8)				
参考書				
絵でみる和漢診療学(医学書院)寺澤捷年著(1997)、(ISBN978-4-260-36919-0)				
オフィスアワー(授業相談)				
水曜日 PM3:00-5:00 不在する場合も含め、メールならいつでも対応可能				
学生へのメッセージ				
現在 9 割近い医師が漢方薬を処方しており、現代医療における漢方の役割は非常に大きいものになっている。本講義で「漢方・民間薬とは何か」を学び、臨床の現場で役立てていただきたい。毎回の講義前にはシラバスの確認を行い、学事システムに収納した講義資料に目を通しておくこと。また第 2 回の授業からは、課題を授業開始前までに終わらせておくこと。				
授業用 E-mail				
t-kuboyama@daiichi-cps.ac.jp				

講義コード	1N23100
講義名	地域包括ケアシステム論 03-02
(副題)	実務経験がある教員による授業科目
開講責任部署	
講義開講時期	通年
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	60.00
代表曜日	水曜日
代表時限	1時限
科目分類名	専門支持分野
科目分野名	地域基盤教育科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 西地 令子	公衆衛生看護学領域 看護師・保健師免許保有
准教授	園田 和子	公衆衛生看護学領域 看護師・保健師免許保有
(非常勤)講師	河谷 はるみ	指定なし

求められる基本的な資質

地域で生活する子ども、高齢者、障害者を主とする対象者の特性を理解し、本人や家族の意向に沿った支援法を考えていく力を養う。そのために、地域福祉に関連する主な法律を理解しようとする意欲が必要である。また、地域では医療職だけでなく多職種と連携が必須となるため、他者の意見を尊重しながら自分自身の意見も述べる力、協働する能力を養う。

一般目標(GIO)

1. わが国の社会保障制度の内容と現状を理解し、地域包括ケアシステムの意義を理解する。
2. 現在の子ども・子育てにおける現状と課題、政策について理解する。
3. 地域福祉に関する法律を理解する。
4. 介護保険制度の成り立ちと改正の動向を理解する。
5. 多様な地域看護活動について理解する。
6. 地域包括ケアシステムの今後の課題を考察する。

到達目標(SBO)

1. わが国の衛生を取り巻く社会保障等の状況の概要を理解できる。
2. 医療提供体制の現状と課題、医療法について理解できる。
3. 医療保険制度について理解できる。
4. 看護職の変遷と保健師助産師看護師法について理解できる。
5. 健やか親子 21 の背景と概要を理解できる。
6. 健康日本 21 の背景と概要を理解できる。
7. 児童虐待の現状と児童虐待防止法の内容について理解できる。
8. 新子ども・子育ての支援制度の概要について理解できる。
9. 介護保険制度の概要について理解できる。
10. 地域支援事業と地域包括支援センターの役割について理解できる。
11. 障害者の現状と障害者支援施策が理解できる。
12. 訪問看護制度と在宅看護の意義が理解できる。
13. 学校・職場における看護活動がイメージできる。
14. 福祉の概念と意義が理解できる。
15. 社会福祉の変遷と今後の方向性が理解できる。
16. 公的扶助(生活保護)と社会手当の概要が理解できる。
17. わが国の児童福祉の施策の変遷の概要が理解できる。
18. わが国の障害者福祉施策の変遷の概要とノーマライゼーションに意義が理解できる。
19. わが国の高齢者福祉施策の変遷の概要が理解できる。
20. 地域ケアにおける支援の基本が理解できる。
21. 地域包括ケアシステムにおける自助・互助・共助・公助の意義が理解できる。

22. 地域ケアにおける課題抽出の考え方と支援方法の概要が理解できる。
 23. グループワークを通して他者の意見を尊重しながら進めていくことができる。
 24. 地域共生社会における地域包括ケアシステムの意義が理解できる。
 25. 地域における看護職の役割が考察できる。

※対応するディプロマポリシー: (1) (2) (3)

※対応するカリキュラムポリシー: (2) (3)

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第 1 回	西地 令子	講義ガイダンス 地域とは	講義の進め方、履修上の注意 わが国の衛生を取り巻く社会保障の状況の概要と課題	講義
第 2 回	西地 令子	医療提供体制と医療 保険①	医療法と医療対策の動向と現状、医療関係者・医療施設の現状、地 域医療計画、医療提供体制の課題	講義
第 3 回	西地 令子	医療提供体制と医療 保険②	わが国の医療保険制度と変遷、医療保険の概要と現状、診療報酬、 公費医療、国民医療費	講義
第 4 回	園田 和子	医療提供体制と医療 保険③	看護職の役割とその変遷 保健師助産師看護師法の制定後、地域における看護職の需要の増加	講義
第 5 回	園田 和子	保健施策①	健やか親子 21(2 次)の背景と概要	講義
第 6 回	園田 和子	保健施策②	健康日本 21(2 次)の背景と概要	講義
第 7 回	西地 令子	保健施策③	子ども・子育ての現状 児童虐待の現状、児童虐待防止法	講義
第 8 回	西地 令子	保健施策④	子ども・子育ての支援制度の概要	講義
第 9 回	西地 令子	保健施策⑤	介護保険制度の背景と概要	講義
第 10 回	西地 令子	保健施策⑥	地域支援事業と地域包括支援センターの役割	講義
第 11 回	園田 和子	保健施策⑦	障害者の現状、障害者の範囲、障害者基本計画	講義
第 12 回	園田 和子	保健施策⑧	障害者の支援施策:障害者総合支援法、障害者差別禁止法、合理的 配慮等	講義
第 13 回	園田 和子	保健施策⑨	精神保健福祉の現状、難病施策の概要	講義
第 14 回	園田 和子	地域における看護活動 の展開①	訪問看護制度の開始と現状 地域における在宅看護	講義
第 15 回	西地 令子	地域における看護活動 の展開②	広がる地域看護活動:職場の健康課題と看護職の役割(学校、産業 保健)	講義
第 16 回	西地 令子	総括①	15 回までの中間まとめ 地域共生社会における看護活動	講義
第 17 回	河谷 はるみ	地域福祉①	福祉の概念と意義: 福祉とは何か、何を目指しているのか社会福 祉の理念: ナショナルミニマムとは	講義
第 18 回	河谷 はるみ	地域福祉②	社会福祉の変遷と今後の方向性	講義
第 19 回	河谷 はるみ	地域福祉③	社会福祉法の体系、公的扶助(生活保護)と社会手当の概要、貧困・ 低所得者の課題	講義
第 20 回	河谷 はるみ	地域福祉④	児童権利宣言、わが国の児童福祉施策の変遷・機関・課題	講義
第 21 回	河谷 はるみ	地域福祉⑤	ノーマライゼーションと障害者権利宣言、わが国の障害者福祉施策 変遷・機関・課題	講義
第 22 回	河谷 はるみ	地域福祉⑥	高齢者権利宣言、わが国の高齢者福祉施策の変遷・機関・課題	講義
第 23 回	園田 和子	地域包括ケアシステム ①	演習ガイダンス「事例を通して地域包括ケアを学ぶ」事例と展開方法 の説明 本人と家族の意向、家族看護とは	講義・ 演習
第 24 回	西地 令子	地域包括ケアシステム ②	地域ケアシステムにおける自助・互助・共助・公助の意義、地域おけ る課題の考え方の基本 資源マップの考え方と記載の基本	講義・ 演習
第 25 回	西地 令子	地域包括ケアシステム ③	行政機関の種類と役割 保健・医療・福祉の関係機関と職種・役割	講義・ 演習

第 26 回	西地 令子 園田 和子	地域包括ケアシステム ④	グループワーク 「これまでの学びから事例を通してみんなで考えてみよう」	講義・ 演習
第 27 回	西地 令子 園田 和子	地域包括ケアシステム ⑤	グループワーク 「事例の課題・解決策は何だろう①」	演習
第 28 回	西地 令子 園田 和子	地域包括ケアシステム ⑥	グループワーク 「事例の課題・解決策は何だろう②～資源マップを通して」	演習
第 29 回	西地 令子 園田 和子	地域包括ケアシステム ⑦	事例を通した学びグループ発表	演習
第 30 回	西地 令子 園田 和子	地域包括ケアシステム ⑧ 総括②	事例を通した学びグループ発表 総括	演習・ 講義

授業概要

この科目では、社会を取り巻く様々な現状や課題を理解し、なぜ地域包括的ケアシステムを推進していかなければならないのかを学ぶことを目的としている。さらに、地域看護活動における看護職の役割の重要性を理解できることを目的とする。

地域における医療活動においては、第1に医療提供体制と医療保険の現状を十分理解する。その際、地域ケアに必要な、活動の理念や施策を学修する。第2として、地域の人々の健康と保健活動として、主として今後地域ケア活動において中心的な対象となる、子ども、障害者、高齢者の現状と課題を学び、それぞれに必要な施策を十分に理解する。特に、介護保険制度については詳細な内容まで理解し地域において医療モデルではなく生活モデルとして人々を支える意義を理解する。次いで、地域ケアの推進のために、広がる看護職の多様な場の役割を学ぶ。

第3には、地域福祉に関する概念を福祉の観点から学び、これまでの福祉の理解を深める。社会に多様な価値観があることを知り、ライフサイクルにおいてどのような困難に陥るのかについて理解を深め、患者ではなく、一人の生活者であることをイメージする。また、福祉とは、「しあわせ」「ゆたかさ」を意味する言葉。すべての市民に最低限の幸福と社会的援助を提供する理念である。これらによって、地域における保健・医療・福祉の連携や多様な職種からなるケアシステムの必要性ができることを図るものである。最後の部では、実際の事例を通して地域包括ケアシステムにおける支援法を学生自身あるいはグループで考える。グループワークにおける他者との意見交換等から自身の考えを進化させ、人とのコミュニケーションの重要性を再認識することも図るものである。

授業形式

講義、演習

評価方法

■定期試験 ■その他(グループワーク・自己課題評価)
定期試験 70%、演習・グループワーク 30%

教科書 (ISBN 番号)

社会福祉の動向 2021 (9784805882627)

参考書

- ①「よくわかる地域包括ケア」(やわらかアカデミズム・わかる)シリーズ 隅田好美, 藤井博志, 黒田研二編集(ミネルヴァ書房)
(ISBN978-4-623-08293-3C3336)
- ②「国民衛生の動向(最新版)」一般財団法人厚生労働統計協会
- ③「国民福祉の動向(最新版)」一般財団法人厚生労働統計協会

オフィスアワー(授業相談)

水曜日 12:30～16:00

※会議等で不在の場合もありますので、来室される時はできるだけメールをして下さい。

学生へのメッセージ

- ・我が国の超少子高齢社会において、地域包括ケアシステムの構築は最重要課題に位置づけられています。したがって、“地域の人々の生活やそれを支える”多様な制度等の基礎的な知識や地域活動における基本的な考え方の学びは看護職にとって非常に重要です。
- ・グループディスカッション等により、学習内容を深めて共有する方法を取り入れています。学生さんの主体的かつ積極的な学修を期待しています。
- ・予習、特に復習に重点を置いてください。近年の看護師国家試験は地域に関連した施策・法令が多く出題されます。学生さんにとっては、慣れない言葉が多いので、繰り返し学習が必要です。
- ・携帯電話は鞆の中へしまい、講義中には使用しないこと、私語も他の学生さんへの迷惑になるのでしないでください。

備考

原則、対面式授業です。状況によって、リモート授業になった場合は、zoom 形式を採用します。皆さんが1コマ1回は発言できる機会を設けていますので、予めご了承ください。

講義コード	1N31100
講義名	看護学概論 03-02
(副題)	実務経験がある教員による授業科目
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
代表曜日	木曜日
代表時限	2時限
科目分類名	基礎看護学分野
科目分野名	基礎看護学
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 長家 智子	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	権藤 多栄	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	姜 旻廷	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	山口 今日子	成人看護学領域 看護師免許保有
講師	丸山 智子	成人看護学領域 看護師免許保有
助教	溝口 晶子	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	竹井 千里	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	井上 由美子	成人看護学領域 看護師免許保有

一般目標(GIO)

近代・現代の代表的な看護理論から看護とは何かについて考察する。グループ学習により自分の考え・感想を他の人々に明確に表現する姿勢、および他の人々の考え等もよく聞く姿勢を身につける。

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1) (2)

※対応するカリキュラムポリシー: (2)

1. 看護の4つの基本概念(看護・人間・健康・環境)について説明できる。
2. 看護の定義を述べることができる。
3. 看護の本質と役割・機能を説明できる。
4. 看護の歴史と変遷について述べることができる。
5. 看護専門職とは何かを説明できる。
6. 保健・医療・福祉における看護職の専門性と役割について説明できる。
7. 「看護覚え書」「看護の基本となるもの」と講義を通して看護について学んだことを説明できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	長家智子	講義ガイダンス 看護とは(導入)	講義の進め方、履修上の注意など 1. 看護とは何か、 2. 看護の本質(人間・健康・環境・看護)、	講義

			看護の定義	
第 2 回	長家智子	看護の歴史	1. 看護の歴史 2. 看護と法、看護の目的、看護の対象	講義
第 3 回	長家智子	看護専門職	1. 看護の専門性、看護倫理 2. キャリアデザイン:CNS、NP、ANP、専門看護師、認定看護師、 ・チーム医療における役割	講義
第 4 回	長家智子	看護概念①	1. 看護の歴史、看護理論家の看護の概念 ナイチンゲール「看護覚え書」、ヘンダーソン「看護の基本となるもの」から看護を考える ナイチンゲールとの看護概念(人間・環境・健康・看護)	講義
第 5 回	長家智子 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	看護概念②	1. 看護理論家の看護の概念 ナイチンゲール「看護覚え書」、ヘンダーソン「看護の基本となるもの」から看護を考える グループワーク	講義 グループワーク
第 6 回	長家智子 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	看護概念③	1. グループワーク・発表『看護覚え書』	グループワーク
第 7 回	長家智子 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	看護概念④	1. グループワーク・発表『看護覚え書』 2. ナイチンゲール看護論についてのまとめ	グループワーク
第 8 回	長家智子 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	看護概念⑤	1. グループワーク・発表『看護の基本となるもの』 2. ヘンダーソン看護論についてのまとめ	グループワーク
第 9 回	長家智子 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	看護概念⑥	1. グループワーク ペブロウ、オレムの看護論から看護を考える	グループワーク
第 10 回	長家智子 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子	看護概念⑦	1. グループワーク ペブロウ、オレムの看護論から看護を考える	グループワーク

	丸山智子 井上由美子			
第 11 回	長家智子 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	看護の概念⑧	1. グループワーク ペプロウ、オレムの看護論から看護を考える	グループワーク
第 12 回	長家智子	看護概念⑨	1. グループワーク・「ペプロウ看護論」発表 2. ペプロウ看護論のまとめ	講義
第 13 回	長家智子	看護概念⑩	1. グループワーク・「オレム看護論」発表 2. オレム看護論のまとめ	講義
第 14 回	長家智子	看護経済 看護と政策	1. 医療制度の仕組みと医療経済 2. 看護行政と政策	講義
第 15 回	長家智子	医療安全 看護学概論のまとめ	医療安全と医療の質保証 看護学概論の振り返りと理解度確認	講義

授業概要

看護を学ぶ導入としてまた、今後の学習の土台となる科目として、「看護とは・看護学とは」など、看護の本質と役割を学ぶ。
 看護の基本概念、人間・健康・環境・看護の4項目を基盤にして、人間の捉え方、健康の概念、健康・病気・ウェルネスの定義、健康障害を持つ対象の理解などを学修する。看護の定義、目的、機能など看護の本質を学ぶ。看護の歴史的変化や看護の変遷と看護の法制度、看護組織や体制、チーム医療での看護の役割、看護理論等について学ぶ。
 看護概念の理解と、ナイチンゲール・ヘンダーソン・ペプロウ・オレムの考える看護についてグループワーク後、発表と討議をして看護について考えを深めていく。
 看護について、理解したところで看護経済、看護の政策、看護の機能と業務、医療安全について学ぶ。

授業形式

講義 グループワーク 発表と討議

評価方法

■定期試験 ■レポート ■その他(グループワークの取り組み・成果)
 定期試験 40%、 レポート・グループワークの取り組み・成果 60%

教科書 (ISBN 番号)

医学書院 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[1]「看護学概論」ISBN978-4-260-03862-1、
 現代社 F.ナイチンゲール著/薄井坦子他訳「看護覚え書き」ISBN978-4-97474-142-9、
 日本看護協会出版会 ヴァージニア・ヘンダーソン著 湯植ます・小玉香津子訳「看護の基本となるもの」ISBN978-4-8180-1996-6

参考書

その都度お知らせします。

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時、お知らせします。

講義コード	1N31200
講義名	看護援助技術 I (看護基本技術)03-02
(副題)	実務経験がある教員による授業科目
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	60.00
代表曜日	水曜日
代表時限	3時限
科目分類名	基礎看護学分野
科目分野名	基礎看護学
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 長家 智子	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	権藤 多栄	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	姜 旻廷	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	溝口 晶子	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	竹井 千里	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	山口 今日子	成人看護学領域 看護師免許保有
講師	丸山 智子	成人看護学領域 看護師免許保有
助教	井上 由美子	成人看護学領域 看護師免許保有

一般目標(GIO)

看護の基礎援助技術の学習や実技演習を通して、対象者のニーズに応じた看護援助に必要な基礎的技術や態度を身につける。

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1) (2)

※対応するカリキュラムポリシー: (2)

- 専門職として対象者の日常生活を援助する意義と、看護技術の持つ特徴・範囲を説明できる。
- 患者と看護師の良い関係を築くための援助的人間関係を形成するコミュニケーション技術を説明できる。
- 感染予防の技術を実施できる。
- 療養生活における環境調整(ベッドメイキング等)の基本的な援助技術が実施できる。
- 活動・休息の基本的な援助技術が実施できる。
(良肢位、体位変換、移乗・移送、安楽な体位を保持する方法と休息・睡眠について)
- ヘルスアセスメントの内容・方法を説明できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第 1 回	長家智子	講義ガイダンス 看護技術を学ぶ	講義の進め方、履修上の注意、実習室オリエンテーションなど 1. 技術とは何か 2. 看護技術の特徴 3. 看護技術の範囲 4. 看護技術を適切に実施するための要素 5. 看護技術の発展と修得のために	講義
第 2 回	権藤多栄	感染防止の技術①	1. 感染防止の基礎技術 2. 標準予防策 3. 感染経路別予防策(スタンダードプリコーション)	講義

第 3 回	権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	感染防止の技術②	1. 手指衛生(流水による手洗い、擦式手指消毒) 2. 個人防護用具(PPE)(手袋、マスク、ガウン)の着脱	演習
第 4 回	権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	感染防止の技術③	1. 手指衛生(流水による手洗い、擦式手指消毒) 2. 個人防護用具(PPE)(手袋、マスク、ガウン)の着脱	演習
第 5 回	長家 智子	コミュニケーション技術①	1. コミュニケーションの意義と目的 2. コミュニケーションの構成要素と成立過程 3. 関係構築のためのコミュニケーションの基本	講義
第 6 回	長家 智子	コミュニケーション技術②	1. 言語的コミュニケーション 2. 非言語的コミュニケーション	講義
第 7 回	長家 智子	コミュニケーション技術③	1. 効果的なコミュニケーションの実際 2. 看護におけるコミュニケーション技法: 聴く 3. 接遇、マナー	講義
第 8 回	溝口 晶子	活動・休息の援助技術①	1. 基本的活動の援助 基本的活動の基礎知識(良い姿勢、ボディメカニクス) 2. 体位～安全・安楽、睡眠と休息	講義
第 9 回	溝口 晶子	環境調整技術①	援助の基礎技術 (療養生活の環境、病室の環境アセスメント、人的環境) 病床の作成と環境整備	講義
第 10 回	溝口晶子 権藤多栄 姜 旻廷 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	環境調整技術②	ベッドメイキング(クローズ・オープン)	演習
第 11 回	溝口晶子 権藤多栄 姜 旻廷 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	環境調整技術③	ベッドメイキング(クローズ・オープン)	演習
第 12 回	溝口 晶子	活動・休息の援助技術②	1. 移動(体位変換・歩行・移乗・移送)	講義
第 13 回	溝口晶子 権藤多栄 姜 旻廷 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	活動・休息の援助技術③	体位変換	演習
第 14 回	溝口晶子 権藤多栄 姜 旻廷 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	活動・休息の援助技術④	体位変換	演習

第 15 回	溝口晶子 権藤多栄 姜 旻廷 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	活動・休息の援助技術⑤	移乗・移送 車椅子・ストレッチャー	演習
第 16 回	溝口晶子 権藤多栄 姜 旻廷 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	活動・休息の援助技術⑥	移乗・移送 車椅子・ストレッチャー	演習
第 17 回	溝口 晶子	環境調整技術④	臥床患者のリネン交換	講義
第 18 回	溝口晶子 権藤多栄 姜 旻廷 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	環境調整技術⑤	臥床患者のリネン交換	演習
第 19 回	溝口晶子 権藤多栄 姜 旻廷 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	環境調整技術⑥	臥床患者のリネン交換	演習
第 20 回	竹井千里	ヘルスアセスメント①	1.ヘルスアセスメントとは ヘルスアセスメントを行うことによって何がわかるのか 観察・重要な視点 2.バイタルサインとは 3. バイタルサイン測定方法(体温・脈拍・呼吸・血圧・意識)測定値の判断・記録	講義
第 21 回	竹井千里	ヘルスアセスメント②	1.ヘルスアセスメントとは ヘルスアセスメントを行うことによって何がわかるのか 観察・重要な視点 2.バイタルサインとは 3. バイタルサイン測定方法(体温・脈拍・呼吸・血圧・意識)測定値の判断・記録	講義
第 22 回	竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	ヘルスアセスメント③	バイタルサイン測定方法(体温・脈拍・呼吸・意識レベル)	講義
第 23 回	竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	ヘルスアセスメント④	バイタルサイン測定方法(体温・脈拍・呼吸・意識レベル)	演習
第 24 回	竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子	ヘルスアセスメント⑤	バイタルサイン測定方法(血圧)	演習

	山口今日子 丸山智子 井上由美子			
第 25 回	竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	ヘルスアセスメント⑥	バイタルサイン測定方法(血圧)	演習
第 26 回	竹井 千里	ヘルスアセスメント⑦	1, 呼吸器系の問診、視診、触診及び打診 呼吸音の聴取、心臓・血管系の問診、触診、打診	講義
第 27 回	竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	ヘルスアセスメント⑧	呼吸器系、循環器系のフィジカルアセスメント	演習
第 28 回	竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	ヘルスアセスメント⑨	呼吸器系、循環器系のフィジカルアセスメント	演習
第 29 回	竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	ヘルスアセスメント⑩	脈拍・体温・呼吸・血圧測定についての技術チェック	演習
第 30 回	竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	ヘルスアセスメント⑪看護援助技術Ⅰ(看護基本技術)のまとめ	脈拍・体温・呼吸・血圧測定についての技術チェック 看護援助技術Ⅰ(看護基本技術)のまとめ	演習

授業概要

看護技術は、対象となる人々の健康レベルに応じてまた、安全・安楽に配慮し、看護するための基本である技術の知識・技術・態度を修得することを目指す。看護技術の中で最も基本的なものであり重要である。
看護援助技術Ⅰでは、援助的人間関係形成・コミュニケーションの方法、感染防止の技術、環境調整技術、活動・休息援助技術、ヘルスアセスメントとバイタルサイン測定について学ぶ。
講義と演習で、構成しており看護の技術を学ぶ。

授業形式

講義と演習で組み立てられています。演習を受けるには講義への出席が必須です。

評価方法

■定期試験 ■レポート ■その他(演習中の取り組み)

定期試験 60% レポート 20% 演習中の取り組み 20%

- ・出席状況は、出欠・遅刻・早退に応じて評定する。演習を重視するため、5コマ以上の欠席は原則として評価の対象としない。
- ・演習後レポートは、提出状況及びその内容について評価する。
- ・演習中の態度は、演習に際しての注意事項に記載されている事項について注意を受けた者は、回数に応じて減点する。

教科書 (ISBN 番号)
医学書院 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[2] 「基礎看護技術 I」 第 18 版 ISBN978-4-260-04211-6、 医学書院 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[3] 「基礎看護技術 II」第 18 版 ISBN978-4-260-04212-3
参考書
その都度お知らせします。
オフィスアワー(授業相談)
初回講義時、お知らせします。
学生へのメッセージ
看護師が自分の判断のできる行為が日常生活援助です。看護の対象者の状態を的確に判断するための技術と、対象者の満たされていない日常生活を整えるための援助技術となります。 個々で学ぶ技術の善し悪しが、看護師としての評価に繋がるだけでなく、対象者との信頼関係にも大きく関連するので、しっかり身につけるよう学習を進めましょう。 ＜演習前の準備＞ 1) 実習室入室前の準備 (1) 所定の場所で実習着、ナースシューズ、白の靴下に着替え、入室する。演習項目によっては別の指示が出る場合があるので、指示書を確認する。 (2) 更衣室が使用できない場合は、服装は以下の基準を守って着用してくる。 上: 背中が出ない長さ、襟元がつまった半袖の T シャツかポロシャツ、下: ジャージや長ズボン (3) 髪は、肩にかからないように整える。長い場合は、一つに結んでネットでまとめる。前髪は目にかからない長さとする。横髪は、垂れないようにピン等で留める。 (4) 爪は短く切り、清潔に整える。 (5) 実習室には、教科書・ノート・筆記用具・貴重品・指示された持参物品等のみ持ち込める。携帯電話の持ち込みは禁止する。 2) 実習室入室後の準備 (1) 開始 5 分前までに、手洗いをすませ所定の位置につく。 (2) 演習開始後は、演習に必要な物品のみを出し、私物は床頭台の中に収納する。 ＜演習の進め方＞ 1) 演習の手順書は原則として IPo に掲載するので、印刷し手順書を頭に入れて演習に臨む。 2) 準備は、グループで協力して手順書で指示されたように整える。 3) 演習前に、安全・安楽に技術を提供するためのコツについて説明がある。資料として配付してあるので、事前に確認しておく。 4) 演習は、1 人看護師役、1 人患者役、1 人観察者、1 人記録者とする。 ・看護師役: 覚えて来た手順に沿って演習するが、手順がどうしてもわからなくなった場合は、記録者に確認する。ただし、3 番目、4 番目に行うものは、自力で行う。 ・患者役: 患者役に徹し、不快に思うこと、説明が不足することなど、気づいたことは全て発言する。その内容は、記録者が手順書に記録する。 ・観察者: 看護師役が実施する技術を、手順書、講義内容およびデモンストレーションからの学びに照らし合わせ、評価し、記録者に伝える。 ・記録者: 患者役、観察者のコメントを記録する。教員からのコメントも全て記録に残す。 ＜実習室の使い方＞ 1) 各自 (各グループ) に割り当てられたベッドを責任もって使用する。 2) 実習の目的以外でベッドを使用しない (荷物を置いたり、自己の休息のために横になったりしない)。 3) 演習終了後はサイドテーブル、床頭台、椅子、ワゴンは所定の位置に戻す。 4) 演習終了後は、クローズドベッドに整える。 5) 演習開始時には、ベッド周囲のスペースを確保する。 6) 実習室内で飲食は禁止する。 7) 演習物品の使用時は、教員の指示に従う。 8) 演習終了後の後片付けについては、演習計画書で指示したとおりとする。 9) ごみは、大学の分類の指示に従って確実に分類する。 ＜清掃担当について＞ 1) 毎回、演習終了時は 3～4 グループ交代で清掃、片付け、指示があれば次回の演習準備を行う。 2) 清掃担当については、清掃分担表 (別紙配布) に従う。 3) 清掃: 床清掃 椅子やワゴンなどを動かしてから、実習室・準備室など全体にクイックルワイパーをかける)、上拭き (机、ワゴン、サイドテーブル、床頭台など) を行う。シンクは水分を残さないように拭き上げる。 4) 清掃終了後は、点検責任の学生が点検完了後に点検教員に報告して確認を受けた上で終了する。 5) 原則全ての演習終了後に、実習室内の大掃除・物品整理を全員で分担して行う (別途指示する)。 ＜演習中の事故防止と事故発生時の対応＞ 1) 万一事故が発生した場合は直ちに教員に報告し、必要時、教員の指示のもと適切な対処をする。教員は学生への適切な対処を行うと同時に報告・確認・調整を行う。 2) 事故発生後は適切な処置を終えたのち、教員に相談の上でインシデントレポートを提出する。 3) 物品の破損の場合は、直ちに教員に報告し破損届けを提出する (過失による破損は学生保険払いとする)。 ＜欠席者の取り扱い＞ 1) 原則として欠席・遅刻は認めない。欠席した看護技術の修得に関しては自己責任とするが、正当な理由がある場合のみ補充演習を行

- う。
- 2) 4 コマ以内の欠席であっても、欠席した講義・演習の内容に応じて、後日レポート提出や実技チェックを課す場合がある。演習担当教員とコンタクトを取るなど主体的な行動を求める。
- ＜その他＞
- 1) 演習開始時の役割分担（物品準備、机・椅子などベッド周辺の片付け、患者役等）と準備を早急に行い、演習開始が遅れないようにする。
 - 2) 演習時は、技術演習の到達度を優先するため、上記努力にもかかわらず予定時間を延長する場合が多い。終了時間の確実な保障はできないので演習日のアルバイト等は控える。
 - 3) 講義、演習日までに、事前・事後課題・演習ワークシート、その他指示された持参物に関する関連資料を確認の上で臨む。
 - 4) 提出物が2枚以上になる場合、必ず左上を綴じる。綴じていないものは受け取らない。
 - 5) プリントを挟むバインダーを持参する。
 - 6) 実習室に忘れ物をしないよう注意する（私物には、全て記名しておく）。

備考

この科目の履修ができていないと看護援助技術Ⅱ＆Ⅲ、および基礎看護学実習Ⅰ＆Ⅱの履修はできませんので、注意しましょう。

講義コード	1N31300
講義名	看護援助技術Ⅱ（日常生活の援助技術）03-02
(副題)	実務経験がある教員による授業科目
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	講義・演習
基準単位数	2
時間	60.00
代表曜日	水曜日
代表時限	3時限
科目分類名	基礎看護学分野
科目分野名	基礎看護学
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 榎藤 多栄	基礎看護学領域 看護師免許保有
教授	長家 智子	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	姜 旻廷	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	溝口 晶子	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	竹井 千里	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	山口 今日子	成人看護学領域 看護師免許保有
講師	丸山 智子	成人看護学領域 看護師免許保有
助教	井上 由美子	成人看護学領域 看護師免許保有

一般目標(GIO)

看護の基礎的援助技術の学習や実技演習を通して、対象者のニーズに応じた看護援助に必要な基礎的技術や態度を身につける。

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー：(1)(2)

※対応するカリキュラムポリシー：(2)

1. 看護の視点で日常生活を援助する意義と、その実施にあたってのプロセスを説明できる。
2. 対象者および看護職者の安全と安楽を考えた看護援助が実施できる。
3. 食事(栄養摂取)の基本的な援助が実施できる。
4. 排泄の基本的な援助が実施できる。
5. 苦痛の緩和と安楽確保の援助技術ができる。
6. 活動状態と睡眠や休息の状態をアセスメントして、援助技術できる。
7. 衣生活・清潔の基本的な援助技術が実施できる。
8. 療養中の対象者の日常生活を看護の視点で全体的に把握し、日常生活を整えることの大切さを説明できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	榎藤多栄	講義ガイダンス 看護技術の基盤	講義の進め方、履修上の注意など 1. 医療安全の確保 2. 的確な看護判断と適切な看護技術の提供 3. 対象者に合わせて看護技術を想像する	講義
第2回	榎藤多栄	食事援助技術①	1. 食事援助の基礎知識 食事と食生活援助、摂食・嚥下機能・栄養吸収のアセスメント 2. 食事摂取の援助方法 起座位・臥床患者の食事介助	講義

第 3 回	権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	食事援助技術②	食事摂取の介助 口腔の視診、下顎及び咽頭の動きの確認 臥床患者の食事介助	演習
第 4 回	権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	食事援助技術②	食事摂取の介助 口腔の視診、下顎及び咽頭の動きの確認 臥床患者の食事介助	演習
第 5 回	溝口 晶子	排泄援助技術①	1. 腹部のフィジカルアセスメント 腹部の視診、触診、打診、腸の蠕動運動の聴診 2. 自然排尿および自然排便を促す援助 3. 対象の排泄状態・状況にあわせた援助 4. 排尿・排便のアセスメント	講義
第 6 回	溝口晶子 権藤多栄 姜 旻廷 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	排泄援助技術②	腹部の視診、触診、打診、腹囲測定 便器・尿器の装着と除去	演習
第 7 回	溝口晶子 権藤多栄 姜 旻廷 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	排泄援助技術③	腹部の視診、触診、打診、腹囲測定 便器・尿器の装着と除去	演習
第 8 回	溝口 晶子	排泄援助技術④	トイレにおける排泄介助：ポータブルトイレ おむつによる排泄援助、陰部洗浄	講義 演習
第 9 回	溝口晶子 権藤多栄 姜 旻廷 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	排泄援助技術⑤	紙おむつの装着と除去 陰部洗浄	演習
第 10 回	溝口晶子 権藤多栄 姜 旻廷 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	排泄援助技術⑥	紙おむつの装着と除去 陰部洗浄	演習
第 11 回	姜 旻廷	苦痛の緩和・安楽確保の技術①	1. 体位保持：良肢位とポジショニング 2. 電法：温電法・冷電法	講義
第 12 回	姜 旻廷 権藤多栄 竹井千里 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	苦痛の緩和・安楽確保の技術②	体位保持：ポジショニング 電法：氷枕、湯たんぽ	演習

第 13 回	姜 旻廷 榎藤多栄 竹井千里 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	苦痛の緩和・安楽確保の技術③	体位保持:ポジショニング 褥法:氷枕、湯たんぽ	演習
第 14 回	溝口 晶子	活動・休息援助技術①	睡眠・休息の援助	講義
第 15 回	姜 旻廷	清潔・衣生活援助技術①	1. 清潔・衣生活の援助 1) 衣生活、身体の清潔 2) 清潔の方法の種類と選択 3) 入浴・シャワー浴の効果と負荷 4) 清拭、寝衣交換、皮膚のアセスメント	講義
第 16 回	姜 旻廷 榎藤多栄 竹井千里 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	清潔・衣生活援助技術②	清潔・衣生活の援助 ①清拭 ②寝衣交換	演習
第 17 回	姜 旻廷 榎藤多栄 竹井千里 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	清潔・衣生活援助技術③	清潔・衣生活の援助 ①清拭 ②寝衣交換	演習
第 18 回	竹井 千里	清潔・衣生活援助技術④	1. 清潔・衣生活の援助 1) 洗面・整容、口腔ケア、義歯の保護 2) 足浴 3) 洗髪	講義 演習
第 19 回	竹井千里 姜 旻廷 榎藤多栄 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	清潔・衣生活援助技術⑤	1. 清潔・衣生活の援助 1) 口腔ケア 2) 足浴	演習
第 20 回	竹井千里 姜 旻廷 榎藤多栄 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	清潔・衣生活援助技術⑥	1. 清潔・衣生活の援助 1) 口腔ケア 2) 足浴	演習
第 21 回	長家智子	課題演習	詳細は授業中に説明する	演習
第 22 回	長家智子	課題演習	詳細は授業中に説明する	演習
第 23 回	竹井千里 姜 旻廷 榎藤多栄 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	清潔・衣生活援助技術⑦	1. 清潔・衣生活の援助 1) 洗髪	演習
第 24 回	竹井千里 姜 旻廷 榎藤多栄 溝口晶子	清潔・衣生活援助技術⑧	1. 清潔・衣生活の援助 1) 洗髪	演習

	山口今日子 丸山智子 井上由美子			
第 25 回	権藤多栄	看護援助技術 日常生活援助技術①	療養中の患者の日常生活を看護の視点で全体的にとらえる。 患者の立場を体験する 生活者としての患者	講義
第 26 回	権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	看護援助技術 日常生活援助技術②	療養中の患者の日常生活を看護の視点で全体的にとらえる。 模擬患者 アセスメント バイタルサイン測定	演習
第 27 回	権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	看護援助技術 日常生活援助技術③	療養中の患者の日常生活を看護の視点で全体的にとらえる。 模擬患者: 援助技術(体位変換・ポジショニング)	演習
第 28 回	権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	看護援助技術 日常生活援助技術④	療養中の患者の日常生活を看護の視点で全体的にとらえる。 模擬患者: 援助技術(体位変換・ポジショニング)	演習
第 29 回	権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	看護援助技術 日常生活援助技術⑤	全体討議 日常生活援助技術	演習
第 30 回	権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 竹井千里 山口今日子 丸山智子 井上由美子	看護援助技術 日常生活援助技術 看護援助技術Ⅱ(日常生活の援助技術)のまとめ	全体討議 日常生活援助技術 看護援助技術Ⅱ(日常生活の援助技術)の振り返りと理解度確認	演習

授業概要

看護の対象者の日常生活は、生活史やその環境によって異なり、個別的であり、自立的であることを講義と演習によって学ぶ。そのうえで、看護の対象者が日常生活に支障をきたしたり、健康障害のあらゆるレベルで医療機関を利用したり、その可能性を抱える時、どのような援助があるのかについて演習(実技)を含め学ぶ。演習においてはモデルを用いる方法あるいは学生が患者役、看護師役を果たすことにより相手の立場に立ち、相手を思いやる「心」と「技」そして、講義における知識を統合(一体に)し、人間の尊厳に配慮した看護とは何かを探求していく。つまり、これらを通して、支障なく日常生活をおくる意義を感じ、日常生活の援助技術をより確かなものにするための学びを深める。

授業形式

後期 9 月 16 日(水)から 10 月 15 日(木)の水&木曜日の 3~5 限に 3 コマ続きで行います。

評価方法

定期試験 ■レポート■その他(演習中の取り組み) 定期試験 60% レポート 20% 演習中の取り組み 20%
・出席状況は、出欠・遅刻・早退に応じて評定する。演習を重視するため、5コマ以上の欠席は原則として評価の対象としない。
・演習後レポートは、提出状況及びその内容について評価する。
・演習中の態度は、演習に際しての注意事項に記載されている事項について注意を受けた者は、回数に応じて減点する。

教科書 (ISBN 番号)

医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学[2]「基礎看護技術Ⅰ」第18版 ISBN978-4-260-04211-6、
医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学[3]「基礎看護技術Ⅱ」第18版 ISBN978-4-260-04212-3

参考書

その都度お知らせします。

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時、お知らせします。

学生へのメッセージ

<演習前の準備>

1) 実習室入室前の準備

- (1) 所定の場所で実習着、ナースシューズ、白の靴下への着替えを済ませ、入室する。演習項目によっては別の指示が出る場合があるので、指示書を確認する。
- (2) 更衣室の使用ができない場合は、上: 背中が出ない長さ、襟元がつまった半袖のTシャツかポロシャツ、下: ジャージまたは長ズボン、白の靴下とする。
- (3) 髪は、肩にかからないように整える。長い場合は、一つに結んでネットでまとめる。前髪は目にかからない長さとする。横髪は、垂れないようにピン等で留める。
- (4) 爪は短く切り、清潔に整える。
- (5) 実習室には、教科書・ノート・筆記用具・指示された持参物品等のみ持ち込める。その他の物品は、講義室においてくる。(講義室は施錠する)。

2) 実習室入室後の準備

- (1) 開始5分前までに、手洗いをすませ所定の位置につく。
- (2) 演習開始後は、演習に必要な物品のみを出し、私物は床頭台の中に収納する。

<演習の進め方>

- 1) 演習の手順書は原則として前週に配布するので、手順を頭に入れて演習に臨む。
- 2) 準備は、グループで協力して手順書で指示されたように整える。
- 3) 演習前に、教員によるデモンストレーションおよび、安全・安楽に技術を提供するためのコツについて説明がある。各自、ベッドの周辺に集合し、モニターを見る。
- 4) 演習は、1人看護師役、1人患者役、1人観察者、1人記録者とする。
 - ・看護師役: 覚えて来た手順に沿って演習するが、手順がどうしてもわからなくなった場合は、記録者に確認する。ただし、3番目、4番目に行うものは、自力で行う。
 - ・患者役: 患者役に徹する。不快に思うこと、説明が不足することなど、気づいたことは全て発言する。その内容は、記録者が手順書に記録する。
 - ・観察者: 看護師役が実施する技術を、手順書、講義内容およびデモンストレーションからの学びに照らし合わせ、評価し、記録者に伝える。
 - ・記録者: 患者役、観察者のコメントを記録する。教員からのコメントも全て記録に残す。

<実習室の使い方>

- 1) 各自 (各グループ) に割り当てられたベッドを責任もって使用する。
- 2) 実習の目的以外でベッドを使用しない(荷物を置いたり、自己の休息のために横になったりしない)。
- 3) 演習終了後はサイドテーブル、床頭台、ライト、机、椅子は所定の位置に戻す。
- 4) 演習終了後は、クローズドベッドに整える。
- 5) 演習開始時には、ベッド周囲のスペースを確保する。
- 6) 実習室内で飲食は禁止する。
- 7) 演習物品の使用時は、教員の指示に従う。
- 8) 演習終了後の後片付けについては、演習計画書で指示したとおりとする。
- 9) ごみは、大学の分類の指示に従って確実に分類する。

<清掃担当について>

- 1) 毎回、演習終了時は3~4グループ交代で清掃、片付け、指示があれば次回の演習準備を行う。
- 2) 清掃担当については、清掃分担表(別紙配布)に従う。
- 3) 清掃: 床清掃、椅子やワゴンなどを動かしてから、実習室・準備室など全体にクイックルワイパーをかける)、上拭き(机、ワゴン、サイドテーブル、床頭台など)を行う。シンクは水分を残さないように拭き上げる。
- 4) 清掃終了後は、点検責任の学生が点検し完了後に、点検教員に報告して確認を受けた上で終了する。
- 5) 原則全ての演習終了後に、実習室内の大掃除・物品整理を全員で分担して行う(別途指示する)。

<演習中の事故防止と事故発生時の対応>

- 1) 万一事故が発生した場合は直ちに教員に報告し、必要時、教員の指示のもと適切な対応をする。教員は学生への適切な対応を行うと同時に報告・確認・調整を行う。
- 2) 事故発生後は適切な処置を終えたのち、教員に相談の上でインシデントレポートを提出する。
- 3) 物品の破損の場合は、直ちに教員に報告し破損届けを提出する(過失による破損は学生保険払いとする)。

<欠席者の取り扱い>

- 1) 原則として欠席・遅刻は認めない。欠席した看護技術の修得に関しては自己責任とする。正当な理由がある場合のみ補充実習を行う。

2) 4コマ以内の欠席であっても、欠席した講義・演習の内容に応じて、後日レポート提出や実技チェックを課す場合がある。演習担当教員とコンタクトを取るなど主体的な行動を求める。

＜その他＞

- 1) 演習開始時の役割分担(物品準備, 机・椅子などベッド周辺の片付け, 患者役等)と準備を早急に行い, 演習開始が遅れないようにする。
- 2) 演習時は, 技術演習の到達度を優先するため, 上記努力にもかかわらず予定時間を延長する場合が多い。終了時間の確実な保障はできないので演習日のアルバイト等は控える。
- 3) 講義, 演習日までに、事前・事後課題・演習ワークシート, その他指示された持参物に関する関連資料を確認の上で臨む。
- 4) 提出物が2枚以上になる場合, 必ず綴じる。綴じていないものは受け取らない。
- 5) プリントを挟むバインダーを持参する。
- 6) 実習室に忘れ物をしないよう注意する(私物には, 全て記名しておく)。

備考

この科目の履修ができていないと看護援助技術Ⅲおよび基礎看護学実習Ⅱの履修はできませんので、注意しましょう。

講義コード	1N31400
講義名	看護援助技術Ⅲ(診断・治療に伴う援助技術)03-02
(副題)	実務経験がある教員による授業科目
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	講義・演習
基準単位数	2
時間	60.00
代表曜日	木曜日
代表時限	3時限
科目分類名	基礎看護学分野
科目分野名	基礎看護学
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 長家 智子	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	権藤 多栄	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	姜 旻廷	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	溝口 晶子	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	竹井 千里	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	山口 今日子	成人看護学領域 看護師免許保有
講師	丸山 智子	成人看護学領域 看護師免許保有
助教	井上 由美子	成人看護学領域 看護師免許保有

一般目標(GIO)

治療・検査を受ける対象者に必要な看護を実践するために、基本的な診療技術に伴う看護についての知識・技術を習得する。また、治療・検査を受ける対象者の心理や看護者として必要な態度についても学ぶ。

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)(2)

※対応するカリキュラムポリシー:(2)

1. 演習で取り扱う看護技術について、一連の実施過程(留意点・根拠を含む)を理解し、基本的な技術を習得できる。
2. 看護ケアに必要な感染予防の方法が実施できる。
3. 症状・生体機能管理技術(検査時)における看護師の役割、主な検査の目的と検体の採取方法を理解し、モデルを用いた血液の採取方法を習得できる。
4. 安全確保の技術を説明できる。(誤薬防止・患者誤認、薬剤・放射線の曝露の防止)
5. 与薬の技術(薬物療法)における看護師の役割について説明できる。
6. 呼吸を整える援助技術(酸素吸入、口腔・鼻腔内吸引)が実施できる。
7. 治療的な排泄の援助(浣腸・導尿)が実施できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	長家智子	講義ガイダンス 診療補助技術	講義の進め方、履修上の注意など 1. 診療補助技術とは 2. 感染防止の技術、創傷管理の技術、無菌操作、与薬など身体侵襲を伴う看護行為 3. 医療事故を未然に防ぐリスクの認識、リスクマネジメントの重要性、対象者への説明力	講義
第2回	竹井千里	感染防止の技術①	無菌操作 1)看護ケアと感染予防、体液・血液曝露と感染防止 2)感染性廃棄物 3)ラテックスアレルギーと感作予防	講義

			4)無菌操作の基礎知識 5)保管方法、滅菌物の取り扱い 6)無菌操作の実際(滅菌のパックの取り扱い、滅菌手袋の着脱)	
第 3 回	竹井千里 長家智子 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	感染防止の技術②	無菌操作 1)滅菌パックの開封 2)滅菌手袋の着脱 3)滅菌手袋の着脱の技術チェック	演習
第 4 回	竹井千里 長家智子 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	感染防止の技術③	無菌操作 1)滅菌パックの開封 2)滅菌手袋の着脱 3)滅菌手袋の着脱の技術チェック	講義
第 5 回	溝口晶子	安全確保の技術①	安全確保の基礎知識 ・リスクマネジメントとセーフティマネジメント ・医療事故・医療過誤 ・インシデントレポート、アクシデントレポート ・患者誤認防止 ・転倒・転落防止 ・薬剤・放射線曝露の防止	講義
第 6 回	竹井千里	検査時の援助①	症状・生体機能管理技術の基礎知識 ・診療介助時の看護師の役割と責任 ・検査の分類と種類 ・検査値に影響する要因	講義
第 7 回	竹井千里	検査時の援助②	・検査時の看護 ・検体採取(血液、尿、便、喀痰) ・生体検査、生体情報のモニタリング ・静脈血採血法(真空採血管)	講義
第 8 回	竹井千里 長家智子 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	検査時の援助③	静脈血採血法 物品準備から採血、後片付けまで 検体の取り扱い	演習
第 9 回	竹井千里 長家智子 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	検査時の援助④	静脈血採血法 物品準備から採血、後片付けまで 検体の取り扱い	演習
第 10 回	溝口晶子	安全確保の技術②	誤薬防止 1)誤薬防止・誤認事故防止の基礎知識 2)誤薬防止の実際 指示受け、準備段階、実施段階 3)針刺し事故予防の方法と血液曝露予防策	講義
第 11 回	長家智子	与薬の技術①	与薬の基礎知識 ・薬物療法と看護 ・薬物療法の効果、副作用の観察	講義

			・6R の原則、ダブルチェック ・与薬の種類と投与方法 経口与薬、吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬	
第 12 回	長家智子	与薬の技術②	与薬の基礎知識 1) 注射の種類と適応(皮内、皮下、筋肉内、静脈内) 2) 注射器・注射針の取扱い 3) 薬液の準備(バイアル、アンプル)	講義
第 13 回	長家智子 竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	与薬の技術③	薬液の準備 注射の準備 注射器と針の接続 アンプル・バイアルからの薬液の吸引	演習
第 14 回	長家智子 竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	与薬の技術④	薬液の準備 注射の準備 注射器と針の接続 アンプル・バイアルからの薬液の吸引	演習
第 15 回	長家智子 竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	与薬の技術⑤	技術チェック 注射の準備:アンプルからの薬液吸引	演習
第 16 回	長家智子	与薬の技術⑥	注射の実施方法(皮下注射、皮内注射) ・筋肉内注射の準備 ・筋肉内注射の実施	講義
第 17 回	長家智子 竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	与薬の技術⑦	皮下注射、皮内注射(シミュレータ使用) ・注射器の準備、薬液の確認と準備 ・筋肉内注射法の実施・注射部位の選択と実施	演習
第 18 回	長家智子 竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	与薬の技術⑧	皮下注射、皮内注射(シミュレータ使用) ・注射器の準備、薬液の確認と準備 ・筋肉内注射法の実施・注射部位の選択と実施	演習
第 19 回	長家智子	与薬の技術⑨	静脈注射 ・看護師の静脈内注射の実施範囲、静脈内注射の適応、静脈内注射の準備と実施方法 ・点滴静脈内注射の準備と実施方法 ・静脈内注射の実施における留意点 ・合併症の予防と対処方法	講義
第 20 回	長家智子 竹井千里 権藤多栄	与薬の技術⑩	点滴静脈内注射の準備 ・注射針・点滴セットの接続とプライミング、滴下調整	演習

	姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子		・点滴静脈内注射の実施(シミュレータ使用) ・血管穿刺、針・輸液セットの固定、抜針	
第 21 回	長家智子 竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	与薬の技術⑪	点滴静脈内注射の準備 ・注射針・点滴セットの接続とプライミング、滴下調整 ・点滴静脈内注射の実施(シミュレータ使用) ・血管穿刺、針・輸液セットの固定、抜針	演習
第 22 回	姜 旻廷	呼吸を整える技術①	・呼吸に関する基礎知識 酸素、酸素飽和度、生体情報のモニタリング ・酸素吸入 酸素吸入を必要とする患者の観察、酸素吸入の種類(中央配管・酸素ボンベ、マスク・カニューレ) ・気道を浄化する援助 ネブライザー吸入、口腔・鼻腔内吸引	講義
第 23 回	姜 旻廷 長家智子 竹井千里 権藤多栄 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	呼吸を整える技術②	・酸素吸入(酸素ボンベ、中央配管方式) ・口腔・鼻腔内吸引(シミュレーターを用いた一時的吸引)	演習
第 24 回	姜 旻廷 長家智子 竹井千里 権藤多栄 溝口晶子 山口今日子 丸山智子 井上由美子	呼吸を整える技術②	・酸素吸入(酸素ボンベ、中央配管方式) ・口腔・鼻腔内吸引(シミュレーターを用いた一時的吸引)	演習
第 25 回	溝口晶子	排泄援助技術①	治療的な排泄(排尿・排便)の援助 治療的排泄の基礎知識 薬物使用:経口薬、坐薬、浣腸、摘便	講義
第 26 回	溝口晶子 長家智子 竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 井上由美子	排泄援助技術②	治療的排泄技術 浣腸(グリセリン浣腸)	演習
第 27 回	溝口晶子	排泄援助技術③	治療的排泄技術 導尿(一時的導尿、膀胱内留置カテーテル)	講義
第 28 回	溝口晶子 長家智子 竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 井上由美子	排泄援助技術④	治療的排泄技術 排泄技術:浣腸(グリセリン浣腸) 導尿	演習
第 29 回	溝口晶子 長家智子	排泄援助技術⑤	治療的排泄技術 排泄技術:浣腸(グリセリン浣腸) 導尿	演習

	竹井千里 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 井上由美子			
第 30 回	長家智子	看護援助技術Ⅲのまとめ	看護援助技術Ⅲ(診断・治療に伴う援助技術)の振り返りと理解度確認	講義

授業概要

看護援助技術の診療の補助とは相対的医療行為であり、対象者にとって身体侵襲を伴う看護行為となる。そのため、医療事故を未然に防ぐリスクの認識、リスクマネジメントの重要性、対象者への説明力なども必要になる。よって看護基礎技術の基盤となる安全・安楽をより意識した行動が必要となる。

感染防止のための無菌操作、症状・生体機能管理技術(検査のための採血)、与薬・注射法、導尿・浣腸など治療・処置、検査時の看護技術を学ぶ。

具体的には講義、演習を通して診療に伴う対象者の心理的・身体的な苦痛を理解し、単にテクニックを学ぶのではなく、知的技術、身体的技能、人間関係技能が統合されることを目標としている。

評価方法

■定期試験 ■レポート

■その他(演習中の取り組み) 定期試験 60% レポート 20% 演習中の取り組み 20%

・出席状況は、出欠・遅刻・早退に応じて評定する。演習を重視するため、5コマ以上の欠席は原則として評価の対象としない。

・演習後レポートは、提出状況及びその内容について評価する。

・演習中の態度は、演習に際しての注意事項に記載されている事項について注意を受けた者は、回数に応じて減点する。

教科書 (ISBN 番号)

教科書 (ISBN 番号)

医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学[2]「基礎看護技術Ⅰ」第18版 ISBN978-4-260-04211-6、

医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学[3]「基礎看護技術Ⅱ」第18版 ISBN978-4-260-04212-3

動画でみる新しい注射の技術(978-4-805-83042-0)

参考書

その都度お知らせします。

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時、お知らせします。

学生へのメッセージ

<演習前の準備>

1)実習室入室前の準備

(1)所定の場所で更衣(原則として上着は実習着、ナースシューズ、白の靴下着用)を済ませ、入室する。演習項目によっては別の指示が出る場合があるので、指示書を確認する。実習着から下着やＴシャツ等がでないよう注意する。

(2)白衣以外の場合でも、以下の基準を守る。

上:背中が出ない長さ、襟元がつまった半袖のＴシャツかポロシャツ、下:ジャージ・長ズボン(演習によっては短パン)。

(3)髪は、肩にかからないように整える。長い場合は、一つに結んでネットでまとめる。前髪は目にかからない長さとする。横髪は、垂れないようにピン等で留める。

(4)爪は短く切り、清潔に整える。

(5)実習室には、教科書・ノート・筆記用具・貴重品・指示された持参物品等のみ持ち込める。携帯電話の持ち込み、講義室に荷物を放置することは禁止する。

2)実習室入室後の準備

(1)開始5分前までに、手洗いをすませ所定の位置につく。

(2)演習開始後は、演習に必要な物品のみを出し、私物は床頭台の中に収納する。

<演習の進め方>

1)演習の手順書は原則として前週に配布するので、手順を頭に入れて演習に臨む。

2)準備は、グループで協力して手順書で指示されたように整える。

3)演習前に、教員によるデモンストレーションおよび、安全・安楽に技術を提供するためのコツについて説明がある。各自、モニターの周辺に集合する。

4)演習は、1人看護師役、1人患者役、1人観察者、1人記録者とする。

・看護師役:覚えて来た手順に沿って演習するが、手順がどうしてもわからなくなった場合は、記録者に確認する。ただし、3番目、4番目に行うものは、自力で行う。

・患者役:患者役に徹する。不快に思うこと、説明が不足することなど、気づいたことは全て発言する。その内容は、記録者が手順書に記録する。

・観察者:看護師役が実施する技術を、手順書、講義内容およびデモンストレーションからの学びに照らし合わせ、評価し、記録者に伝える。

・記録者:患者役、観察者のコメントを記録する。教員からのコメントも全て記録に残す。

＜実習室の使い方＞

- 1)各自（各グループ）に割り当てられたベッドを責任もって使用する。
- 2)実習の目的以外でベッドを使用しない(荷物を置いたり、自己の休息のために横になったりしない)。
- 3)演習終了後はサイドテーブル、床頭台、ライト、机、椅子は所定の位置に戻す。
- 4)演習終了後は、クローズドベッドに整える。
- 5)演習開始時には、ベッド周囲のスペースを確保する。
- 6)実習室内で飲食は禁止する。
- 7)演習物品の使用時は、教員の指示に従う。
- 8)演習終了後の後片付けについては、演習計画書で指示したとおりとする。
- 9)ごみは、大学の分類の指示に従って確実に分類する。

＜清掃担当について＞

- 1)毎回、演習終了時は3～4グループ交代で清掃、片付け、指示があれば次回の演習準備を行う。
- 2)清掃担当については、清掃分担表(別紙配布)に従う。
- 3)清掃:床清掃、椅子やワゴンなどを動かしてから、実習室・準備室など全体にクイックルワイパーをかける)、上拭き(机、ワゴン、サイドテーブル、床頭台など)を行う。シンクは水分を残さないように拭き上げる。
- 4)清掃終了後は、点検責任の学生が点検し完了後に、点検教員に報告して確認を受けた上で終了する。
- 5)原則全ての演習終了後に、実習室内の大掃除・物品整理を全員で分担して行う(別途指示する)。

＜演習中の事故防止と事故発生時の対応＞

- 1)万一事故が発生した場合は直ちに教員に報告し、必要時、教員の指示のもと適切な対処をする。教員は学生への適切な対処を行うと同時に報告・確認・調整を行う。
- 2)事故発生後は適切な処置を終えたのち、教員に相談の上でインシデントレポートを提出する。
- 3)物品の破損の場合は、直ちに教員に報告し破損届けを提出する(過失による破損は学生保険払いとする)。

＜欠席者の取り扱い＞

- 1)原則として欠席・遅刻は認めない。欠席した看護技術の修得に関しては自己責任するが、正当な事由があった場合は補充演習を行う。次回の演習に支障をきたさないよう速やかに対応すること。
- 2)4コマ以内の欠席であっても、欠席した講義・演習の内容に応じて、後日レポート提出や実技チェックを課す場合がある。演習担当教員とコンタクトを取るなど主体的な行動を求める。

＜その他＞

- 1)演習開始時の役割分担(物品準備、机・椅子などベッド周辺の片付け、患者役等)と準備を早急に行い、演習開始が遅れないようにする。
- 2)演習時は、技術演習の到達度を優先するため、上記努力にもかかわらず予定時間を延長する場合が多い。終了時間の確実な保障はできないので演習日のアルバイト等は控える。
- 3)講義、演習日までに、事前・事後課題・演習ワークシート、その他指示された持参物に関する関連資料を確認の上で臨む。
- 4)提出物が2枚以上になる場合、必ず綴じる。綴じていないものは受け取らない。
- 5)プリントを挟むバインダーを持参する。
- 6)実習室に忘れ物をしないよう注意する(私物には、全て記名しておく)。

備考

この科目の履修ができていないと基礎看護学実習Ⅱの履修はできませんので、注意しましょう。

講義コード	2N31700
講義名	基礎看護学実習 I 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
代表曜日	
代表時限	
科目分類名	基礎看護学分野
科目分野名	基礎看護学
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 長家 智子	基礎看護学領域 看護師免許保有
准教授	中村 眞理子	成人看護学領域 看護師免許保有
准教授	園田 和子	公衆衛生看護学領域 看護師・保健師免許保有
講師	榎藤 多栄	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	姜 旻廷	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	山口 今日子	成人看護学領域 看護師免許保有
講師	丸山 智子	成人看護学領域 看護師免許保有
講師	山本 弘恵	高齢者看護学領域 看護師免許保有
講師	小山 記代子	小児看護学領域 看護師免許保有
講師	前原 敬子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
講師	川口 弥恵子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
講師	宮崎 初	精神看護学領域 看護師・保健師免許保有
助教	溝口 晶子	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	竹井 千里	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	井上 由美子	成人看護学領域 看護師免許保有
助教	野田 優子	小児看護学領域 看護師免許保有
助教	日高 朱里	母性・助産学領域 看護師・保健師・助産師免許保有
助教	栗原 はるか	精神看護学領域 看護師・保健師免許保有
助教	小川 有希子	地域看護学領域 看護師・保健師免許保有

一般目標(GIO)

看護の対象に早期に接触することで、様々な看護の対象や看護の場、看護の実際を知り、看護学の学習の動機づけにできる。
 病院で実施されている看護業務の流れに沿って行動し、患者の生活および看護の実際を知る。
 医療に関わる一員として、基本的態度を身に付けることができる。

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー：(1) (2)

※対応するカリキュラムポリシー：(2)

- 1.看護の対象となる人々に関わる医療の場を理解することができる。
- 2.看護の対象者となる人々を、地域で生活している生活者としての視点から理解することができる。
- 3.医療に関わる一員として、基本的態度を身に付けることができる。
- 4.日常生活行動のニーズに関する看護技術の意義を理解することができる。
- 5.指導のもとで対象と実際に接触し、コミュニケーションをとることを試みる。

授業計画表

回	項目	内容
第 1 回	基礎看護学実習 I	9 月に実施する予定です。 実習方法や詳細は、別途実習要項を参照

授業概要

早期体験実習として実際の医療現場に初めて足を踏み入れる。看護職が活動する病院において、看護職や病院で働く多職種の活動を見学及び体験し、保健・医療・福祉分野への関心と理解を深める。また、看護活動の実際を見学・体験することで、看護の役割や機能、保健・医療・福祉の連携の必要性や患者を取り巻く環境について学び、医療に携わる一員としての基本的態度を身につけるとともに、具体的な看護援助のイメージができ、看護学を学ぶ動機づけとなることを目指す。

授業形式

実習

評価方法

■実習評価 実習評価基準による評価

教科書 (ISBN 番号)

看護学概論、看護援助技術 I (看護基本技術) で使用した教科書

参考書

その都度お知らせします。

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時、お知らせします。

学生へのメッセージ

本来、大学を離れ病院という看護の対象者の療養の場を実習場所として使用します。病院実習では、患者や医療従事者間の感染を予防するために、健康診断を受けていること、各種感染症の抗体を有していることなど、条件が設定されています。また、基礎看護学関連の科目の単位を取得または取得予定であることが求められます。

今年度は、学内演習等で代替しますが、基礎看護学実習 I を受講するに当たっては、学生といえども看護者の一員としての態度を身に付けておく必要があります。

実習に当たっての諸注意は、後日連絡し実施します。

講義コード	2N42300
講義名	高齢者看護学実習 I 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
代表曜日	
代表時限	
科目分類名	専門実践分野
科目分野名	高齢者看護学
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山本 弘恵	高齢者看護学領域 看護師免許保有
教授	吉武 毅人	成人看護学領域 医師経験あり
教授	中尾 久子	高齢者看護学領域 看護師免許保有
教授	安藤 満代	精神看護学領域 看護師免許保有
准教授	渡邊 美保	高齢者看護学領域 看護師・保健師免許保有
講師	山口 今日子	成人看護学領域 看護師免許保有
助教	溝口 晶子	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	小川 有希子	地域看護学領域 看護師・保健師免許保有

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1) (2) (3)

※対応するカリキュラムポリシー: (2)

1. 高齢者とのふれあいを通して、加齢による心と身体の変化の実際を知ることができる。
2. 高齢者の日常生活から身体機能、生活に対する満足や生きがい等について理解することができる。
3. 高齢者の健康維持への取り組みについて理解することができる。
4. 地域や行政における高齢者への支援の取り組みについて理解することができる。
5. 高齢者の社会活動に接し、高齢者とのコミュニケーションを体験することができる。
6. 高齢者の特徴を知り、尊厳ある態度で接することができる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第 1 回	山本弘恵 吉武毅人 中尾久子 安藤満代 渡邊美保 山口今日子 溝口晶子 小川有希子	高齢者看護学実習 I	実習方法は、別途実習要項を参照	実習

授業概要

早期体験実習として実際の医療現場にふれる「基礎看護学実習 I」において、将来看護を目指す者としての基本的態度を学んだことを基盤に、ここでは地域で生活する高齢者とのふれあいを通して、身体的、精神的、社会的な側面から理解を深め、日常生活とその環境について学ぶ。そのために高齢者疑似体験を通して身体的特徴及び加齢に伴う生活の影響や心理について、また認知症サポーター養成講座を受講し認知症の基礎知識について学ぶ。社会福祉協議会による出前講座において高齢者に対するマナーやふれあいサロン活動に対する心構えを学ぶ。以上のことをふまえ、実際に地域で生活する高齢者とふれあい、コミュニケーションを体験し、孤立防止や介護予防、生きがいと健康づくりについて学ぶ。ここでの学びを今後、高齢者看護学概論、へとつないでいく。

授業形式
実習
評価方法
■実習評価 実習評価基準による評価
教科書 (ISBN 番号)
高齢者看護学実習Ⅰオリエンテーション時にお知らせします。
参考書
高齢者看護学実習Ⅰオリエンテーション時にお知らせします。
オフィスアワー(授業相談)
初回講義時、お知らせします。
学生へのメッセージ
高齢者の方々のことや自分が年齢を重ねていくこと等を考えたことがありますか？ 若い学生さんたちにもぜひ、これらのことに興味関心を持って頂きたいと思います。 この実習では高齢者の方、そして取り巻く人々としっかりふれあい、たくさんお話をしてください。今までとは違う何かが見えたり、感じたりできるとうれしいですね。

講義コード	1N45200
講義名	メンタルヘルス論 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
代表曜日	木曜日
代表時限	1時限
科目分類名	専門実践分野
科目分野名	精神看護学
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 安藤 満代	精神看護学領域 看護師免許保有
講師	宮崎 初	精神看護学領域 看護師・保健師免許保有

求められる基本的な資質

以下にこの科目を学ぶための基本的な資質を示します。

- 1.精神看護学の基礎としての精神的健康(メンタルヘルス)について興味や関心をもっている。
- 2.人を看護する場合において、身体的側面と同様に精神的側面も重要であると考えられることができる。
- 3.講義やグループワークにおいては積極的に関わろうとし、また協調性をもっている。
- 4.レポート課題に対しては、問題を探求しようとする姿勢を持っている。
- 5.社会のさまざまな場面での精神的健康の問題と看護について関連について考える姿勢をもっている。

一般目標(GIO)

1. 人間にとっての精神的健康(メンタルヘルス)の重要性やメンタルヘルスの概念を理解できる。
2. 精神的健康が、個人のライフサイクル、家族や社会との関係のなかで形成されることを理解できる。
3. 精神的健康を保つための基礎として、人間の心の構造や働きについて理解できる。
4. 精神的健康の不調に影響するストレスや危機について理解できる。
5. 学校・職場・地域社会における精神的健康の問題や課題について理解できる。
6. 精神的健康を保持・増進する方法について理解できる。

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1) (2) (3)

※対応するカリキュラムポリシー: (2)

1. 人間の精神(心)の構造と機能について述べることができる。
2. 自我の発達と精神(心)の健康について述べることができる。
3. 欲求と心の健康について知識を持つことができる。
4. 危機モデルにおける精神の成長発達と状況的危機について知識を持つことができる。
5. 現代における社会状況の変化が及ぼすストレスと心身の健康について議論することができる。
6. ストレスマネジメントの知識を基に、日常生活に役立つ方法を記述することができる。
7. 人間の一般的な精神(心)に関する知識と自己の体験を関連づけて意見を述べるすることができる。
8. 心身の健康を維持する方法や対策を述べることができる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	安藤 満代	講義ガイダンス メンタルヘルスとは何か、精神(心)の構造と機能	講義の進め方、履修上の注意など メンタルヘルスとは何か 精神(心)の構造と働き(イド、自我、超自我)	講義
第2回	安藤 満代	こころと環境	欲求と心の健康(動機づけ)、動機づけ理論(マズロー)、不安と防衛機制	講義

第3回	安藤 満代	自我の発達と心の健康	精神分析理論における自我機能、発達に関する諸理論(フロイト、エリクソン、ピアジェ)	講義
第4回	宮崎 初	危機状況と心の動き、危機モデルと危機予防	精神の成長発達と危機、発達の危機と状況的危機(PTSD、災害時の反応など)、危機モデルと危機予防	講義
第5回	宮崎 初	現代社会におけるストレスと健康	現代社会におけるストレスと健康	講義
第6回	宮崎 初	ストレスマネジメント	心の危機とストレスコーピング、ライフイベントとストレス尺度(ワークライフ・バランス)	講義
第7回	安藤 満代	心と身体の相互作用	心身症、うつ病	講義
第8回	安藤 満代	メンタルヘルス論のまとめ	メンタルヘルス論のまとめ	講義

授業概要

人間の健康を理解するためには、こころ(精神)、身体、環境(社会)が密接に関係していることを理解する必要がある。現代では、人間関係の多様化からこころの問題も多様化しており、対人関係でストレスを受けて、こころや身体に変調をきたす例も少なくない。このように、メンタルヘルスの問題は私たちの身近に起きており、出産・育児から、親子・夫婦関係や学校・職場の人間関係など、日常生活に深くかかわっている。これらの現状を踏まえて、以下の点を中心に学んでいく。

1. 人間の精神(心)を生物学的な面のみでなく、心理学的、特に発達学的側面、社会学的側面から、広く関係理論を説く。精神の健康とは何かについて、自己の体験と結びつけながら考え、改めて心身の健康の維持について学ぶ。
2. 学生が一人の社会人として、また医療従事者として、心身の健康を維持するための諸知識を基に、自己に適したメンタルヘルスに関する対処方法を模索し表現する。

授業形式

講義、グループワーク、プレゼンテーション、視聴覚教材の視聴

評価方法

■定期試験 ■レポート 定期試験 60%、レポート 40%

教科書(ISBN 番号)

岩崎弥生・渡邊博幸(編集)(2019) 精神看護学概論 精神保健. メディカルフレンド社
(ISBN 978-4-8392-3363-1)

参考書

- 1) ナーシング・グラフィカ 精神看護学①情緒発達と精神看護の基本 (2018) メディカ出版
- 2) 宮本眞巳(編)(2016) 精神看護学 中央法規

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時、お知らせします。

学生へのメッセージ

精神保健(メンタルヘルス)は、どの人にとっても生活の質に関わる重要なものと言えます。またこれは、社会のさまざまな場面でも関係しています。学生の皆さんにとっても今後の学生生活を有意義にしていくために、有用な知識となるでしょう。社会との関連で考えていくという広い視野を持ちながら、学修していきましょう。

講義コード	1N54100
講義名	スタディスキルセミナー03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義・演習
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	木曜日
代表時限	4時限
科目分類名	看護統合分野
科目分野名	キャリア開発科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山本 弘恵	高齢者看護学領域 看護師免許保有
教授	濱田 裕子	小児看護学領域 看護師・保健師免許保有
教授	西地 令子	公衆衛生看護学領域 看護師・保健師免許保有
講師	前原 敬子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
教授	吉武 毅人	成人看護学領域 医師経験あり
教授	平田 伸子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
教授	村田 節子	地域医療薬学センター
教授	長家 智子	基礎看護学領域 看護師免許保有
教授	中尾 久子	高齢者看護学領域 看護師免許保有
教授	安藤 満代	精神看護学領域 看護師免許保有
教授	西田 和子	地域看護学領域 看護師・保健師・助産師免許保有
准教授	中村 眞理子	成人看護学領域 看護師免許保有
准教授	渡邊 美保	高齢者看護学領域 看護師・保健師免許保有
准教授	園田 和子	公衆衛生看護学領域 看護師・保健師免許保有
講師	権藤 多栄	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	姜 旻廷	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	山口 今日子	成人看護学領域 看護師免許保有
講師	丸山 智子	成人看護学領域 看護師免許保有
講師	小山 記代子	小児看護学領域 看護師免許保有
講師	川口 弥恵子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
講師	宮崎 初	精神看護学領域 看護師・保健師免許保有
助教	溝口 晶子	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	竹井 千里	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	井上 由美子	成人看護学領域 看護師免許保有
助教	野田 優子	小児看護学領域 看護師免許保有
助教	日高 朱里	母性・助産学領域 看護師・保健師・助産師免許保有
助教	栗原 はるか	精神看護学領域 看護師・保健師免許保有
助教	小川 有希子	地域看護学領域 看護師・保健師免許保有

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1)

※対応するカリキュラムポリシー: (5)

- 1.大学で看護を学ぶ意義について見出すことができる。
- 2.ノートの書き方、レポートの書き方を理解し作成できる。
- 3.プレゼンテーションの方法を活用し、大学で学ぶ意義について発表できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第 1 回	濱田裕子 西地令子 山本弘恵 前原敬子 平田伸子 吉武毅人 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子	講義ガイダンス 大学で学ぶ グループメンバー、アドバイザーを知る	講義の進め方、履修上の注意など 大学で学ぶ、大学で看護を学ぶとは スタディスキル、スチューデント・スキル、キャリアデザインとは アドバイザー毎のグループワーク	講義 演習
第 2 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子	クラスのメンバーをお互いに知る	自己紹介	演習

	日高朱里 栗原はるか 小川有希子			
第 3 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子	クラスのメンバーをお互い に知る	自己紹介	演習
第 4 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子	建学の精神	建学の精神、本学の歴史	講義
第 5 回	濱田 裕子 西地 令子	スタディスキル	ノートのとり方	講義

	山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子			
第 6 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子	スタディスキル	情報リテラシー、文章の読み方、まとめ方	講義
第 7 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子	スタディスキル	図書館ガイダンス、図書館の使い方	講義

	中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子			
第 8 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子	スタディスキル	レポートの書き方	講義
第 9 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子	スタディスキル	計画的に学ぶ① 振り返りを促す学修ポートフォリオの作成	講義

	権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子			
第 10 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子	スタディスキル	計画的に学ぶ② 学修ポートフォリオの使用 ディスカッションスキル、演習・実習に必要なスキル	講義
第 11 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子	スタディスキル	プレゼンテーション・スキル	講義

	宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子			
第 12 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子	スタディスキル	プレゼンテーションの準備	演習
第 13 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里	スタディスキル	プレゼンテーションの準備	演習

	栗原はるか 小川有希子			
第 14 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子	プレゼンテーション	「自分は大学で看護をどのように学ぶか」について発表	演習
第 15 回	濱田 裕子 西地 令子 山本 弘恵 前原 敬子 吉武毅人 平田 伸子 村田節子 長家智子 中尾久子 安藤満代 西田和子 中村真理子 渡邊美保 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山口今日子 丸山智子 小山記代子 川口弥恵子 宮崎初 溝口晶子 竹井千里 井上由美子 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川有希子	プレゼンテーション スタディスキルセミナーの まとめ	「自分は大学で看護をどのように学ぶか」について発表 スタディスキルセミナーの振り返りと理解度確認	演習

授業概要

看護者として必要な知識・技術・態度を養うために基本となる学習方法や倫理的判断の基盤となる思考や態度を養う。個別の学習ニーズに対応しながら、有意義な大学生活への導入を図る。また、今後の学びや将来の自分像へと発展させるために看護や看護をとりまく社会状

況への関心が持てるように導入する。そのために大学で学習する上で必要となる学習方法(文献検索・レポートの書き方など)について講義をする。大学での学び方を学ぶ内容である。

授業形式

講義、演習

評価方法

■レポート ■その他(プレゼンテーション)
リフレクションシート 20%、プレゼンテーション 30%、課題レポート 50%

教科書 (ISBN 番号)

「よくわかる看護学生のための大学での学び方第2版」監修前原澄子他 金芳堂 (ISBN978-4-7653-1768-9)

参考書

その都度お知らせします。

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時、お知らせします。

学生へのメッセージ

大学で看護を学ぶことを選んだみなさん。
大学では主体的な学習を求められます。この「スタディスキルセミナー」では、主体的な学習ができる基礎的能力を身につけます。そしてこの能力を、他の科目、実習、自己学習にと、大いに活用してください。

講義コード	1N55100
講義名	看護学研究 I 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	通年
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	月曜日
代表時限	2時限
科目分類名	看護統合分野
科目分野名	看護学研究科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 渡邊 美保	高齢者看護学領域 看護師・保健師免許保有
教授	吉武 毅人	成人看護学領域 医師経験あり
教授	平田 伸子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
准教授	中村 眞理子	成人看護学領域 看護師免許保有
准教授	園田 和子	公衆衛生看護学領域 看護師・保健師免許保有
講師	権藤 多栄	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	姜 旻廷	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	山本 弘恵	高齢者看護学領域 看護師免許保有
講師	小山 記代子	小児看護学領域 看護師免許保有
講師	前原 敬子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
講師	川口 弥恵子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
講師	宮崎 初	精神看護学領域 看護師・保健師免許保有
助教	溝口 晶子	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	竹井 千里	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	野田 優子	小児看護学領域 看護師免許保有
助教	日高 朱里	母性・助産学領域 看護師・保健師・助産師免許保有
助教	栗原 はるか	精神看護学領域 看護師・保健師免許保有
助教	小川 有希子	地域看護学領域 看護師・保健師免許保有

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1)

※対応するカリキュラムポリシー: (5)

- 1.関心領域のテーマについて多角的視点から調べる方法を理解できる。
- 2.探求した事柄をまとめ、他者にわかりやすく提示、発表することができる。
- 3.看護界における研究発表の実際を知り、研究及び研究的態度の必要性を理解できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第 1 回	渡邊美保	講義ガイダンス 看護と研究	講義の進め方 履修上の注意など 看護実践と科学の関連	講義
第 2 回	渡邊美保	文献検索	文献検索方法、情報リテラシー	講義
第 3 回	渡邊美保	文献検索の実際	関心領域の文献収集	演習

	吉武毅人 平田伸子 中村真理子 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山本弘恵 小山記代子 前原敬子 川口弥恵子 宮崎 初 溝口晶子 竹井千里 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川 有希子			
第 4 回	渡邊美保 吉武毅人 平田伸子 中村真理子 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山本弘恵 小山記代子 前原敬子 川口弥恵子 宮崎 初 溝口晶子 竹井千里 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川 有希子	文献検索の実際	関心領域の文献収集	演習
第 5 回	渡邊美保 吉武毅人 平田伸子 中村真理子 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山本弘恵 小山記代子 前原敬子 川口弥恵子 宮崎 初 溝口晶子 竹井千里 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川 有希子	医療と健康	医療と健康に関するテーマ理解	演習
第 6 回	渡邊美保 吉武毅人 平田伸子 中村真理子 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山本弘恵 小山記代子	医療と健康	関心領域テーマの探求	演習

	前原敬子 川口弥恵子 宮崎 初 溝口晶子 竹井千里 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川 有希子			
第 7 回	渡邊美保 吉武毅人 平田伸子 中村真理子 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山本弘恵 小山記代子 前原敬子 川口弥恵子 宮崎 初 溝口晶子 竹井千里 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川 有希子	医療と健康	関心領域テーマの探求	演習
第 8 回	渡邊美保 吉武毅人 平田伸子 中村真理子 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山本弘恵 小山記代子 前原敬子 川口弥恵子 宮崎 初 溝口晶子 竹井千里 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川 有希子	医療と健康	グループ討議	演習
第 9 回	渡邊美保 吉武毅人 平田伸子 中村真理子 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山本弘恵 小山記代子 前原敬子 川口弥恵子 宮崎 初 溝口晶子 竹井千里 野田優子 日高朱里 栗原はるか	医療と健康	グループ討議	演習

	小川 有希子			
第 10 回	渡邊美保 吉武毅人 平田伸子 中村真理子 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山本弘恵 小山記代子 前原敬子 川口弥恵子 宮崎 初 溝口晶子 竹井千里 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川 有希子	医療と健康	全体発表準備	演習
第 11 回	渡邊美保 吉武毅人 平田伸子 中村真理子 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山本弘恵 小山記代子 前原敬子 川口弥恵子 宮崎 初 溝口晶子 竹井千里 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川 有希子	医療と健康	全体発表	演習
第 12 回	渡邊美保 吉武毅人 平田伸子 中村真理子 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山本弘恵 小山記代子 前原敬子 川口弥恵子 宮崎 初 溝口晶子 竹井千里 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川 有希子	医療と健康	全体発表	演習
第 13 回	渡邊美保 吉武毅人 平田伸子 中村真理子 園田和子 権藤多栄	看護系学会参加	大学近郊で開催される看護系学会参加	学外

	姜 旻廷 山本弘恵 小山記代子 前原敬子 川口弥恵子 宮崎 初 溝口晶子 竹井千里 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川 有希子			
第 14 回	渡邊美保 吉武毅人 平田伸子 中村真理子 園田和子 権藤多栄 姜 旻廷 山本弘恵 小山記代子 前原敬子 川口弥恵子 宮崎 初 溝口晶子 竹井千里 野田優子 日高朱里 栗原はるか 小川 有希子	看護系学会参加	大学近郊で開催される看護系学会参加	学外
第 15 回	渡邊美保	看護研究の意義 看護学研究Ⅰのまとめ	看護研究の役割、期待 看護学研究Ⅰの振り返りと理解度確認	講義

授業概要

看護学研究への導入として、看護実践と科学の関連を理解し、探求することへの関心を高める。
医療と健康に関連した関心ある事柄を追求し、調べることの楽しさを通して、疑問や課題に気づき、それを解決していくための方法があることを学ぶ。具体的には文献検索の方法、看護実践の課題と研究テーマの関連性など、看護研究の基本的な考え方を学ぶ。また、本学近郊で開催される看護系学会に参加し、学内発表とは異なる公的な場での成果発表の実際を学ぶ。ポスター（示説）発表、口演発表等の発表形式の違いや、プレゼンテーション・フロアとの質疑応答の際のマナーを学び、今後、看護学研究Ⅱ・Ⅲに学び進めていけるように活かしていく。

授業形式

講義、演習

評価方法

■レポート ■その他(グループ討議・プレゼンテーション)レポート 50%、グループ討議 30%、プレゼンテーション 20%

教科書 (ISBN 番号)

①「看護における研究」 南裕子、野嶋佐由美 著：日本看護協会出版会 (ISBN 978-4818020665)

参考書

その都度お知らせします。

オフィスアワー(授業相談)

原則として、開講日講義・演習終了後の時間帯。その他の時間を希望するときは、ご連絡ください。

学生へのメッセージ

この科目では、リング式のファイルを各自 1 個準備して下さい。ファイルには、①講義資料(文献含む)、②自己学習資料、③グループワーク資料、④学会参加記録、⑤医療や健康に関する新聞記事や手記などの切り抜きをファイリングするようにしましょう。素朴な疑問や探究心が看護研究をスタートするための第一歩となります。

備考

グループで取り組む事柄については、各自がテーマ内容を理解し、自らの役割について考え参加すること。

講義コード	1N11100	
講義名	心理学 03-02	
(副題)		
開講責任部署		
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
時間	30.00	
代表曜日	水曜日	
代表時限	2時限	
科目分類名	教養・基礎分野	
科目分野名	人文科学科目	
対象学科・年次	看護学科・1年次	
必修/選択	必修	
担当教員		
職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 谷口 雄紀	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー：(1)
※対応するカリキュラムポリシー：(1)
人の行動と心理に関する基本的な知識と考え方を修得する。
○科学としての心理学の領域について概説できる
○錯視などの心理的環境について体感し、再確認できる
○発達について理解し、各発達段階の特徴を概説できる
○思考の発達や乳児の能力について理解できる
○生涯発達の視点から自我同一性の確立、世代性について自分の問題として捉えることができる
○臨床心理学について学問的に理解できる
○心理療法について概説できる
○性格や性格検査について理解し、科学としての心理学について概説できる
○個人と集団、社会との関わりについて理解し、自己認知を深める
○学習について理解し、日常生活で効果的な学習ができるようになる

授業計画表

回	時限	担当教員	項目	内容	方略
第1回	2時限	谷口 雄紀	心理学とは	心理学とはどんな学問か	講義
第2回	2時限	谷口 雄紀	感覚と知覚	見えの不思議	講義
第3回	2時限	谷口 雄紀	記憶	記憶の仕組み	講義
第4回	2時限	谷口 雄紀	思考・言語・知能	思考プロセスについて	講義
第5回	2時限	谷口 雄紀	学習	学習と条件付け	講義
第6回	2時限	谷口 雄紀	感情と動機付け①	感情の3要素・欲求について	講義
第7回	2時限	谷口 雄紀	感情と動機付け②	動機付けの理論について	講義
第8回	2時限	谷口 雄紀	性格とパーソナリティ	性格検査の種類と特性	講義
第9回	2時限	谷口 雄紀	社会と集団①	社会的認知について	講義
第10回	2時限	谷口 雄紀	社会と集団②	対人関係・リーダーシップについて	講義
第11回	2時限	谷口 雄紀	発達①	発達とは・乳幼児の発達	講義
第12回	2時限	谷口 雄紀	発達②	児童から高齢者までの発達	講義
第13回	2時限	谷口 雄紀	心理臨床①	心の適応と不適応	講義
第14回	2時限	谷口 雄紀	心理臨床②	心理療法	講義
第15回	2時限	谷口 雄紀	医療・看護と心理	心の健康について	講義

授業概要
科学としての心理学と、一般に広がっている心理学のイメージとはかなり隔たりがある。'科学としての心理学とは何か'その理解を中心に、心理学の基本的な概念や考え方の定着をはかり、同時に自身について考える機会を作る。具体的内容として、心理学の領域について、知覚・認知の働き、学習、生涯発達、臨床心理学、個人と集団などを取り上げる。さらに科学としての心理学の領域、錯視などの心理的環境についての体感、発達段階の特徴、思考の発達や乳児の能力、生涯発達の視点から自我同一性の確立、心理療法、性格や性格検査、社会との関りについて理解し、自己認知を深め、心理学に関する知識を修得する。
授業形式
主に共通教材として教科書を用い、講義形式で行う。
評価方法
■定期試験、課題レポート 80%、■平常点 20%(出席、受講態度など)で評価する。 講評は個別に教務課経由で対応する。
教科書 (ISBN 番号)
系統看護学講座 基礎分野 心理学 第 6 版(978-4-260-02768-7)
参考書
なし
オフィスアワー(授業相談)
初回講義時にお知らせします。
学生へのメッセージ
日常生活や実習等に生かせる基礎的な考え方の修得を目指すため、定期試験だけでなく、小テスト、受講態度 も重視する

講義コード	1N11200
講義名	文章表現論 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	人文科学科目
対象学科・年次	看護学科・1 年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 藪 敏晴	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)

※対応するカリキュラムポリシー:(1)

国籍や生活体験、在り方・生き方が多様化している現代の「生きる力」は、思考力・判断力・表現力である。即ち「生きる力」とは、文章を書く上での必須の能力でもある。文章作成の基本を修得し、その実践力を体得する。

いろんな資料を読んでいく中で、時事問題や身近な生活の問題などに興味と関心を持ち、社会的な視野と、次代を支える責任感を養成する。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第 1 回	藪 敏晴	文章記述の基本	書き言葉と話し言葉・表記内容	講義
第 2 回	藪 敏晴	論理的な文章	論理(筋道)とは。文章が、説得力を持つために。	講義
第 3 回	藪 敏晴	論理的な文章	根拠の大切さ(事例・専門家の所見・体験等)	講義
第 4 回	藪 敏晴	文章記述の理解	主語と述語の骨格・慣用句	講義
第 5 回	藪 敏晴	新聞を読む	「多様性尊重社会へ一歩」トランスジェンダー女性に門戸	講義
第 6 回	藪 敏晴	文章を記述する	小畠春夫さん「体力続く限り」各地でボランティアを読んで	講義
第 7 回	藪 敏晴	「評論」を読む	「聴くという行為」・鷲田清一	講義
第 8 回	藪 敏晴	新聞を読む	「医療の進歩 変わる死生観」を読んで	演習
第 9 回	藪 敏晴	文章を記述する	「釜石小の子どもたちを読んで」	講義
第 10 回	藪 敏晴	文章を記述する	「国際社会における日本人」	講義
第 11 回	藪 敏晴	新聞を読む	沖縄県民に安全な生活を	講義
第 12 回	藪 敏晴	新聞を読む	「ら抜き言葉のとらえ方」・金田一秀穂	演習
第 13 回	藪 敏晴	文章を記述する	「空気」の研究・山本七平を読んで	講義
第 14 回	藪 敏晴	文章を記述する	「医師の立場と患者」	講義
第 15 回	藪 敏晴	各分野の今日的課題	「各種の時事問題」と「生きる力」	講義

授業概要

現代社会が求める「生きる力」としての基本は、思考力・判断力・表現力である。本講座では文章を書く過程において、如上の能力を培うことを目的とする。明快な文章作成の基礎を修得した上で、レポートや小論文作成の実践を行う。まず理論的な文章を書くためには基本的な「型」を修得する必要がある。その「型」に習熟し、様々なジャンルの文章を書く力を培う。また、時事問題や身近な生活の問題など自己の興味のあるテーマを選び、小論文に仕上げ、卒業論文を書く基礎とする。

授業形式
講義の説明と、読解と記述、意見の発表、また、発問などを適宜、組み合わせる。
評価方法
「論文」の記述（50%）と、「定期試験」の成績（50%）の両方の合計で、成績を確定する。 講評は個別に対応する。（不在の場合は教務課経由で対応）
教科書（ISBN 番号）
なし
参考書
なし
オフィスアワー(授業相談)
初回講義時にお知らせします。
学生へのメッセージ
自分のメッセージが、思う通りに、相手に伝わることは、案外に難しい。 だからこそ、過不足なくきっちりと気持ちが通じ合うことは嬉しいもの。 そのお手伝いが、いくらかでもできれば、と思っています。

講義コード	1N11301	
講義名	倫理学 03-02	
(副題)		
開講責任部署		
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
時間	30.00	
代表曜日	月曜日	
代表時限	3時限	
科目分類名	教養・基礎分野	
科目分野名	人文科学科目	
対象学科・年次	看護学科・1年次	
必修/選択	選択	
担当教員		
職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 渡部 和隆	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)

※対応するカリキュラムポリシー:(1)

(1)人と文化 人文科学、社会科学および自然科学などを広く学び、物事を多角的にみる能力を養う。(2)医療専門職に求められる倫理観 倫理的問題に配慮して主体的に行動するために、生命・医療に係る倫理観を身につけ、医療の担い手としての感性を養う。

1. 人の価値観の多様性が、文化・習慣の違いから生まれることを、実例をあげて説明できる。
2. 言語、歴史、宗教などを学ぶことによって、外国と日本の文化について比較できる。
3. 文化・芸術に幅広く興味を持ち、その価値について討議する。(態度)
4. 文化活動、芸術活動を通して、自らの社会生活を豊かにする。(態度)

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	渡部 和隆	序論(1)	倫理学とは何か、倫理思想史の意義	講義
第2回	渡部 和隆	序論(2)	論理実証主義と情動説の挑発	講義
第3回	渡部 和隆	義務論(1)	カントの倫理学(1)	講義
第4回	渡部 和隆	義務論(2)	カントの倫理学(2)	講義
第5回	渡部 和隆	義務論(3)	カントの倫理学(3)、尊厳	講義
第6回	渡部 和隆	功利主義(1)	ベンサム	講義
第7回	渡部 和隆	功利主義(2)	J.S.ミルの『自由論』、パターナリズム批判	講義
第8回	渡部 和隆	功利主義(3)	動物の解放	講義
第9回	渡部 和隆	正義論(1)	アリストテレスの生議論	講義
第10回	渡部 和隆	正義論(2)	リベラリズム	講義
第11回	渡部 和隆	正義論(3)	リバタリアニズム	講義
第12回	渡部 和隆	正義論(4)	共同体主義	講義
第13回	渡部 和隆	正義とは異なる基礎①	ケアの倫理	講義
第14回	渡部 和隆	正義とは異なる基礎②	責任という原理	講義
第15回	渡部 和隆	まとめ	全体のまとめ	講義

授業概要

倫理学(道徳哲学)は、たとえば物理学や化学、あるいは経済学や法学などが事実を対象とするのとは異なり、規範(行為の善悪)を探究する学問である。そのため、この学問に要求される思考形式や方法論は、他の事実学とは根本的に異質なものとなり、事実と価値は異なる世界に属しており、両者は区別して取り扱う必要があることを学ぶ。講義の要点は、道徳について意味のある結論に到達するためには何が必要なのか、具体例を引きながら、そのための問題意識を深めていくことを目的とする。

授業形式
講義
評価方法
■定期試験 ■その他(授業参加姿勢) 定期試験 70%、授業参加姿勢 30%
教科書(ISBN 番号)
プリントを随時配布する。
参考書
授業中、必要に応じて指示する。
オフィスアワー(授業相談)
月曜日:講義終了～17 時(随時教務課経由で対応します。)
学生へのメッセージ
授業は講義形式であるが、積極的な参加を希望したい。

講義コード	1N11400
講義名	看護倫理 03-02
(副題)	実務経験がある教員による授業科目
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義・演習
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	金曜日
代表時限	4時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	人文科学科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 中尾 久子	高齢者看護学領域 看護師免許保有
教授	村田 節子	地域医療薬学センター
教授	濱田 裕子	小児看護学領域 看護師・保健師免許保有
教授	平田 伸子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
教授	安藤 満代	精神看護学領域 看護師免許保有
教授	西地 令子	公衆衛生看護学領域 看護師・保健師免許保有

到達目標(SBO)

- ※対応するディプロマポリシー:(1)
 ※対応するカリキュラムポリシー:(1)
 1.生命倫理の原則について説明できる。
 2.医療におけるインフォームドコンセントと患者の権利について説明できる。
 3.医療における守秘義務と個人情報保護の必要性について説明できる。
 4.生殖に関する倫理的問題について説明できる。
 5.死に関する生命倫理の課題について説明できる。
 6.「看護者の倫理綱領」について説明ができる。
 7.倫理的問題に対するアプローチ方法について理解する。
 8.看護実践で倫理的判断が必要な事例をもとに、判断・行動するための考えを述べることができる。
 9.看護研究における倫理的配慮について説明ができる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	中尾 久子	講義ガイダンス 倫理学の基本的な考え方 生命倫理	講義の進め方、履修上の注意など 倫理とはなにか、倫理理論、生命倫理とはなにか、生命倫理の理論、生命倫理の倫理原則、生命倫理と看護職の責務、インフォームドコンセント、守秘義務と個人情報保護	講義
第2回	中尾 久子	生殖と死をめぐる生命倫理	性の生命倫理、生殖の生命倫理 死について、死と医療、死についての生命倫理	講義
第3回	中尾 久子	先端医療と制度をめぐる生命倫理	移植医療、再生医療、遺伝子医療、研究倫理、医療資源と医療保険制度	講義
第4回	中尾 久子	看護倫理とはなにか	看護倫理を学ぶ意義、看護倫理の歴史、看護の倫理原則、看護実践上の倫理的概念、看護実践と倫理	講義
第5回	中尾 久子	専門職の倫理	社会からみた看護、専門職に求められる倫理、専門職の倫理綱領、看護業務基準と倫理実践、保健師助産師看護師法と倫理	講義

第 6 回	中尾 久子	倫理的問題へのアプローチ	看護実践における倫理的問題の特徴、倫理的問題へのアプローチ	講義
第 7 回	平田 伸子	母性看護・助産の倫理	優生思想における倫理的問題	講義 演習
第 8 回	濱田 裕子	小児看護の倫理	成長に関わる倫理的課題	講義 演習
第 9 回	安藤 満代	精神看護の倫理	精神科看護ケアと倫理について	講義 演習
第 10 回	村田 節子	成人看護の倫理	成人看護における倫理的課題①	講義 演習
第 11 回	村田 節子	成人看護の倫理	成人看護における倫理的課題②	講義 演習
第 12 回	中尾 久子	高齢者看護の倫理	高齢者看護ケアと倫理について	講義 演習
第 13 回	中尾 久子	在宅看護の倫理	在宅看護ケアと倫理について	講義 演習
第 14 回	西地 令子	公衆衛生看護の倫理	公衆衛生看護における倫理的課題	講義 演習
第 15 回	中尾 久子	看護研究の倫理、看護倫理の今後の展望 看護倫理のまとめ	看護研究における倫理と倫理的配慮 看護倫理の今後の展望 看護倫理の振り返りと理解度確認	講義 演習

授業概要

看護倫理では、生命の尊厳や人権尊重について学び、生殖から死に至るまでの間に起こりうる様々な倫理的問題状況を通して、医療における倫理・看護における倫理の重要性について考える。

看護と関連する倫理と法、倫理原則や倫理綱領について学び、先端医療や研究と倫理について学ぶ。

また、日常の看護倫理に関して、看護職の専門性と関連する倫理的な視点や役割機能について学び、身近な事例や情報を用いて、看護の現場にある倫理的問題状況に気づき、事例検討を通して、何をすべきか考える。看護倫理における学びは、全ての科目の基盤となる学問であり、将来、医療に関わる専門職となることを自覚し、専門職業人にふさわしい行動・態度ができるようになることを目指す。

授業形式

講義、演習

評価方法

■定期試験 ■レポート
定期試験 80%、レポート 20%

教科書 (ISBN 番号)

医学書院. 系統看護学講座. 別巻「看護倫理」ISBN: (978-4-260-03445-6 C3347)

参考書

その都度お知らせします。

オフィスアワー(授業相談)

講義時間の前後に授業相談に対応します。

講義コード	1N11501		
講義名	生命・医療倫理学 03-02		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	後期		
講義区分	講義		
基準単位数	1		
時間	20.00		
代表曜日	水曜日		
代表時限	2時限		
科目分類名	教養・基礎分野		
科目分野名	人文科学科目		
対象学科・年次	看護学科・1年次		
必修/選択	選択		
担当教員			
職種	氏名	所属	
(非常勤)講師	◎ 井上 久美子	指定なし	

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー：(1)
 ※対応するカリキュラムポリシー：(1)
 倫理的問題に配慮して主体的に行動するために、生命・医療に係る倫理観を身につけ、医療の担い手としての感性を養う。

【①生命倫理】

1. 生命の尊厳について、自らの言葉で説明できる。(知識)
2. 生命倫理の諸原則(自律尊重、無危害、善行、正義)について説明できる。
3. 生と死に関わる倫理的問題について討議し、自らの考えを述べる。SGD 形式(知識・態度)
4. 科学技術の進歩、社会情勢の変化に伴う生命観の変遷について概説できる。

【②医療倫理】

1. 医療倫理に関する規範(ジュネーブ宣言等)について概説できる。
2. 医療専門職として順守すべき倫理規範について説明できる。
3. 医療の進歩に伴う倫理的問題について説明できる。

【③患者の権利】

1. 患者の価値観、人間性に配慮することの重要性を認識する。(知識)
2. 患者の基本的権利の内容(リスボン宣言等)について説明できる。
3. 患者の自己決定権とインフォームドコンセントの意義について説明できる。
4. 知り得た情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。(知識・技能・態度)

【④研究倫理】

1. 臨床研究における倫理規範(ヘルシンキ宣言等)について説明できる。
2. 「ヒトを対象とする研究において遵守すべき倫理指針」について概説できる。
3. 正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。(態度)

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	井上 久美子	生命・医療倫理学とは 死とは	生命倫理と医療倫理 生命倫理の諸原則 各分野での死のとりえ方	講義
第2回	井上 久美子	身近な死	悲嘆を乗り越える為のプロセス	講義・演習
第3回	井上 久美子	終末期患者の事例	ホスピス緩和ケアの本質を探る	講義
第4回	井上 久美子	事例検討(医療倫理の視点で)	医療倫理規範(ジュネーブ宣言)、患者の基本的権利内容(リスボン宣言)をふまえて	講義・演習
第5回	井上 久美子	ホスピス緩和ケア	人としての尊厳ある死(人間らしい死)とは	講義
第6回	井上 久美子	死の意思決定	尊厳死 安楽死	講義
第7回	井上 久美子	インフォームドコンセント	末期患者への告知とインフォームドコンセント	講義

第 8 回	井上 久美子	身体的痛みの緩和	モルヒネなどの薬剤効果と使用方法 医療専門職として順守すべき倫理規範	講義
第 9 回	井上 久美子	死の仮想体験、精神的、心理的痛みの緩和	言葉で癒す 他	講義・演習
第 10 回	井上 久美子	魂の痛みの緩和	シシリー・ソンドースの全人的痛み キューブラー・ロスの「死の五段階説」	講義

授業概要

- ・主に終末期医療を通して、人の生死に医療がどう関わってきたか、関わるべきかという考え方など、生命・医療倫理について学ぶ。
- ・ホスピスケア（ターミナルケア、緩和ケア、終末期ケア）の歴史的意味、また日本での変遷、その医療に求められる「ケアの本質」について理解する。
- ・「死」の意味そのとらえ方の違い、ホスピス緩和ケアの理解等を通して、自らの死生観を明確化する。

授業形式

教科書及び、プレゼンテーション資料等を用いて、主に講義形式で行うが、演習も取り入れる。

評価方法

■定期試験 ■その他(感想文)
定期試験 80%、感想文提出 20%

教科書 (ISBN 番号)

医療倫理学 第2版 丸山マサ美 編著 (中央法規) (ISBN 978-4-8058-3163-2)

参考書

- ・ホスピスという力 死(いのち)のケアとはなにか 米沢 慧 (日本医療企画)
- ・バイオエシックス・ハンドブック 生命倫理を超えて 木村利人他 編集 (法研)

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時にお知らせします。

講義コード	1N11600		
講義名	文学 I 03-02		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	前期		
講義区分	講義・演習		
基準単位数	1		
時間	30.00		
代表曜日	金曜日		
代表時限	3時限		
科目分類名	教養・基礎分野		
科目分野名	人文科学科目		
対象学科・年次	看護学科・1年		
必修/選択	選択		
担当教員			
職種	氏名		所属
(非常勤)講師	◎ 吉川 三恵子		指定なし

一般目標(GIO)

様々な分野の日本文学作品の主題を通して、今生きている日常を振り返る機会が得られ、日本の文化・伝統・情緒・人生観や無常観などを深く考察することを目標とする。
人間とは何かということを深く追求でき、作品を通じて他者と向き合うことによる多様な価値観やものの見方を学ぶことを目標とする。

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1)

※対応するカリキュラムポリシー: (1)

様々な分野の日本文学作品の主題を通して、今生きている日常を振り返る機会が得られ、日本の文化・伝統・情緒・人生観や無常観などを深く考察することを目標とする。人間とは何かということを深く追求でき、作品を通じて他者と向き合うことによる多様な価値観やものの見方を学ぶことを目標とする。

- ①作品を理解し、アイデンティティの確立の前提となる論理的思考の一端を身に付けることができる。
- ②作品を通して、様々な生き方や考え方に触れ、社会や人生に関心を向けることができる。
- ③死とは何か、また無常観を深く思考することができる。
- ④古典文学を通して日本の伝統文化や先人のものの見方や感じ方に関心を持つことができる
- ⑤ことばのリズムや流れの美しさを感じ得ることができる。
- ⑥宗教と人間の関係について深く思考することができる。
- ⑦人間にとっての情や苦悩及び肝腎なものとは何かを考察することができる。
- ⑧文明社会や競争社会に対する弊害を理解し、改善策を考察することができる。
- ⑨弱者の立場を理解し、他者をおもいやる心を育むことができる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第 1 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	・作品分析の基本 ・あまきみこ 「ちいちゃんのかげおくり」	・疑問点を抽出することによって 自己のアイデンティティの確立 ・戦争をどう捉えるか ・死を受容すること	講義
第 2 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	万葉集 詩歌 (1)	「古代の歴史と詩歌」 —令和ゆかりの地「梅花の宴」 の歌人たち—	講義
第 3 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	万葉集 詩歌 (2)	「万葉集から古代の人間模様 を読み解く」 —第 3 期歌人「大伴旅人」を中心に 筑紫歌壇の思想性—	講義
第 4 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	万葉集 詩歌 (3)	「万葉集から古代の人間模様 を読み解く」	講義

			—第3期歌人「山上憶良」を中心に 筑紫歌壇の思想性—	
第5回	吉川 三恵子 (教育学修士)	万葉集 詩歌 (4)	「詩歌に込められた人々の思い」 —第3期歌人まとめ— —北部九州民衆の歌—	講義
第6回	吉川 三恵子 (教育学修士)	平家物語 (1)	「平家物語 内容と概略」	講義
第7回	吉川 三恵子 (教育学修士)	平家物語 (2)	「平家物語 思想と情緒」 —古典に描かれた親子・兄弟—	講義
第8回	吉川 三恵子 (教育学修士)	平家物語 (3)	「戦いの中に描かれる人間性」 —保元・平治の乱—	講義
第9回	吉川 三恵子 (教育学修士)	平家物語 (4)	「無常観・盛者必衰とは」 —義仲の最期 1—	講義
第10回	吉川 三恵子 (教育学修士)	平家物語 (5)	「無常観・盛者必衰とは」 —義仲の最期 2—	講義
第11回	吉川 三恵子 (教育学修士)	平家物語 (6)	「女人哀話」 —平家物語・他古典資料より—	講義
第12回	吉川 三恵子 (教育学修士)	宮沢賢治 (1)	「宮沢賢治の生き方と時代背景」 —イーハトーブの夢 1—	講義
第13回	吉川 三恵子 (教育学修士)	宮沢賢治 (2)	「宮沢賢治の思想性」 —イーハトーブの夢 2—	講義
第14回	吉川 三恵子 (教育学修士)	宮沢賢治 (3)	「輪廻転生—仏教思想」 —よだかの星—	講義
第15回	吉川 三恵子 (教育学修士)	宮沢賢治 (4)	「宮沢賢治ワールド」 「近代文明に対する批判」 —注文の多い料理店—	講義

授業概要

若年層の読書離れが取りざたされる昨今、本を読むことにより、自己の潜在意識を発見し、内蔵される自らの心の中を掘り起こす機会を得られるような授業展開をする。作品を通して、自己と異なる見方や人生観、価値観を持つ「他者」と対峙することは社会人として確立された大人への第一歩を踏み出すための重要な過程である。よって深く考察できるよう比較的可平易な作品を取り上げた。多様な読み方を体得し思考力を養ってほしい。

授業形式

- ①講義(オンライン)で進める。
- ②古典・物語・小説・韻文と幅広く作品を取り上げていく。

評価方法

- ①定期試験は実施しない。
 - ②各単元小テスト(レポート)で評価する。(100%)
- 講評は個別に教務課経由で対応する。

教科書 (ISBN 番号)

なし

参考書

なし

オフィスアワー(授業相談)

金曜日講義終了後～17時(メールにても対応します。)

学生へのメッセージ

文学Ⅰで学んだ事項をさらに発展させ、学ぶので、文学Ⅱと合わせて受講して下さい。

授業用 E-mail

kyoumu@daiichi-cps.ac.jp

講義コード	1N11700
講義名	文学Ⅱ03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	講義・演習
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	金曜日
代表時限	4時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	人文科学科目
対象学科・年次	看護学科・1年
必修/選択	選択

担当教員

職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 吉川 三恵子	指定なし

求められる基本的な資質

一般目標(GIO)

様々な分野の日本文学作品の主題を通して、今生きている日常を振り返る機会が得られ、日本の文化・伝統・情緒・人生観や無常観などを深く考察することを目標とする。

人間とは何かということを深く追求でき、作品を通じて他者と向き合うことによる多様な価値観やものの見方を学ぶことを目標とする。

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー：(1)

※対応するカリキュラムポリシー：(1)

様々な分野の日本文学作品の主題を通して、今生きている日常を振り返る機会が得られ、日本の文化・伝統・情緒・人生観や無常観などを深く考察することを目標とする。人間とは何かということを深く追求でき、作品を通じて他者と向き合うことによる多様な価値観やものの見方を学ぶことを目標とする。

①作品を理解し、アイデンティティの確立の前提となる論理的思考の一端を身に付けることができる。

②作品を通して、様々な生き方や考え方に触れ、社会や人生に関心を向けることができる。

③社会における女性の生き方と同様の価値を考察することができる。

④真の大人になるための条件を認識することができる。

⑤孤独を獲得するとはいかなることか考察することができる。

⑥自由とは何かということを認識できる。

⑦追いつめられた者の心の荒廃を理解できる。

⑧自分の力の及ばぬ事態(運命)に、いかに対峙するか考察することができる。

⑨現代社会のひずみに対しての考察を深めることができる。

⑩人間の普遍性とは何かを考察することができる。

⑪「安楽死」「尊厳死」について深く考察することができる。

⑫文学における思想性とはいかなることかを考察することが出来る。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	吉川 三恵子 (教育学修士)	金子みすず「詩」(1)	見えざるものを観する 代表作品の分析—弱者への眼差し	講義
第2回	吉川 三恵子 (教育学修士)	金子みすず「詩」(2)	みすずの人生と時代背景(1)	講義
第3回	吉川 三恵子 (教育学修士)	金子みすず「詩」(3)	みすずの人生と時代背景(2)	講義
第4回	吉川 三恵子 (教育学修士)	金子みすず「詩」(4)	みすずコスモス(文学宇宙)と 西條八十 童謡詩人の世界	講義

第 5 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	金子みすず「詩」(5)	童謡の輝く時代(1) 大正期童謡運動 「赤い鳥」運動	講義
第 6 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	金子みすず「詩」(6)	童謡の輝く時代(2) 大正ロマン期の「赤い鳥」運動 を牽引した三詩人	講義
第 7 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	井伏鱒二「山椒魚」(1)	「山椒魚」改稿への道のり 井伏の意図するところとは？ 末尾削除から見えてくるもの 蛙との和解はあるのか	講義
第 8 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	井伏鱒二「山椒魚」(2)	「幽閉」から「山椒魚」への改編 他者への共感自由とは何か	講義
第 9 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	井伏鱒二「山椒魚」(3)	井伏鱒二の生涯と片上伸氏	講義
第 10 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	井伏鱒二「山椒魚」(4)	「鶏肋集」より読み解く 井伏鱒二の後半生	講義
第 11 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	井伏鱒二「山椒魚」(5)	同時代作家の井伏鱒二評	講義
第 12 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	★文学散策(柳川・太宰府) 実施場所日程未定のため 変更可能性あり ★辻 仁成「ミラクル」	大正ロマン期の北原白秋めぐり 万葉令和のふる里太宰府めぐり 不参加者課題 真の大人になることの条件とは —「孤独を友とせよ」から読み解く	演習
第 13 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	森鷗外「高瀬舟」(1)	主題1「知足」の境地とは	講義
第 14 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	森鷗外「高瀬舟」(2)	高瀬川と森鷗外の歩み	講義
第 15 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	森鷗外「高瀬舟」(3)	主題2「安楽死」と喜助の罪 法と自己認識との相違 他のテーマについて	講義

授業概要

若年層の読書離れが取りざたされる昨今、本を読むことにより、自己の潜在意識を発見し、内蔵される自らの心の中を掘り起こす機会を得られるような授業展開をする。作品を通して、自己と異なる見方や人生観、価値観を持つ「他者」と対峙することは社会人として確立された大人への第一歩を踏み出すための重要な過程である。よって深く考察できるよう比較的平易な作品を取り上げた。多様な読み方を体得し思考力を養ってほしい。

授業形式

- ①講義と演習(ディスカッションや発表)を交互に進める。
- ②古典・物語・小説・韻文と幅広く作品を取り上げていく。

評価方法

- ①定期試験は実施しない。
 - ②各単元小テスト(レポート)で評価する。(100%)
- 講評は個別に教務課経由で対応する。

教科書 (ISBN 番号)

なし

参考書

なし

オフィスアワー(授業相談)

金曜日講義終了後～17 時(随時教務課経由で対応します。)

学生へのメッセージ

文学 I を受講済みであることを前提として授業を進めるので、前期に必ず文学 I を受講してからこの講義に臨んでください。

授業用 E-mail

kyoumu@daiichi-cps.ac.jp

講義コード	1N11800		
講義名	哲学 I 03-02		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	前期		
講義区分	講義		
基準単位数	1		
時間	30.00		
代表曜日	金曜日		
代表時限	3時限		
科目分類名	教養・基礎分野		
科目分野名	人文科学科目		
対象学科・年次	看護学科・1年次		
必修/選択	選択		
担当教員			
職種		氏名	所属
(非常勤)講師		◎ 渡部 和隆	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)

※対応するカリキュラムポリシー:(1)

人文科学、社会科学および自然科学などを広く学び、物事を多角的にみる能力を養う。

1. 人の価値観の多様性が、文化・習慣の違いから生まれることを、実例をあげて説明できる。
2. 言語、歴史、宗教などを学ぶことによって、外国と日本の文化について比較できる。
3. 文化・芸術に幅広く興味を持ち、その価値について討議する。(態度)
4. 文化活動、芸術活動を通して、自らの社会生活を豊かにする。(態度)

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	渡部 和隆	序論	哲学とは何か、哲学史の意義	講義
第2回	渡部 和隆	古代(1)	古代ギリシアの精神史	講義
第3回	渡部 和隆	古代(2)	ソクラテス	講義
第4回	渡部 和隆	古代(3)	プラトン	講義
第5回	渡部 和隆	古代(4)	アリストテレス	講義
第6回	渡部 和隆	中世(1)	中世精神史、キリスト教	講義
第7回	渡部 和隆	中世(2)	神の存在証明	講義
第8回	渡部 和隆	中世(3)	実在論から唯名論へ	講義
第9回	渡部 和隆	中世(4)	唯名論と宗教改革	講義
第10回	渡部 和隆	ルネサンス	イタリア・ルネサンスと北方ルネサンス	講義
第11回	渡部 和隆	大陸合理論(1)	デカルト	講義
第12回	渡部 和隆	大陸合理論(2)	スピノザ	講義
第13回	渡部 和隆	大陸合理論(3)	ライプニッツ	講義
第14回	渡部 和隆	イギリス経験論(1)	ジョン・ロック	講義
第15回	渡部 和隆	イギリス経験論(2)	ヒューム	講義

授業概要

私たちの日常生活を支配する信念は、その多くが不確かであるばかりか、誤りでさえある。哲学は常識に潜む多くの誤謬を白日に晒し、その誤りの掘って来る原因を尋ね、そこからの出口を探求する。その過程で、諸君は今まで夢にも見たことのない、新たな世界についての知見に出会うことになるだろう。本講義では哲学史を中心に、文学や芸術の歴史も適宜紹介しつつ、具体的な人間の生きる姿を通して哲学的思考の姿を示していく。

授業形式
講義
評価方法
■定期試験 ■その他(授業参加姿勢) 定期試験 70%、授業参加姿勢 30%
教科書(ISBN 番号)
なし
参考書
授業中、必要に応じて指示する。
オフィスアワー(授業相談)
初回講義時にお知らせします。
学生へのメッセージ
授業は講義形式であるが、積極的な参加を希望したい。哲学Ⅰで学んだ事項をさらに発展させ、学ぶので、哲学Ⅱと合わせて受講して下さい。

講義コード	1N11900		
講義名	哲学Ⅱ 03-02		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	後期		
講義区分	講義		
基準単位数	1		
時間	30.00		
代表曜日	金曜日		
代表時限	4時限		
科目分類名	教養・基礎分野		
科目分野名	人文科学科目		
対象学科・年次	看護学科・1年次		
必修/選択	選択		
担当教員			
職種	氏名		所属
(非常勤)講師	◎ 渡部 和隆		指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)

※対応するカリキュラムポリシー:(1)

人文科学、社会科学および自然科学などを広く学び、物事を多角的にみる能力を養う。

1. 人の価値観の多様性が、文化・習慣の違いから生まれることを、実例をあげて説明できる。
2. 言語、歴史、宗教などを学ぶことによって、外国と日本の文化について比較できる。
3. 文化・芸術に幅広く興味を持ち、その価値について討議する。(態度)
4. 文化活動、芸術活動を通して、自らの社会生活を豊かにする。(態度)

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	渡部 和隆	精神史の概念	哲学Ⅰの復習と後期の展望	講義
第2回	渡部 和隆	コペルニクスの転回	カント	講義
第3回	渡部 和隆	ドイツ観念論(1)	フィヒテ	講義
第4回	渡部 和隆	ドイツ観念論(2)	ヘーゲル	講義
第5回	渡部 和隆	政治哲学(1)	ホッブズ	講義
第6回	渡部 和隆	政治哲学(2)	ジョン・ロック(2)	講義
第7回	渡部 和隆	政治哲学(3)	スコットランド啓蒙	講義
第8回	渡部 和隆	政治哲学(4)	ルソー	講義
第9回	渡部 和隆	近代ドイツ精神史(1)	ドイツ古典主義	講義
第10回	渡部 和隆	近代ドイツ精神史(2)	ドイツ・ロマン主義	講義
第11回	渡部 和隆	社会思想	マルクス	講義
第12回	渡部 和隆	実存哲学(1)	キルケゴール	講義
第13回	渡部 和隆	実存哲学(2)	ニーチェ	講義
第14回	渡部 和隆	現代の始まり	20世紀について	講義
第15回	渡部 和隆	20世紀の哲学	ハイデッガー	講義

授業概要

私たちの日常生活を支配する信念は、その多くが不確かであるばかりか、誤りでさえある。哲学は常識に潜む多くの誤謬を白日に晒し、その誤りの掘って来る原因を尋ね、そこからの出口を探求する。その過程で、諸君は今まで夢にも見たことのない、新たな世界についての知見に出会うことになるだろう。本講義では哲学Ⅰに引き続き、哲学史を中心に、文学や芸術の歴史も適宜紹介しつつ、具体的な人間の生きる姿を通して哲学的思考の姿を示していく。

授業形式
講義
評価方法
■定期試験 ■その他(授業参加姿勢) 定期試験 70%、授業参加姿勢 30%
教科書(ISBN 番号)
なし
参考書
授業中、必要に応じて指示する。
オフィスアワー(授業相談)
初回講義時にお知らせします。
学生へのメッセージ
哲学Ⅰを受講済みであることを前提として授業を進めるので、前期に必ず哲学Ⅰを受講してからこの講義に臨んでください。授業は講義形式であるが、積極的な参加を希望したい。

講義コード	1N12301		
講義名	経済学 I 03-02		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	前期		
講義区分	講義・演習		
基準単位数	1		
時間	30.00		
代表曜日	月曜日		
代表時限	3時限		
科目分類名	教養・基礎分野		
科目分野名	社会科学科目		
対象学科・年次	看護学科・1年次		
必修/選択	選択		
担当教員			
職種		氏名	所属
(非常勤)准教授		◎ 市東 亘	西南学院大学

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)

※対応するカリキュラムポリシー:(1)

経済学は、私達を取り巻く経済現象を理解するための学問と思われがちですが、実は経済現象にとどまらず、文化、社会、政治、法律、犯罪、教育、その他、人間に関わるあらゆる現象を分析対象としています。結局、経済学は、分析方法に特徴を持つのであり、分析対象に特段の制約を設けていないということです。本講では、ミクロ経済学を中心に学修し、日常の様々な問題に対し、経済学の考え方をを用いた問題解決方法をケース スタディで学びます。経済学Ⅱでは経済学Ⅰで学んだ事項をさらに発展させ、皆さんが社会人になってから遭遇するであろう現実的な問題の解決方法を学ぶので、経済学Ⅱと合わせて受講して下さい。

(1)経済学の基本である、経済主体の最適化問題を解くことが出来る。

(2)ミクロ経済学の考え方をを用いて、日常の様々な問題に対して解決策を提示することが出来る。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	市東 亘	経済学とは？	経済学の問題解決アプローチについて	講義
第2回	市東 亘	インセンティブの力	テキストディスカッション	講義 演習
第3回	市東 亘	インセンティブの力	効用関数の定義	講義
第4回	市東 亘	合理性の謎	テキストディスカッション	講義 演習
第5回	市東 亘	合理性の謎	消費者行動理論 1.無差別曲線と予算制約線	講義
第6回	市東 亘	合理性の謎	消費者行動理論 2.効用最大化問題	講義
第7回	市東 亘	合理性の謎	消費者行動理論 3.限界代替率と相対価格	講義
第8回	市東 亘	企業行動理論	利潤最大化問題	講義
第9回	市東 亘	企業行動理論	限界収入と限界費用:効用最大化条件との関係	講義
第10回	市東 亘	無差別原則	テキストディスカッション:ノーフリーランチの原則	講義
第11回	市東 亘	無差別原則	消費者行動理論	講義
第12回	市東 亘	無差別原則	利潤最大化問題	講義
第13回	市東 亘	無差別原則	費用便益分析	講義
第14回	市東 亘	官僚による死(薬害問題の経済分析)	テキストディスカッション 限界便益と限界費用:利潤最大化問題との関係	講義 演習
第15回	市東 亘	官僚による死(薬害問題の経済分析)	問題演習	演習

授業概要

日常の問題を題材に、経済学的な見方をディスカッションした後、ミクロ経済学の(1)消費者行動理論、(2)企業行動理論を中心に学びながら、各経済主体にとって最適な選択とは何か、また、最適な選択を実現するためにはどうすればよいか、その方法を学びます。

授業形式

講義とディスカッション形式で進めます。

評価方法

■定期試験 ■その他(ディスカッション)

定期試験 50%、ディスカッション 50%

教科書 (ISBN 番号)

なし

参考書

講義で紹介します。

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時にお知らせします。

学生へのメッセージ

経済学Ⅰで学んだ事項をさらに発展させ、学ぶので、経済学Ⅱと合わせて受講して下さい。

講義コード	1N12401		
講義名	経済学Ⅱ 03-02		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	後期		
講義区分	講義・演習		
基準単位数	1		
時間	30.00		
代表曜日	月曜日		
代表時限	3時限		
科目分類名	教養・基礎分野		
科目分野名	社会科学科目		
対象学科・年次	看護学科・1年次		
必修/選択	選択		
担当教員			
職種	氏名	所属	
(非常勤)准教授	◎ 市東 亘	西南学院大学	

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー：(1)

※対応するカリキュラムポリシー：(1)

経済学Ⅰで学んだミクロ経済学の手法を応用して、薬害問題、公害、隣人との係争などを、お互いが win-win の関係となるように解決する方法を学びます。また、社会に出てから必要となる、マクロ経済学の基礎的事項を学びます。

(1) パレート改善について理解し、対立する価値判断に対し、お互いの満足度を改善するような解決策を立案できるようにする。

(2) 名目利子率と実質利子率の違いを理解し、ローンを組む際に変動金利と固定金利の何れを選んだら良いか判断できるようにする。

(3) 物価変動と貨幣価値の変化を理解し、割引現在価値を計算できるようにする。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	市東 亘	なぜ価格は善か	テキストディスカッション 効率性とは	講義 演習
第2回	市東 亘	なぜ価格は善か	市場均衡とエッジワースボックス、厚生経済学の基本定理、パレート最適性	講義
第3回	市東 亘	なぜ価格は善か	分配と配分の問題、公平性と効率性	講義
第4回	市東 亘	なぜ価格は善か	規範的分析の基礎	講義
第5回	市東 亘	税金はなぜ悪か	テキストディスカッション 余剰分析、死荷重	講義 演習
第6回	市東 亘	税金はなぜ悪か	費用便益分析	講義
第7回	市東 亘	法定の経済学	テキストディスカッション	講義
第8回	市東 亘	法定の経済学	営業権争いのケーススタディ(コースの定理)	講義
第9回	市東 亘	外部性	外部性と内部化、営業権争いのケーススタディ(空間の内部化)	講義
第10回	市東 亘	外部性	営業権争いのケーススタディ(騒音の内部化)	講義
第11回	市東 亘	外部性	営業権争いのケーススタディ(ピグー税)	講義
第12回	市東 亘	外部性	営業権争いのケーススタディ(補助金)	講義

第 13 回	市東 亘	名目利子率と実質利子率	インフレ率と金利の関係、名目利子率と実質利子率の違い	講義
第 14 回	市東 亘	名目利子率と実質利子率	ローンを組む時の金利の選び方(変動金利と固定金利)	講義
第 15 回	市東 亘	異時点間のキャッシュフロー計算	物価変動と貨幣価値、割引現在価値の求め方	講義

授業概要

経済学Ⅰの続きであるミクロ経済学分野から、厚生経済学の基本定理、外部性とコースの定理に関するケーススタディを通して、日常的問題の解決方法を学びます。また、マクロ経済学分野からは、名目利子率と実質利子率、物価変動と割引現在価値に基づいた、異時点間のキャッシュフロー計算を学びます。

授業形式

講義とディスカッション形式で進めます。

評価方法

■定期試験 ■その他(ディスカッション)
定期試験 50%、ディスカッション 50%

教科書 (ISBN 番号)

なし

参考書

講義で紹介します。

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時にお知らせします。

学生へのメッセージ

経済学Ⅰを受講済みであることを前提として授業を進めるので、前期に必ず経済学Ⅰを受講してからこの講義に臨んでください。

講義コード	1N12200
講義名	薬学への招待 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
代表曜日	火曜日
代表時限	4時限
科目分類名	教養科目(本学独自科目)
科目分野名	必修科目
対象学科・年次	看護学科 1 年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 小松 生明	医薬品化学・物性学講座 薬物解析学分野(漢)
教授	有竹 浩介	生命薬学講座 薬品作用学分野
教授	有馬 英俊	臨床薬学講座 臨床薬剤学分野
教授	俵口 奈穂美	地域医療薬学センター 病院薬剤師経験あり
教授	池谷 幸信	薬学教育支援センター(漢)
准教授	大光 正男	地域医療薬学センター(漢) 病院・薬局薬剤師経験あり
講師	香月 正明	地域医療薬学センター 病院・薬局薬剤師経験あり
特命教授	瀬名 秀明	指定なし

求められる基本的な資質

薬剤師としての心構え
患者・生活者本位の視点
薬物療法における実践的能力

一般目標(GIO)

「薬学」を6年間にわたって学ぶにあたり、医療における薬学の進歩や役割、薬剤師の社会的使命を学び、薬学生として必要な基礎知識の修得と薬学生としてのモチベーションを高めることを目標とする。

○生涯にわたって自ら学ぶことの必要性・重要性を理解し、修得した知識・技能・態度を確実に次世代へ継承する意欲と行動力を身につける。

○医療と薬学の歴史を認識するとともに、国民の健康管理、医療安全、薬害防止における役割を理解し、薬剤師としての使命感を身につける。

○薬剤師の誕生と変遷の歴史を概説できる。

○医薬品を薬効に基づいて適正に使用できるようになるために、薬物の生体内における作用に関する基本的事項を修得する。

○漢方の考え方、疾患概念、代表的な漢方の応用、副作用や注意事項などに関する基本的事項を修得する。

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)(2)
※対応するカリキュラムポリシー:(1)(4)

- 1.医療職として求められる基本的資質について、具体例を挙げて説明できる。
- 2.医療において薬学が果たしてきた役割について説明できる。
- 3.薬物療法の歴史と、人類に与えてきた影響について説明できる。
- 4.薬とは何かを説明できる。
- 5.種々の剤形とその使い方について説明できる。
- 6.一般用医薬品と医療用医薬品の違いを説明できる。
- 7.くすりが効く仕組みを理解する。
- 8.くすりのデザインの基本概念を理解する。
- 9.くすりがどのようにデザインされているのか理解する。

- 10.漢方の特徴について説明できる。
- 11.以下の漢方の基本用語を説明できる。(陰陽、虚実、寒熱、表裏、気血水、証)
- 12.漢方と西洋薬、民間薬、サプリメント、保健機能食品などとの相違について説明できる。
- 13.医薬品開発の各段階、特に治験(臨床試験)についての基礎知識を修得する。
- 14.医薬品の創製(研究開発、生産等)における薬剤師の役割について説明できる。
- 15.地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動について説明できる。
- 16.薬剤師の活動分野(医療機関、製薬企業、衛生行政など)について概説できる。

授業計画表

回	時限	担当教員	項目	内容	方略
第1回	4時限	小松生明	薬学教育の概要 薬学の歴史	薬剤師として求められる基本的資質、看護職への期待、薬学の歴史的流れ、薬物療法の歴史、薬剤師の誕生と変遷の歴史	講義
第2回	4時限	香月正明	薬剤師体験実習(1) 調剤業務の体験	散剤、水剤の調剤など調剤業務を体験する	演習
第3回	4時限	大光正男	薬剤師体験実習(2) フィジカルアセスメントの体験	フィジカルアセスメント(身体所見の観察・測定)を体験する	演習
第4回	4時限	俵口奈穂美	薬剤師が果たすべき役割(1)	薬剤師の活動分野の変化、薬局における薬剤師、店舗販売業・卸売販売業における薬剤師、医療機関における薬剤師、医薬品製造業者および製造業における薬剤師、衛生行政における薬剤師、医薬品情報に関わる薬剤師の役割	講義
第5回	4時限	俵口奈穂美	薬剤師が果たすべき役割(2)	セルフメディケーション地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割	講義
第6回	4時限	有馬英俊	人工知能(AI)入門: 医薬への応用例の紹介	人工知能(AI)の基本と医薬への応用例について学ぶ	講義
第7回	4時限	有竹浩介	宇宙を利用した薬の開発	国際宇宙ステーションの微小重力環境を利用したタンパク質の結晶化と創薬について学ぶ	講義
第8回	3時限	池谷幸信	漢方薬について	漢方の特徴、漢方薬の現代医療における必要性和その活用、漢方の基本用語、漢方と西洋薬、民間薬、サプリメント、保健機能食品の相違	講義
第9回	3時限	外部講師	製薬企業における臨床試験について	臨床開発・治験のプロセスを概説するとともに、最近の生物学的製剤やワクチンなどの隆盛について学ぶ	講義
第10回	4時限	瀬名秀明	薬学から未来の総合知へ	新型コロナウイルスのパンデミックは、感染症対策の科学領域のみならず経済問題やガバナンス問題、人々の心理的問題など多くの領域に課題を投げかけ、「本当の人間らしさとは何か」を考えるきっかけとなった。薬学は様々な専門知への架け橋となる学問である。薬学を学ぶことで私たちはどのような知を育み、未来社会に貢献できるのか、薬学出身の作家の立場からメッセージを発信する。	講義

授業概要

入学後早期に医療における薬学の進歩や役割、薬剤師・看護職の社会的使命を学び、薬に強い看護職を目指すものとしてのモチベーションを高めることをねらいとする。そのために薬学の歴史、薬剤師の誕生と変遷の歴史、薬の基本的な性質、薬の生体内運命、薬の基本的な作用メカニズム、漢方薬、薬剤師の活動分野などについて講義する。また、薬物療法に強い看護職を目指すにあたって、専門領域を学ぶための導入科目とする。

授業形式

授業形態は、対面授業とメディア授業等の併用にて実施します。
適宜、プリントを配布・掲示します。

評価方法

レポート(課題レポート、講義感想・意見)60%、態度(40%)により評価する。
評価項目、到達目標はルーブリックを参照してください。

オフィスアワー(授業相談)

代表担当: 小松生明
オフィスアワー: 月曜日 16:30~18:30
(不在にする場合、事前に掲示、講義を通して連絡します。また、メールでも対応します。)

学生へのメッセージ

病院薬剤師、薬局薬剤師、製薬企業研究者、作家等の実務経験がある教員が行う授業です。実習も授業の一環として位置付けています。本講義を通じて、看護師を目指すにわたり学ぶモチベーションを高め維持できるよう努めて下さい。

授業用 E-mail

komatsu@daiichi-cps.ac.jp

講義コード	1N12500
講義名	ジェンダー論 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	木曜日
代表時限	2時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	社会科学科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 長谷川 伸子	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)

※対応するカリキュラムポリシー:(1)

1. ジェンダーという概念を自分の言葉で説明できる。
2. ジェンダーの視点に親しみ、その意義を理解できる。
3. 現代社会における様々な事柄についてジェンダーの視点から批判的に捉えることができる。
4. 獲得した知見を、自分の人生・環境、将来の仕事に役立てることができる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	長谷川 伸子	はじめに	・ジェンダーという概念 ・日常生活のなかのジェンダー	講義
第2回	長谷川 伸子	様々な性別	・SOGI ・LGBT	講義
第3回	長谷川 伸子	人口動態とジェンダー	・第二次世界大戦後の人口動態 ・ライフイベントの変遷	講義
第4回	長谷川 伸子	生殖とジェンダー	・母性愛神話 ・リプロダクティブ・ヘルス&ライツ	講義
第5回	長谷川 伸子	性差と性役割	・社会規範と性役割 ・男女共同参画の現状	講義
第6回	長谷川 伸子	労働とジェンダー①	・性別役割分業 ・男女雇用機会均等法	講義
第7回	長谷川 伸子	労働とジェンダー②	・有償労働と無償労働 ・M字型就労	講義
第8回	長谷川 伸子	労働とジェンダー③	・多様な働き方	講義
第9回	長谷川 伸子	労働とジェンダー④	・職場における男女格差	講義
第10回	長谷川 伸子	労働とジェンダー⑤	ワーク・ライフ・バランス	講義
第11回	長谷川 伸子	暴力とジェンダー①	・DV、デートDV ・子どもの虐待	講義
第12回	長谷川 伸子	暴力とジェンダー②	・性犯罪の現状と法改正 ・レイプ神話	講義
第13回	長谷川 伸子	暴力とジェンダー③	・セクシュアル・ハラスメント ・様々なハラスメント	講義

第 14 回	長谷川 伸子	暴力とジェンダー④	・二次加害/被害 ・防止対策	講義
第 15 回	長谷川 伸子	まとめ	・ジェンダーの視点から社会を捉える	講義
授業概要				
私たちの暮らす社会には性別に関する多くの「常識」が存在している。「女らしさ」や「男らしさ」といった表現で示されるものはその典型である。このような「常識」は、ごく「自然」なもので、「当たり前」なものと思われがちであるが、それらを社会の中で作られるもの、学習されるものとして捉えるのがジェンダーという概念である。 この授業では、ジェンダーに関する基本的な概念や理論を解説し、現代社会の諸問題について映像資料や新聞記事なども用いながらジェンダーの視点から考察していく。 授業は主に講義形式で行うが、受講人数に応じてグループワークや個人発表を取り入れることがある				
授業形式				
教科書や授業中に配布する資料なども教材として使用する。				
評価方法				
■定期試験 ■その他(講義ごとに提出する予習課題) 定期試験 50%、講義ごとに提出する予習課題 50%				
教科書 (ISBN 番号)				
なし				
オフィスアワー(授業相談)				
初回講義時にお知らせします。				
学生へのメッセージ				
ジェンダー問題は時に命に係わることもあり、医療現場での適切な理解・対応の重要性が増々高まっています。将来、医療に係る皆さんには、ぜひジェンダー概念を正しく理解し、自分の人生に役立たせることはもちろん、ジェンダー平等社会をつくる担い手となることを期待します。 この講義では課題も出しますし、講義内での意見交換や発表もありますので、受身でなく積極的に参加する意識で履修してください。				

講義コード	1N12600		
講義名	日本国憲法(保健師課程必修)03-02		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	後期		
講義区分	講義		
基準単位数	1		
時間	30.00		
代表曜日	月曜日		
代表時限	2時限		
科目分類名	教養・基礎分野		
科目分野名	社会科学科目		
対象学科・年次	看護学科・1年次		
必修/選択	選択(保健師課程必修)		
担当教員			
職種		氏名	所属
(非常勤)講師		◎ 久保 知里	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー：(1)

※対応するカリキュラムポリシー：(1)(6)

- 日本の法制度全体の中で憲法がどのような位置を占めているかを説明できるようになること。
- 日本国憲法の基本原理と、その歴史的背景を説明できるようになること。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	久保 知里	法とはどのようなものか1	法とその他の社会規範との違い、とくに法と道徳との関係について	講義
第2回	久保 知里	法とはどのようなものか2	法と正義、法と権利	講義
第3回	久保 知里	最高法規としての憲法	憲法は諸々の法の中でどのような位置を占め、またどのような役割を果たすか	講義
第4回	久保 知里	違憲立法審査権	日本における運用、イギリスにおける議会主義と不文憲法	講義
第5回	久保 知里	人権	人権とは何か、人権という考え方はいつ生まれたか	講義
第6回	久保 知里	立憲主義	立憲主義とは何か、その歴史	講義
第7回	久保 知里	国民主権	君主主義と国民主権	講義
第8回	久保 知里	選挙	直接民主制と間接民主制	講義
第9回	久保 知里	選挙	選挙制度	講義
第10回	久保 知里	三権分立1	権力分立思想の歴史、内閣の権限、違憲審査制、最高裁裁判官の国民審査	講義
第11回	久保 知里	三権分立2	内閣法制局と議員立法、違憲判決の効果	講義
第12回	久保 知里	平和主義	憲法第9条をめぐる（集団的自衛権、砂川事件判決）	講義
第13回	久保 知里	憲法の改正	日本国憲法は「押しつけ憲法」か？	講義
第14回	久保 知里	裁判への市民の参加	検察審査会、裁判員制度	講義
第15回	久保 知里	総括	講義全体のまとめ	講義

授業概要

- 授業は基本的に講義形式でおこないますが、授業中の質疑応答あるいは課題（小テスト等）の提出時に書かれた質問に対する回答などを通して、できるだけ双方向の授業になるように努めます。
- 最初に、法の世界への導入として、法とはどのようなものであるか考えてもらいます（第1回、第2回）次に、諸々の法の中で憲法がどの

ような位置を占めるかを理解してもらいます(第3回、第4回)。
3. その上で、日本国憲法の基本原理について説明していきます(第5回以降)。
4. 憲法の解釈は裁判においても大きな問題となるので、実際の重要な裁判例もいくつか取り上げます。これによって、しばしば新聞やテレビ等で報道される憲法裁判について理解できる基本的な知識を身につけてもらうことも本授業のねらいのひとつです。

授業形式

講義

評価方法

■定期試験 ■レポート
定期試験 70%、レポート 30%

教科書(ISBN 番号)

なし

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時にお知らせします。

講義コード	1N13100
講義名	情報処理演習 I 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義・演習
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	火曜日
代表時限	3時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	自然科学科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 藤岡 豊三雄	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)
 ※対応するカリキュラムポリシー:(1)
 1.報告書やレポートを作成できる。
 2.発表用のスライド(プレゼンテーション)を作成できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	藤岡 豊三雄	講義ガイダンス 情報処理演習 I の概要	講義の進め方、履修上の注意など コンピュータのハードウェア・ソフトウェアの構成と処理の仕組み、電子データの特徴(デジタル化)等	講義 演習
第2回	藤岡 豊三雄	ネットワークのしくみ と情報倫理	ネットワークの基本要素技術、情報倫理と情報セキュリティの概要	講義 演習
第3回	藤岡 豊三雄	OS の基本操作	OS の概要と基本操作(ファイルやフォルダーの作成・管理と文字の入力)	講義 演習
第4回	藤岡 豊三雄	日本語ワードプロセッサの操作	文書作成の手順(画面構成、文書の読み込みと保存、ページ設定、簡単な文章の入力、文書の編集操作等)	講義 演習
第5回	藤岡 豊三雄	日本語ワードプロセッサの操作	ビジネス文書入力、基本的なレイアウトの設定(ヘッダーとフッター、段落の設定、箇条書きと段落番号等)	講義 演習
第6回	藤岡 豊三雄	日本語ワードプロセッサの操作	表を含む文書の作成、表の操作のための便利な機能	講義 演習
第7回	藤岡 豊三雄	日本語ワードプロセッサの操作	図形を含む文書の作成(図形の挿入と加工、テキストボックスの使い方。図形の書式設定等)	講義 演習
第8回	藤岡 豊三雄	日本語ワードプロセッサの操作	図や画像を含む文書の作成(サイズ変更や配置位置の設定などの方法 及び 画像処理機能の利用方法等)	講義 演習
第9回	藤岡 豊三雄	日本語ワードプロセッサの操作	図と図形を含む文書の作成(オンライン画像、スクリーンショット、SmartArt、ブロック図の作成等)	講義 演習
第10回	藤岡 豊三雄	プレゼンテーションソフトの操作	パワーポイントの基本的な操作方法(スライド作成の手順、画面構成、アウトライン入力 等)	講義 演習
第11回	藤岡 豊三雄	プレゼンテーションソフトの操作	パワーポイントの特殊効果(アニメーションなど)の設定方法 グラフが挿入されたスライドの作成	講義 演習
第12回	藤岡 豊三雄	日本語ワードプロセッサの操作	長文作成をサポートする機能(文字のスタイル、脚注、変更履歴、コメントの挿入、改ページの設定、段組み 等)	講義 演習

第 13 回	藤岡 豊三雄	日本語ワードプロセッサの操作	数式の入力方法について	講義 演習
第 14 回	藤岡 豊三雄	日本語ワードプロセッサの操作	練習問題Ⅰ（段組みを含むレポート）の作成	講義 演習
第 15 回	藤岡 豊三雄	日本語ワードプロセッサの操作 情報処理演習Ⅰのまとめ	練習問題Ⅱ（フェイスシート）の作成 情報処理演習Ⅰのまとめ	講義 演習

授業概要

情報化社会において、勉学や研究の道具として情報処理技術を習得することが必要となってきた。情報処理演習Ⅰでは、情報を適切に利用して豊かな社会生活を送るために必要な知識を得ること、及び情報を取り扱う上で重要な倫理的側面について学ぶ。また、日本語文書処理を中心に、インターネットの検索方法や電子メールの使用方法などについて学ぶ。
ここの学びを情報処理演習Ⅱや他の講義や社会生活の上で活用していく。

授業形式

- ・主に演習形式で行う。演習成果物は回収し理解度等を確認する。
- ・演習の進行は、なるべく学生のスピードに合わせて進めていきます。また、質疑の時間もなるべく取りながら進めていきます。
- ・板書（講義録）及び資料の配布等は、講義用ホームページにて対応します。

評価方法

■定期試験 ■小テスト ■その他（課題）小テスト10% 課題試験 20% 定期試験 70%（受講態度等も考慮します。）

教科書（ISBN 番号）

“医療・看護系のための情報リテラシー” Office2019 対応版（ISBN:978-4-489-02322-4）

参考書

“エッセンシャル看護情報学”（医歯薬出版）

オフィスアワー(授業相談)

- ・メールにて相談に応じます。（メールアドレスは、1回目の講義時に提示します。）
- ・火曜日 4 限目以降も演習室にて授業相談に応じます。

学生へのメッセージ

- ・操作技術に関しては、慣れることが重要です。十分に復習を行ってください。
- ・授業の進行についてこれならないケースもあると思われますので、遠慮なくオフィスアワー等を利用し質問に来てください。

講義コード	1N13200		
講義名	情報処理演習Ⅱ 03-02		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	後期		
講義区分	講義・演習		
基準単位数	1		
時間	30.00		
代表曜日	火曜日		
代表時限	3時限		
科目分類名	教養・基礎分野		
科目分野名	自然科学科目		
対象学科・年次	看護学科・1年次		
必修/選択	必修		
担当教員			
職種	氏名	所属	
(非常勤)講師	◎ 藤岡 豊三雄	指定なし	

到達目標(SBO)

- ※対応するディプロマポリシー:(1)
 ※対応するカリキュラムポリシー:(1)
 1.表計算ソフトの機能を使うことができる。
 2.様々なグラフを描けることができる。
 3.罫線の設定方法をマスターし、きれいな表を作成することができる。
 4.統計処理をすることができる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	藤岡 豊三雄	講義ガイダンス 情報処理演習Ⅱの概要	講義の進め方、履修上の注意など エクセルのデータの入力方法と編集方法(簡単な表の作成)	講義 演習
第2回	藤岡 豊三雄	エクセルの操作	表の基本操作(数値入力と式の入力)	講義 演習
第3回	藤岡 豊三雄	エクセルの操作	関数を利用した計算表の作成	講義 演習
第4回	藤岡 豊三雄	エクセルの操作	グラフの作成方法、グラフの書式設定 (グラフの構成要素と編集操作、様々なグラフの作成)	講義 演習
第5回	藤岡 豊三雄	エクセルの操作	様々なグラフの作成 (3D グラフ等)	講義 演習
第6回	藤岡 豊三雄	エクセルの操作	アンケート表の作成1 (データ入力補助、関数による集計、データベース機能)	講義 演習
第7回	藤岡 豊三雄	エクセルの操作	アンケート表の作成2 (重複データの削除、データの統合、クロス集計、表の集計の設定、クイック分析)	講義 演習
第8回	藤岡 豊三雄	統計処理の基本	エクセルによる統計処理(統計基礎) (データの分類、度数分布表とヒストグラム、基本統計量)	講義 演習
第9回	藤岡 豊三雄	統計処理の基本	エクセルによる統計処理(統計基礎) (正規分布、検定:推測検定とは・t検定・ χ^2 検定)	講義 演習
第10回	藤岡 豊三雄	統計処理の基本	課題演習 対応のあるt検定 (エクセルでの手順)	講義 演習
第11回	藤岡 豊三雄	統計処理の基本	課題演習 対応のないt検定	講義 演習

第 12 回	藤岡 豊三雄	統計処理の基本	課題演習 クロス集計と χ^2 検定	講義 演習
第 13 回	藤岡 豊三雄	統計処理の基本	課題演習 ノンパラメトリック検定	講義 演習
第 14 回	藤岡 豊三雄	統計処理の基本	課題演習 相関を求める(相関係数と回帰直線)	講義 演習
第 15 回	藤岡 豊三雄	統計処理の基本 情報処理演習Ⅱのま とめ	課題演習 一元配置分散分析 情報処理演習Ⅱのまとめ	講義 演習

授業概要

情報化社会において、勉学や研究の道具として情報処理技術を習得することが必要となってきた。情報処理演習Ⅱでは、表計算ソフトを用いたデータ処理技術について学ぶ。表計算ソフト(例えばExcelなど)は、簡単なプログラミングが可能なソフトウェアである。操作方法を身につけると、様々なデータ処理に活用できる。簡単な計算、グラフ作成、統計処理などのデータ処理が簡単にできることになり、報告書作成、レポート作成に大いに役立てることができる。

授業形式

- ・主に演習形式で行う。演習成果物は回収し理解度等を確認する。
- ・演習の進行は、なるべく学生のスピードに合わせて進めていきます。また、質疑の時間なるべく取りながら進めていきます。
- ・板書(講義録)及び資料の配布等は、講義用ホームページにて対応します。

評価方法

■定期試験 ■小テスト ■その他(課題)小テスト10% 課題試験 20% 定期試験 70% (受講態度等も考慮します。)

教科書(ISBN 番号)

“医療・看護系のための情報リテラシー” Office2019 対応版 (ISBN:978-4-489-02322-4)

参考書

看護学生のための 疫学保険統計(南山堂)

オフィスアワー(授業相談)

- ・メールにて相談に応じます。(メールアドレスは、1回目の講義時に提示します。)
- ・火曜日 4 限目以降も演習室にて授業相談に応じます。

学生へのメッセージ

- ・操作技術に関しては、慣れることが重要です。十分に復習を行ってください。
- ・授業の進行についてこれないケースもあると思われますので、遠慮なくオフィスアワー等を利用し質問に来てください。

講義コード	1N13300
講義名	看護学生のための生物・化学 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
代表曜日	木曜日
代表時限	3時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	自然科学科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	選択(自由科目)

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 白谷 智宣	基礎教育講座 薬学教育推進センター 基礎化学分野
教授	門口 泰也	医薬品化学・物性学講座 薬品化学分野(漢)
准教授	横山 さゆり	医薬品化学・物性学講座 薬品化学分野(漢)
講師	跡部 秀之	薬学教育支援センター
講師	古賀 和隆	基礎教育講座 薬学教育推進センター 基礎化学分野(漢)

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)

※対応するカリキュラムポリシー:(1)

- 1.看護に必要な物質の構成、変化について説明できる。
- 2.看護に必要な遺伝、刺激と反応について説明できる。
- 3.看護に必要な生体の恒常性について説明できる。
- 4.看護に必要な無機化合物・有機化合物について説明できる。
- 5.生活と物質との関係について説明できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	跡部 秀之	講義ガイダンス 看護×生物 看護に必要な物質の構成 の話(生物編)	講義の進め方、履修上の注意など なぜ看護に生物が必要なのか、その理由 細胞のしくみ、細胞のはたらき、	講義
第2回	跡部 秀之	看護に必要な遺伝の話	細胞の分裂、染色体と減数分裂、血液型、赤緑色覚異常、染色体異常、遺伝子突然変異、遺伝子組み換え	講義
第3回	跡部 秀之	看護に必要な刺激と反応の話	刺激の伝達のしくみ、特殊感覚(視覚、聴覚・平衡感覚、嗅覚、味覚)	講義
第4回	跡部 秀之	看護に必要な生体の恒常性 の話	体液の恒常性、生体防御のしくみ、循環器系のしくみ、呼吸器系のしくみ、排泄・吸収のしくみ、内分泌系のしくみ、生殖のしくみ、体温のしくみ、神経のしくみ	講義
第5回	白谷 智宣	看護×化学 看護に必要な物質の構成 の話(化学編)	なぜ看護に化学が必要なのか、その理由 さまざまな物質の構成、物質質量と化学反応、化学反応と化学反応式のつくり方	講義
第6回	横山 さゆり	看護に重要な物質の変化 の話	溶液の濃度、酸と塩基、水素イオン濃度とpH	講義
第7回	白谷 智宣	看護に重要な物質の変化 の話	溶解度、浸透圧、熱化学方程式、化学平衡	講義

第 8 回	門口 泰也	私たちの生活と有機化合物との関係	有機化合物(糖質、アミノ酸とタンパク質、脂質、核酸、ビタミンを含む)	講義
授業概要				
看護学を学ぶためには、その看護の対象となる「人間」を多面的に理解する必要がある。その中で「生物学的な人間」を理解するために学ぶ機能形態学Ⅰ・Ⅱ、生化学、栄養学等は、基本的な生物・化学の知識が必要である。また、看護の現場では、さまざまな薬剤や物質を取り扱う。それらを学ぶ薬理学、臨床薬理学等でも基本的な生物・化学の知識が必要である。この看護学生のための生物・化学を学び、基礎学力の底上げを図り、上記科目等をスムーズに学び進めていけるように活かしていく。				
授業形式				
講義				
評価方法				
■生物 50%(小テスト)、化学 50%(小テスト、レポート)				
教科書 (ISBN 番号)				
看護に必要なやりなおし生物・化学、時政 孝行 著、照林社、(ISBN:9784796523127)				
参考書				
系統看護学講座 基礎分野 化学、奈良 雅之 著、医学書院、(ISBN:9784260031813)				
オフィスアワー(授業相談)				
火曜日(14:45～17:00)または、メール等				

講義コード	1N13400
講義名	看護学生のための数学・物理 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
代表曜日	木曜日
代表時限	3時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	自然科学科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	選択(自由科目)

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎大久保 勇輔	基礎教育講座 薬学教育推進センター 基礎数学分野
准教授	田畠 健治	医薬品化学・物性学講座 薬物解析学分野
准教授	安川 圭司	生命薬学講座 薬物治療学分野

到達目標(SBO)

- ※対応するディプロマポリシー: (1)
 ※対応するカリキュラムポリシー: (1)
 1. 看護の基本となる計算、演習・実習に必要な看護計算の方法ができる。
 2. 看護に関係の深いグラフとその書き方・読み方ができる。
 3. 看護の基礎となる力、電気、波について説明できる。
 4. 看護に必要な放射線について説明できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	大久保 勇輔	講義ガイダンス 看護×数学 看護の基本となる計算	講義の進め方、履修上の注意など なぜ看護に数学が必要なのか、その理由 看護の基本となる計算	講義
第2回	大久保 勇輔	看護によく出る単位と計算	看護によく出る単位と計算	講義
第3回	大久保 勇輔	演習・実習に必要な看護計算の方法	薬用量の計算、点滴速度と滴下速度の計算、希釈に関する計算、医療用酸素ガスに関する計算、BMI(体格指数)、小児の身体の発達指数、カロリー計算	講義
第4回	大久保 勇輔	看護に関係の深いグラフとその書き方・読み方	熱計表、XYプロット、心拍数トレンドグラフ、心電図、片対数プロット(セミログプロット)、棒グラフ、散布図、円グラフ	講義
第5回	田畠 健治	看護×物理 看護の基礎となる力の話	なぜ看護に物理が必要なのか、その理由 看護の基礎となる力	講義
第6回	田畠 健治	看護の基礎となる電気の話	電気、電流、電流と磁場、交流と電磁波	講義
第7回	安川 圭司	看護の基礎となる波の話	音波、光波	講義
第8回	安川 圭司	看護に必要な放射線の話 看護学生のための数学・物理のまとめ	X線とγ線、シンチグラフィ、粒子線、放射線に関する単位、許容被爆量 看護学生のための数学・物理のまとめ	講義

授業概要
多様な人々の看護に必要かつ十分な知識を身に付ける必要がある。看護の対象者の全身状態の観察、バイタルサイン測定あるいは、安全な治療が行われているかまたは作用効果が得られているか判断する時、そして安全・安楽な看護ケアの原理を理解する際も、基本的な数学・物理の知識が必要である。 この看護学生のための数学・物理を学び、基礎学力の底上げを図り、上記等の学びをスムーズに学び進めていけるように活かしていく。
授業形式
講義
評価方法
レポート課題 100%
教科書 (ISBN 番号)
看護に必要なやりなおし数学・物理 照林社 ISBN978-4-7965-2311-0
オフィスアワー(授業相談)
木曜日 15:00～17:00
参考 E-mail 1
k-tabata@daiichi-cps.ac.jp
参考 E-mail 2
k-yasukawa@daiichi-cps.ac.jp

講義コード	1N13501
講義名	スポーツ I (保健師課程必修)03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義・演習
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	月曜日
代表時限	3時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	自然科学科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	選択(保健師課程必修)

担当教員

職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 蘭 和真	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)

※対応するカリキュラムポリシー:(1)(6)

- ①体や身体運動に関する知識と技術を学ぶことができる。
- ②身体を動かす楽しみを体感し、新しいスポーツへのチャレンジの動機づけになるよう工夫、実践することができる。
- ③身体運動の継続は生活習慣病をはじめ身体機能の低下の予防に役立てることができる。
- ④関節の可動域や機能、骨格筋の動き(運動の効率)をよくし、運動器の傷害の予防を知ることができる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	蘭 和真	ガイダンス 運動と神経筋系	①授業の展開・評価および注意事項について説明します ②運動発現のメカニズムについて講義します	講義
第2回	蘭 和真	身体ほぐしと関節の動き	①ストレッチのメカニズムについて学びます ②簡単な運動を行いながら関節の動きについて理解します	演習
第3回	蘭 和真	身体ほぐしと運動のメカニズム	①スポーツで主に使う骨格筋の名称や役割を理解します ②簡単な運動の中で運動発現のメカニズムを理解します	演習
第4回	蘭 和真	身体ほぐしと神経系	①スポーツをやる上での五感の大切さを学びます ②簡単な運動の中で障がい者の気持ちを理解します	演習
第5回	蘭 和真	バドミントンとバレーボール1	①全員で準備運動を行いバド班、バレー班に分かれます ②バド班は基本ストロークを学びます ③バレー班はパス、レシーブ、スパイク、サーブを学びます	演習
第6回	蘭 和真	バドミントンとバレーボール2	①全員で準備運動を行いバド班、バレー班に分かれます ②バド班は簡易ゲームを行います ③バレー班はソフトバレーボールでゲームを行います	演習
第7回	蘭 和真	バドミントンとバレーボール3	①全員で準備運動を行いバド班、バレー班に分かれます ②バド班はルール理解のあとダブルスゲームを行います ③バレー班はルール理解のあと6対6のゲームを行います	演習
第8回	蘭 和真	バドミントンとバレーボール4	①全員で準備運動を行いバド班、バレー班に分かれます ②バド班は陣形を理解しダブルスゲームを行います ③バレー班は基本練習のあと6対6のゲームを行います	演習
第9回	蘭 和真	バドミントンとバレーボール5	①全員で準備運動を行いバド班、バレー班に分かれます ②バド班は勝ち抜き戦方式でダブルスゲームを行います ③バレー班は戦術理解のあと6対6のゲームを行います	演習

第 10 回	蘭 和真	卓球とバスケットボール1	①全員で準備運動を行い卓球班、バスケ班に分かれます ②卓球班は基本ストロークを学びます ③バスケ班はパス、ドリブル、シュートを学びます	演習
第 11 回	蘭 和真	卓球とバスケットボール2	①全員で準備運動を行い卓球班、バスケ班に分かれます ②卓球班は簡易ゲームを行います ③バスケ班は 3 オン 3 ゲームを行います	演習
第 12 回	蘭 和真	卓球とバスケットボール3	①全員で準備運動を行いバド班、バレー班に分かれます ②卓球班はルール理解のあとダブルスゲームを行います ③バスケ班はルール理解のあと 5 対 5 のゲームを行います	演習
第 13 回	蘭 和真	卓球とバスケットボール4	①全員で準備運動を行い卓球班、バスケ班に分かれます ②卓球班は陣形を理解しダブルスゲームを行います ③バスケ班は基本練習のあと 5 対 5 のゲームを行います	演習
第 14 回	蘭 和真	卓球とバスケットボール5	①全員で準備運動を行い卓球班、バスケ班に分かれます ②卓球班は勝ち抜き戦方式でダブルスゲームを行います ③バスケ班は戦術理解のあと 6 対 6 のゲームを行います	演習
第 15 回	蘭 和真	スポーツとは	①スポーツの発祥と進化をその歴史から学びます ②スポーツ倫理について学びます ③授業のまとめ	講義

授業概要

個々の体力の維持、技術の修得とともに、スポーツの持つ特性やその魅力を体感する。
競技の基礎技術としてのルールやマナー、審判法について学修正しいゲームの方法を身につける。
スポーツを通してコミュニケーション能力の向上を目指す。
生涯にわたって自己の健康を保持する能力を養い、健康・スポーツに関わる総合的経験を深める。

授業形式

講義、演習

評価方法

■その他(授業参加姿勢、実技の到達努力、ストレッチ)
授業参加姿勢 60%、実技の到達努力 20%、ストレッチ 20%

教科書(ISBN 番号)

なし

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時にお知らせします。

学生へのメッセージ

自己の健康管理に留意すること。

講義コード	1N13601
講義名	スポーツⅡ（保健師課程必修）03-02
（副題）	
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	講義・演習
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	月曜日
代表時限	3時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	自然科学科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	選択（保健師課程必修）

担当教員

職種	氏名	所属
（非常勤）講師	◎ 蘭 和真	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー：(1)

※対応するカリキュラムポリシー：(1)(6)

①体や身体運動に関する知識と技術を学ぶことができる。

②身体を動かす楽しみを体感し、新しいスポーツへのチャレンジの動機づけになるよう工夫、実践することができる。

③スポーツにおける疾病や障害を学習し、心身によい影響を与える身体活動の効用を認識する。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	蘭 和真	ガイダンス 運動と呼吸循環系	①授業の展開・評価および注意事項について説明します ②運動と呼吸循環系の関係について講義します	講義
第2回	蘭 和真	運動と心拍数	①運動強度と心拍数の関係について学びます ②歩く、早歩き、走る時等の脈拍から運動強度を推測します	演習
第3回	蘭 和真	コンディショニングのメカニズム	①スポーツで行われる簡単なトレーニングを行います ②簡単なトレーニングのメカニズムを理解します	演習
第4回	蘭 和真	トレーニングの科学	①一流選手の器具不使用のトレーニングを体験します ②そのトレーニングの科学的意味を理解します	演習
第5回	蘭 和真	バレーボールとバドミントン1	①全員で準備運動を行いバド班、バレー班に分かれます ②バレー班はパス、レシーブ、スパイク、サーブを学びます ③バド班は基本ストロークを学びます	演習
第6回	蘭 和真	バレーボールとバドミントン2	①全員で準備運動を行いバド班、バレー班に分かれます ②バレー班はソフトバレーボールでゲームを行います ③バド班は簡易ゲームを行います	演習
第7回	蘭 和真	バレーボールとバドミントン3	①全員で準備運動を行いバド班、バレー班に分かれます ②バレー班はルール理解のあと6対6のゲームを行います ③バド班はルール理解のあとダブルスゲームを行います	演習
第8回	蘭 和真	バレーボールとバドミントン4	①全員で準備運動を行いバド班、バレー班に分かれます ②バレー班は基本練習のあと6対6のゲームを行います ③バド班は陣形を理解しダブルスゲームを行います	演習
第9回	蘭 和真	バレーボールとバドミントン5	①全員で準備運動を行いバド班、バレー班に分かれます ②バレー班は戦術理解のあと6対6のゲームを行います ③バド班は勝ち抜き戦方式でダブルスゲームを行います	演習

第 10 回	蘭 和真	バスケットボールと卓球 1	①全員で準備運動を行い卓球班、バスケ班に分かれます ②バスケ班はパス、ドリブル、シュートを学びます ③卓球班は基本ストロークを学びます	演習
第 11 回	蘭 和真	バスケットボールと卓球 2	①全員で準備運動を行い卓球班、バスケ班に分かれます ②バスケ班は 3 オン 3 ゲームを行います ③卓球班は簡易ゲームを行います	演習
第 12 回	蘭 和真	バスケットボールと卓球 3	①全員で準備運動を行いバド班、バレー班に分かれます ②バスケ班はルール理解のあと 5 対 5 のゲームを行います ③卓球班はルール理解のあとダブルスゲームを行います	演習
第 13 回	蘭 和真	バスケットボールと卓球 4	①全員で準備運動を行い卓球班、バスケ班に分かれます ②バスケ班は基本練習のあと 5 対 5 のゲームを行います ③卓球班は陣形を理解しダブルスゲームを行います	演習
第 14 回	蘭 和真	バスケットボールと卓球 5	①全員で準備運動を行い卓球班、バスケ班に分かれます ②バスケ班は戦術理解のあと 5 対 5 のゲームを行います ③卓球班は勝ち抜き戦方式でダブルスゲームを行います	演習
第 15 回	蘭 和真	スポーツと健康 スポーツ栄養学	①スポーツの健康への効能について講義します ②スポーツ選手のための栄養について講義します ③授業のまとめ	講義

授業概要

学生生活、社会生活を豊かに営む上で、心の健康、体力づくりへの自己管理を身につける。
スポーツを通してコミュニケーション能力を高め、積極的にスポーツに参加する姿勢および社会性、協調性、実行力の養成を目指す。
競技種目においてルールやマナー、審判法について学び、ゲームの楽しさや魅力を体感する。

授業形式

演習

評価方法

■その他(授業参加姿勢、実技の到達努力、ストレッチ)
授業参加姿勢 60%、実技の到達努力 20%、ストレッチ 20%

教科書(ISBN 番号)

なし

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時にお知らせします。

学生へのメッセージ

スポーツⅠを受講済みであることを前提として授業を進めるので、前期に必ずスポーツⅠを受講してからこの講義に臨んでください。自己の健康管理に留意すること。

講義コード	1N14101		
講義名	英語 03-02		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	前期		
講義区分	講義・演習		
基準単位数	1		
時間	30.00		
代表曜日	火曜日		
代表時限	1時限		
科目分類名	教養・基礎分野		
科目分野名	外国語科目		
対象学科・年次	看護学科・1年次		
必修/選択	必修		
担当教員			
職種	氏名	所属	
(非常勤)講師	◎ 青柳 達也	指定なし	

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)

※対応するカリキュラムポリシー:(1)

1. 各 Unit の実話について感想を述べることができる。
2. 各 Unit の医用・看護用語および表現を英語で言い、書く事ができる。
3. 提示した英語看護論文(短報)を読み、内容をレポートにまとめることができる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	青柳 達也	コース・ガイダンス Unit 1 クリスマスに働く	シラバスと使用テキストブックの説明、班分け。 Emergency room, Nursing judgment	講義 演習
第2回	青柳 達也	Unit 1 クリスマスに働く	Emergency room, Nursing judgment	講義 演習
第3回	青柳 達也	Unit 1 クリスマスに働く	Emergency room, Nursing judgment	講義 演習
第4回	青柳 達也	Unit 2 ネリー	“ネリー (2歳児で白血病)” Leukemia, Chemotherapy, How do you know that	講義 演習
第5回	青柳 達也	Unit 2 ネリー	“ネリー (2歳児で白血病)” Leukemia, Chemotherapy, How do you know that	講義 演習
第6回	青柳 達也	Unit 3 ボーダーベビー	“ボーダーベビー (母親から捨てられ病院に収容された赤ちゃん)” Down's syndrome, Boarder baby	講義 演習
第7回	青柳 達也	Unit 3 ボーダーベビー	“ボーダーベビー (母親から捨てられ病院に収容された赤ちゃん)” Down's syndrome, Boarder baby	講義 演習
第8回	青柳 達也	Unit 4 ラッキー	“ラッキー (ドクターズ・ヘリで救護した高齢男性の名前)” Gunshot wound, Vital signs, Top denture	講義 演習
第9回	青柳 達也	Unit 4 ラッキー	“ラッキー (ドクターズ・ヘリで救護した高齢男性の名前)” Gunshot wound, Vital signs, Top denture	講義 演習
第10回	青柳 達也	Unit 5 彼はやり遂げた	“癌患者世界最大の自転車ロードレースを制す”Oncology research unit, Listen to your body	講義 演習
第11回	青柳 達也	Unit 5 彼はやり遂げた	“癌患者世界最大の自転車ロードレースを制す”Oncology research unit, Listen to your body	講義 演習
第12回	青柳 達也	Unit 6 事故によって	“脊髄損傷” Spinal cord injury, Think big	講義 演習

第 13 回	青柳 達也	Unit 6 事故によって	“脊髄損傷” Spinal cord injury, Think big	講義 演習
第 14 回	青柳 達也	Unit 7 嵐の出産	“猛吹雪の車中で妊婦と3人の子供が立ち往生” Early labor, Ambulance, The baby's coming	講義 演習
第 15 回	青柳 達也	Unit 7 嵐の出産	“猛吹雪の車中で妊婦と3人の子供が立ち往生” Early labor, Ambulance, The baby's coming	講義 演習

授業概要

日本社会の国際化が進むと共に、外国からの居住者や訪日する人が増え、英語を学ぶ重要性は確実に高まっている。看護学を初めて学ぶ看護学生たちも、将来は外国から来ている人たちを看護することが想定され、本科目では、看護と英語に親しみを感じながら英文の読解力向上を目指す。

テキストとして選定した「英語で読む ナースが語る感動のストーリー」は、14話の実話からなり、英語圏の医療現場で実際に使われている医学・看護用語と英語表現で書かれている。実話の場面、場面をイメージしながら読むことで、英語を英語のまま理解できる力と看護論文読解の基礎的能力を養う。

授業形式

各授業で、前回で学んだ専門用語と英語表現の書き取りをします(テストではなく、自己確認のため)。また、小グループに分け、各 Unit の内容を話し合い、実話の内容と感想をレポートに纏めグループ毎で提出します。

評価方法

■定期試験 30% ■小テスト(Mini-test 20%) ■その他(Classwork (attendance, participation, attitude) 30%. Homework 20%.)

Classwork (attendance, participation, attitude) 30%. Homework 20%. Quizzes 20%.

Final Test 30%

Full details will be given on the first day.

教科書 (ISBN 番号)

英語で読む ナースが語る感動のストーリー, 第1版. 編者 田中芳文. 2016, 看護の科学社
(ISBN 978-4-8780-4061-0)

参考書

英和・和英 辞書

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時にお知らせします。

講義コード	1N14201
講義名	英会話 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	講義・演習
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	火曜日
代表時限	1時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	外国語科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 青柳 達也	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)
 ※対応するカリキュラムポリシー:(1)
 英文の構造の分析力と読解力の向上
 ー各 Unit の英語対話を聞き取り、内容を理解することができる。
 ー語彙を増やしリーディングスキルを向上することができる。
 ー基礎的なライティングとスピーキングを通して自己を表現する力を高めることができる。
 ー看護師で使用可能な新しいコミュニケーションスキルを習得することができる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第 1 回	青柳 達也	Review class expectations New book introduction Hospital Departments	*Subject to change depending on class pace&interest Unit 1 Simple present tense Can I help you? Which department?	講義 演習
第 2 回	青柳 達也	Application forms	Unit 2 S-V agreement; taking personal information, occupations, dates	講義 演習
第 3 回	青柳 達也	Parts of the Body	Unit 3 present progressive verbs; What's the matter? names of body parts	講義 演習
第 4 回	青柳 達也	Illnesses	Unit 4 simple past tense; simple medical sicknesses, symptoms	講義 演習
第 5 回	青柳 達也	Daily Routine	Unit 5 auxiliary verbs; time, hospital routines and schedules	講義 演習
第 6 回	青柳 達也	Speaking Test #1 (conversation)	Write, practice, perform	講義 演習
第 7 回	青柳 達也	Hospital Objects	Unit 6 future tense, What's this? What are these? names of objects	講義 演習
第 8 回	青柳 達也	Locations of Hospital Objects	Unit 7 progressive tenses; prepositions, Where is x? Where are xx?	講義 演習

第 9 回	青柳 達也	Hospital Directions and Instructions	Unit 8 directions and commands, Where do I go?	講義 演習
第 10 回	青柳 達也	Directions (outside of the hospital)	Unit 9 active and passive forms; Where is the pharmacy?	講義 演習
第 11 回	青柳 達也	Speaking Test #2 (conversation)	Write, practice, perform	講義 演習
第 12 回	青柳 達也	Chatting with a Patient	Unit 10 present versus perfect tense; common topics, frequency words	講義 演習
第 13 回	青柳 達也	Taking a Medical History	Unit 11 present perfect tense; When? How long? Have you ever...?	講義 演習
第 14 回	青柳 達也	Hospital Procedures	Unit 12 Tag questions and answers, giving instructions	講義 演習
第 15 回	青柳 達也	Dialogue Final review	Review and consolidation of study; final dialogue writing	講義 演習

授業概要

本科目は、医用専門教科書を用いた医療英会話の基礎レベルコースである。このコースの目的は、同じ文型の名詞や動詞を入れ替えての練習や、学んだ文型・英語表現を駆使した会話の練習、更にプレゼンテーション等、様々な演習を行うことで、コミュニケーション全般に渡る英会話を練習する機会を学生達に提供することである。この実践を通して、本コースは、学生たちが語彙を増やし、発音や会話力、リスニング能力を伸ばして、医療現場で自信を持って英語を使えるようになることを目指す。

英語力に自信を持たせ、さまざまな場面で使える英語の知識を増やし、英語をコミュニケーションの道具として使いこなせるように指導をしています。

授業形式

テキストを使用し、ペアで、会話の練習をする。
Regular dialogue practice, plus writing and mini-tests to check for learning.

評価方法

■定期試験 50% ■小テスト 30% ■その他(リスニング・発表) 20%
定期試験 50% (Speaking Test 20%, Written Test 30%)
平常点 50% (小テスト 30%、発表・受講態度等 20%)
Full details will be given on the first day.

教科書 (ISBN 番号)

Vital Signs [Revised Edition] (Nan'undo) (ISBN 978-4-523-17868-2)

参考書

英和・和英 辞書

オフィスアワー(授業相談)

初回講義時にお知らせします。

講義コード	1N14301	
講義名	中国語 I 03-02	
(副題)		
開講責任部署		
講義開講時期	前期	
講義区分	講義・演習	
基準単位数	1	
時間	30.00	
代表曜日	金曜日	
代表時限	1時限	
科目分類名	教養・基礎分野	
科目分野名	外国語科目	
対象学科・年次	看護学科・1年次	
必修/選択	選択	
担当教員		
職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 任 春江	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)
 ※対応するカリキュラムポリシー:(1)
 ○中国語の基本構造を理解すること。
 ○簡単な中国語を日本語に訳せること。
 ○中国語で簡単な自己紹介ができること。
 ○正しい中国語の発音ができること。
 ○自分で中国語を書けること。
 ○中国人の考え方と価値観を理解すること。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	任 春江	中国と中国語 中国語の発音1	中国とその言葉について紹介する 発音の要領と記号の修得(四声など)	演習
第2回	任 春江	中国語の発音2	中国とその言葉について紹介する 発音の要領と記号の修得(四声など)	演習
第3回	任 春江	挨拶	人称代名詞	演習
第4回	任 春江	職業	“是”の文、名前、国籍の尋ね方	演習
第5回	任 春江	復習	学修した内容の再確認	演習
第6回	任 春江	学校の施設	述語文、疑問詞、副詞	演習
第7回	任 春江	日用品	指示代名詞	演習
第8回	任 春江	数量詞	数の言い方、物の指し方	演習
第9回	任 春江	家族	在・方位詞など	演習
第10回	任 春江	復習	学修した内容の再確認	演習
第11回	任 春江	形容詞	形容詞述語文、前置詞	演習
第12回	任 春江	誕生日	日付、曜日、時間の言い方	演習
第13回	任 春江	自己紹介	日常的な動作	演習
第14回	任 春江	作文	自己紹介など	演習
第15回	任 春江	総復習	自分のことを話す	講義

授業概要

中国語の学習を通して、中国の歴史・文化、漢方などの知識を紹介する。
 随時ビデオ資料などを取り入れる。

授業形式
教科書をベースに実用例文を加味して、受講生の発表を促し講義するとともに、演習の型を組み込む。
評価方法
■定期試験 ■小テスト ■その他(授業参加姿勢) 定期試験 50%、小テスト 40%、授業参加姿勢 10%
教科書(ISBN 番号)
「新訂キャンパス的中国語」 渋谷 裕子/孟若燕 編著(同学社出版)(ISBN:978-4-8102-0784-2)
参考書
中日辞典
オフィスアワー(授業相談)
初回講義時にお知らせします。
学生へのメッセージ
中国語Ⅱでは、中国語Ⅰで学んだ事項をさらに発展させ、学ぶので、中国語Ⅱと合わせて受講して下さい。

講義コード	1N14401
講義名	中国語Ⅱ 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	講義・演習
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	金曜日
代表時限	1時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	外国語科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	選択

担当教員

職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 任 春江	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)
 ※対応するカリキュラムポリシー:(1)
 ○中国語の基本構造を理解すること。
 ○簡単な中国語を日本語に訳せること。
 ○中国語で簡単な自己紹介ができること。
 ○正しい中国語の発音ができること。
 ○自分で中国語を書けること。
 ○中国人の考え方と価値観を理解すること。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	任 春江	中国語Ⅰの復習	単語、文法	講義
第2回	任 春江	公共施設	完了の表現、語気詞	演習
第3回	任 春江	趣味	助動詞、可能の表現	演習
第4回	任 春江	スポーツ	助動詞、願望の表現	演習
第5回	任 春江	乗り物	前置詞、時点と時量の言い方	演習
第6回	任 春江	復習	学修した内容の再確認	演習
第7回	任 春江	地名	結果補語、比較級	演習
第8回	任 春江	色々な動作	方向補語	演習
第9回	任 春江	食べ物	動作の進行と持続	演習
第10回	任 春江	演習	演習	演習
第11回	任 春江	復習	学修した内容の再確認	演習
第12回	任 春江	電器用品	強調構文、助詞の使い方	演習
第13回	任 春江	自然現象	存在の表現、事前現象	演習
第14回	任 春江	季節	使役、受身の表現	演習
第15回	任 春江	総復習	学修した内容の総復習	講義

授業概要

中国語の学修を通して、中国の歴史・文化、漢方などの知識を紹介する。
 随時ビデオ資料などを取り入れる。

授業形式
教科書をベースに実用例文を加味して、受講生の発表を促し、講義するとともに、演習の型を組み込む。
評価方法
■定期試験 ■小テスト ■その他(授業参加姿勢) 定期試験 50%、小テスト 40%、授業参加姿勢 10%
教科書(ISBN 番号)
「新しいキャンパス的中国語」 渋谷 裕子/孟若燕 編著(同学社出版) ISBN:978-4-8102-0784-2
参考書
中日辞典
オフィスアワー(授業相談)
初回講義時にお知らせします。
学生へのメッセージ
中国語Ⅰを受講済みであることを前提として授業を進めるので、前期に必ず中国語Ⅰを受講してからこの講義に臨んでください。

講義コード	1N14501
講義名	韓国語 I 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義・演習
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	金曜日
代表時限	1時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	外国語科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	選択

担当教員

職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 井田 茂雄	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー:(1)
 ※対応するカリキュラムポリシー:(1)
 (1)ハングルの読み書きができる
 (2)簡単な文章を理解できる
 (3)簡単なあいさつや自己紹介ができる
 (4)韓国語を通じて異文化を理解し、同時に日本社会への理解を深める

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	井田 茂雄	ガイダンス	ガイダンス～韓国語を学習するにあたっての基礎知識など	演習
第2回	井田 茂雄	発音練習1	文字と発音(単母音と二重母音)	演習
第3回	井田 茂雄	発音練習2	文字と発音(子音① 3つの要素～平音・激音・濃音)	演習
第4回	井田 茂雄	発音練習3	文字と発音(子音② 終声～パッチム)	演習
第5回	井田 茂雄	発音練習4	文字と発音(ハングルで日本語を書いてみよう)	演習
第6回	井田 茂雄	発音練習5	文字と発音(表記通り読まないルール①連音化等)	演習
第7回	井田 茂雄	発音練習6	文字と発音(表記通り読まないルール②)	演習
第8回	井田 茂雄	発音練習7	文字と発音(前半のまとめと復習)	演習
第9回	井田 茂雄	まとめ	基本的なあいさつ表現	演習
第10回	井田 茂雄	自己紹介1	「いち、に……」漢数詞と日付、電話番号の表現	演習
第11回	井田 茂雄	自己紹介2	「ひとつ、ふたつ…」固有数詞と時間、年齢の表現	演習
第12回	井田 茂雄	自己紹介3	自己紹介ワークショップ入門	演習
第13回	井田 茂雄	韓国文化1	夏休み前に覚える旅の決まり文句「これいくらですか？」	演習
第14回	井田 茂雄	韓国文化2	映画で見る韓国文化	講義
第15回	井田 茂雄	総括	全体のまとめ	演習

授業概要

この授業では韓国語を初めて学ぶ人から入門レベルの人を対象とします。毎回、授業の始まりは十分ぐらい韓国の文化や医療機関のサービスの差をPPTで説明、文化の差から起こる事件があっても韓国と韓国人が理解できるようにします。手で覚える母音と子音を利用してハングルを楽しく学べるようにします。母音と子音が書けるようになると、ハングルの構成を理解したうえ、ハングルの読み書きができるようになります。その次、初歩的な文法を利用して簡単な文章が作られるようにします。簡単な会話を学び、病院や薬局等で使う練習をします。前半はハングルの読み書き、韓国語独特の発音の法則を学び、後半は前半で学んだことに基づいて文法・会話を修得します。

授業形式
演習
評価方法
■定期試験 ■小テスト ■その他(授業参加姿勢) 定期試験 50%、小テスト 30%、授業参加姿勢 20%
教科書(ISBN 番号)
金恩愛『はじめて学ぶ韓国語入門会話(改訂 2 版)』ことばの森(韓国)、2015 (韓国書籍)(979-1-1950-0955-8)
オフィスアワー(授業相談)
初回講義時にお知らせします。
学生へのメッセージ
韓国語学習を通じて、朝鮮半島を知り日本を知ることにつながります。医療の現場においては日本人だけではなく、外国人の患者とも接する機会があることを十分意識して、授業に参加しましょう。韓国語Ⅱでは韓国語Ⅰで学んだ事項をさらに発展させ、学ぶので、韓国語Ⅱと合わせて受講して下さい。

講義コード	1N14601
講義名	韓国語Ⅱ 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	講義・演習
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	金曜日
代表時限	1時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	外国語科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	選択

担当教員

職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 井田 茂雄	指定なし

到達目標(SBO)

- ※対応するディプロマポリシー:(1)
 ※対応するカリキュラムポリシー:(1)
 (1)ハングルの読み書きができる
 (2)簡単な文章や医療用語を理解できる
 (3)簡単なあいさつや自己紹介ができる
 (4)韓国語を通じて異文化を理解し、同時に日本社会への理解を深める

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	井田 茂雄	ガイダンス	後期の説明と「韓国語Ⅰ」の復習	演習
第2回	井田 茂雄	文法と表現1	「指定詞とその語尾～だ、～です」「会話～出身地・国を語る」	演習
第3回	井田 茂雄	文法と表現2	「指定詞の否定文～ではない、～ではありません」「会話～趣味を語る」	演習
第4回	井田 茂雄	文法と表現3	「代名詞と助詞～『こそあど言葉』と『てにをは』」「会話～誕生日を語る」	演習
第5回	井田 茂雄	文法と表現4	「用言の丁寧な語尾—ニダ体とアヨ・オヨ体の作り方—平叙・否定文」「会話～家族を語る」	演習
第6回	井田 茂雄	文法と表現5	「過去形～～だった、～でした、～ました」「会話～好きな食べ物を語る①」	演習
第7回	井田 茂雄	文法と表現6	「可能と不可能の表現～できる、～できます、～できない、～できません」「会話～好きな食べ物を語る②」	演習
第8回	井田 茂雄	文法と表現7	「不規則活用なのに頻出する形容詞 他」「会話～美味しいです、わかります、わかりません 他」	演習
第9回	井田 茂雄	文法と表現8	「未来と推量の表現～でしょう、はずです」「会話～に旅行したいです」	演習
第10回	井田 茂雄	文法と表現9	「依頼の表現～してください、～して頂けますか? 等」「会話～曜日の言い方」	演習
第11回	井田 茂雄	文法と表現10	「進行形の表現～しています」「会話～公共施設を訪ねる」	演習
第12回	井田 茂雄	文法と表現11	「約束、提案、確認等の表現～しましょうか?、～でしょう? 等」「会話～地図で場所を尋ねる」	演習
第13回	井田 茂雄	医療用語等	韓国の病院・保健施設～韓国医療の現況や医療用語など	講義
第14回	井田 茂雄	韓国文化	映画で見る韓国文化	講義
第15回	井田 茂雄	総括	全体のまとめ	演習

授業概要
「韓国語Ⅰ」の履修者を主な対象として、初級レベルの韓国語の会話・文法を学びます。また、簡単な医療用語の修得を目指します。韓国の広告や新聞等のマスメディアに出ている医療関係のものを利用して、韓国で実際に使われている医療用語を学び、韓国の医療状況を分かるようにします。文章を作るとき、基本になる文法をマスターすることを目標にします。学んだ文法を利用して医療機関で使えるような文章を作り、ペアで会話の練習をします。簡単な医療用語を学び、現場で使えるように練習をします。「韓国語Ⅱ」では聞き取りと会話能力を身に着けるようにします。前半は自由自在に韓国語の文章を作れるようにします。後半は医療用語を利用して文章を作り、現場で使えるように練習します。
授業形式
演習、講義
評価方法
■定期試験 ■小テスト ■その他(授業参加姿勢) 定期試験 50%、小テスト 30%、授業参加姿勢 20%
教科書 (ISBN 番号)
金恩愛『はじめて学ぶ韓国語入門会話(改訂2版)』ことばの森(韓国)、2018 (韓国書籍)(979-1-1950-0955-8)
オフィスアワー(授業相談)
不定期に本学で開く(月1~2回程度)オフィスアワーの時間を講義で告知します。
学生へのメッセージ
韓国語Ⅰを受講済みであることを前提として授業を進めるので、前期に必ず韓国語Ⅰを受講してからこの講義に臨んでください。韓国語の検定試験の受験や韓国旅行についての相談に応じます。気軽に声をかけて下さい。韓国語の文法力・語彙力をコミュニケーション能力につなげていくためにもがんばりましょう。

講義コード	1N14701
講義名	フランス語 I 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	金曜日
代表時限	1時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	外国語科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	選択

担当教員

職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 甲斐 春香	指定なし

求められる基本的な資質

患者・生活者本位の視点

一般目標(GIO)

フランス文化に親しみながら、基本的な文法事項を学ぶとともに、フランス語での簡単な会話と文章の読解ができるようになることを目標とします。
フランス語で挨拶や自己紹介をしたり、お買い物やカフェ・レストランでの注文ができるようにがんばりましょう！

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー：(1)

※対応するカリキュラムポリシー：(1)

フランスに関する知識とフランス語の初歩的文法を身につけ、フランス語で簡単な会話ができるようになることを目指します。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	甲斐 春香	0 課	授業や評価についての説明 アルファベット 挨拶	講義
第2回	甲斐 春香	1 課	綴り字記号 自己紹介 発音 数字 1～20	講義
第3回	甲斐 春香	1 課	男性名詞と女性名詞 単数形と複数形	講義
第4回	甲斐 春香	1 課	冠詞 聞き取り 作文	講義
第5回	甲斐 春香	2 課	会話練習：注文／国籍、職業を言う	講義
第6回	甲斐 春香	2 課	主語人称代名詞 動詞 être	講義

第 7 回	甲斐 春香	2 課	形容詞 練習問題 聞き取り	講義
第 8 回	甲斐 春香	2 課	会話練習:物について尋ねる・答える	講義
第 9 回	甲斐 春香	3 課	er 動詞 疑問文	講義
第 10 回	甲斐 春香	3 課	否定文 聞き取り 練習問題	講義
第 11 回	甲斐 春香	3 課	会話練習:好きなことを尋ねる・答える	講義
第 12 回	甲斐 春香	1～3 課のまとめ	メニューを読む 謝るときの表現 数字 21～60	講義
第 13 回	甲斐 春香	4 課	動詞 avoir avoir を用いたさまざまな表現	講義
第 14 回	甲斐 春香	4 課	対話文の訳 会話練習:レストランの予約	講義
第 15 回	甲斐 春香	前期のまとめ	前期学んだことの復習	講義

授業概要

教科書を完全に理解することを基本的な目標とする。原則的に3回の授業で2課分を学修する。学生各自の予習は必須である。

余力があれば、会話の練習を行ったり、フランス文化に関連する視聴覚教材や映画鑑賞などでもできる可能性がある。

授業形式

この授業では、積極的な取り組みを評価します。

必ず教科書を準備して授業に参加してください。

また、授業時間外にも、フランス語はもちろん、フランスという国や文化にも興味を持って、ニュースや音楽、映画などに接してみてください。

評価方法

学習意欲(授業参加、発表、宿題等):50%、定期試験:50%を目安に、総合的に評価します。

講評は個別に教務課経由で対応する。

教科書(ISBN 番号)

C'est bon! セ・ボン! 黒木秀房 他 著 駿河台出版社
ISBN 9784411009296

参考書

プチ・ロワイヤル仏和辞典 第5版

倉方 秀憲 編 旺文社 ISBN9784010753118

辞書については、教科書に単語帳がついていますので、必ずしも準備する必要はありません。

興味がある場合には、相談してください。

オフィスアワー(授業相談)

金曜日:授業内容に関しては授業中または授業後に質問してください。

また、教務課経由でも対応します。

講義コード	1N14801
講義名	フランス語Ⅱ 03-02
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	金曜日
代表時限	1時限
科目分類名	教養・基礎分野
科目分野名	外国語科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	選択

担当教員

職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 甲斐 春香	指定なし

求められる基本的な資質

患者・生活者本位の視点

一般目標(GIO)

フランス語Ⅰにつづき、フランス文化に親しみながら、基本的な文法事項を学ぶとともに、フランス語での日常会話と文章の読解ができるようになることを目標とします。
フランス語Ⅰよりも、もう少し複雑な長い文章を読んだり書いたり話せるよう、声を出して練習して、フランスで実際に使えるように、しっかり身につけていきましょう！

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー：(1)

※対応するカリキュラムポリシー：(1)

フランスに関する知識とフランス語の初歩的文法を身につけ、フランス語の文章や日常的な会話を理解したり、自分の伝えたいことを話したり書いたりができるようになることを目指します。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	甲斐 春香	5 課	授業や評価についての説明 動詞 aller / venir	講義
第2回	甲斐 春香	5 課	動詞 prendre 聞き取り 対話文の訳	講義
第3回	甲斐 春香	5 課	会話練習：レストランで注文する	講義
第4回	甲斐 春香	6 課	複合過去 過去分詞	講義
第5回	甲斐 春香	6 課	対話文の訳 聞き取り	講義
第6回	甲斐 春香	6 課	会話練習：複合過去を用いた表現	講義
第7回	甲斐 春香	4～6 課のまとめ(1)	疑問形容詞 quel 否定の de 時間の表現	講義

第 8 回	甲斐 春香	4～6 課のまとめ(2)	数字 70～100 対話文の訳 会話練習	講義
第 9 回	甲斐 春香	7 課	動詞 faire / pouvoir	講義
第 10 回	甲斐 春香	7 課	対話文の訳 聞き取り	講義
第 11 回	甲斐 春香	7 課	会話練習:必要な物について話す	講義
第 12 回	甲斐 春香	8 課	比較級 最上級	講義
第 13 回	甲斐 春香	8 課	対話文の訳 聞き取り	講義
第 14 回	甲斐 春香	8 課	会話練習:市場で買い物をする	講義
第 15 回	甲斐 春香	後期のまとめ	後期学んだことの復習	講義

授業概要

教科書を完全に理解することを基本的な目標とする。原則的に3回の授業で2課分を学修する。
余力があれば、会話の練習を実施したり、フランス文化に関連する視聴覚教材や映画鑑賞などでもできる可能性がある。

授業形式

学生各自が、少なくとも単語の予習をして授業に臨んでいることを前提に、講義と質疑応答を合わせた形式で行う。聞き取りや発音に関しては、全体練習をしたのち、時間の許す限り1人1人行う。

評価方法

学習意欲(授業参加、発表、宿題等):50%、定期試験:50%を目安に、総合的に評価します。
講評は教務課経由で個別に対応する。

教科書(ISBN 番号)

C' est bon! セ・ボン！ 黒木秀房 他 著 駿河台出版社
ISBN 9784411009296

参考書

プチ・ロワイヤル仏和辞典 第5版
倉方 秀憲 編 旺文社 ISBN9784010753118
辞書については、教科書に単語帳がついていますので、必ずしも準備する必要はありません。
興味がある場合には、相談してください。

オフィスアワー(授業相談)

金曜日:授業内容に関しては授業中または授業後に質問してください。
また、教務課経由でも対応します。

学生へのメッセージ

フランス語 I を受講済みであることを前提として授業を進めるので、前期に必ずフランス語 I を受講してからこの講義に臨んでください。